OKI

MC362dn/MC562dn

ユーザーズマニュアル

セットアップと使い方編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MC362dn
MC562dn

◯このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
◯本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

はじめに

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。

Energy Star は米国環境保護庁の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Active Directory、Excel、Internet Explorer、および Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、Bonjour、ColorSync、EtherTalk、LaserWriter、Rosetta、Safari、および TrueType は、米国 Apple Inc., の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Photoshop、PostScript および Reader は、米国およびその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

SD メモリーカードは、SD Association の登録商標または商標です。SD ロゴは SD-3C、LLC の商標です。

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PaperPort は、Nuance Communications, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他記載されている製品名またはブランド名は、各社の登録商標または商標です。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本機に搭載のソフトウェアについて

本機は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

紙幣、有価証券などの印刷について

- 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。
- 以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。
  - 株券・手形・小切手などの有価証券
  - 公務員又は役所が作成した証明書などの文書
  - 契約書等、権利義務や事実証明に関する文書
  - 役所または公務員の印影、署名、記号
  - 私人の印影または署名
- 著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律

刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、
外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷及びカラー印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

⚠危険

本装置には、CR2450 リチウム電池が使用されています。
装置寿命期間内に、本装置内部のリチウム電池をお客様が交換する必要はありません。
なお、何らかの理由でリチウム電池を廃棄する場合は、＋極と－極をセロハンテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。
他の金属や電池と混ざると発煙、破裂の原因となります。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様が本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

■ お客様へのお願い

本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読みください。

お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。

もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1 使用範囲

お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データ MFP を所有する場合に限り、当該 MFP に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピューターにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2 財産権および義務

(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。

(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。

(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。

(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。

(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3 期間

(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。

(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。

(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4 保証

(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。

- 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
- 本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
- 第三者の権利を侵害していないこと。
- 特定の目的に適合していること。

(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5 責任の限定

沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6 準拠法

本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7 契約の有効性

本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8 輸出管理

本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9 完全な合意

お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10 Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザーへの注意)

All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.

本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告					
	本機内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。		本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。		カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。		クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。		ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	装置を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。		電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にほこりが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。		こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーを飛び散らさないよう、ぬれた雑巾などで静かに拭き取ってください。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。		水の入ったコップなどを装置の上に載せないでください。感電、火災のおそれがあります。		装置のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムユニットを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。		電源コード、ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。		UPS（無停電電源）およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバータは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意			
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。		壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。 液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。 必要に応じて医師の診断を受けてください。

マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。

- セットアップと使い方編・・・本書　（印刷マニュアル）
  本機の設置や初期セットアップの設定方法、および基本的な使用方法の簡単な説明などを記載しています。
- 困ったときにはと日々のメンテナンス編　（印刷マニュアル）
  トラブルの対処方法やメンテナンスの手引などを記載しています。
- 活用編　（ソフトウェア DVD-ROM に格納）
  各機能の高度な操作、および便利な機能操作などについて記載しています。また、ユーティリティとネットワークの応用設定についても説明しています。

このマニュアルについて

本書のマーク

本書では、以下のマークを使用しています。

! 注

- 操作に関する重要な情報を示します。必ずお読みください。

メモ

- 操作に関する追加情報を示します。お読みになることをおすすめします。

参照

- 参照ページを示します。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

⚠警告
- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意
- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

本書の記号

本書では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
[　]	●表示画面のメニュー名を示します。 ●コンピューターのメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。
「　」	●表示画面のメッセージおよび入力テキストを示します。 ●コンピューター上でのファイル名を示します。 ●参照先のタイトルを示します。
< >ボタンまたは< >キー	操作パネルのボタンまたはコンピューターのキーボードのキーを示します。
>	本機またはコンピューターのメニュー階層を示します。

本書の表記

本書では、以下の表記をしている場合があります。

- PostScript3 エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7 (64bit 版)
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008(64bit 版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP (x64 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64 版) ※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 の総称 → Windows

※特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。(Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含みます。)

本書では、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、Mac OS X の場合は Mac OS X 10.7、本機は MC562dn を例にしています。

お使いの OS やモデルによって、本書の記載と異なることがあります。

目次

セットアップ編

使い方編

困ったときにはと日々のメンテナンス編の紹介

困ったときにはと日々のメンテナンス編は「ソフトウェア DVD-ROM」にも格納されています。

活用編の紹介

活用編は「ソフトウェア DVD-ROM」に格納されています。

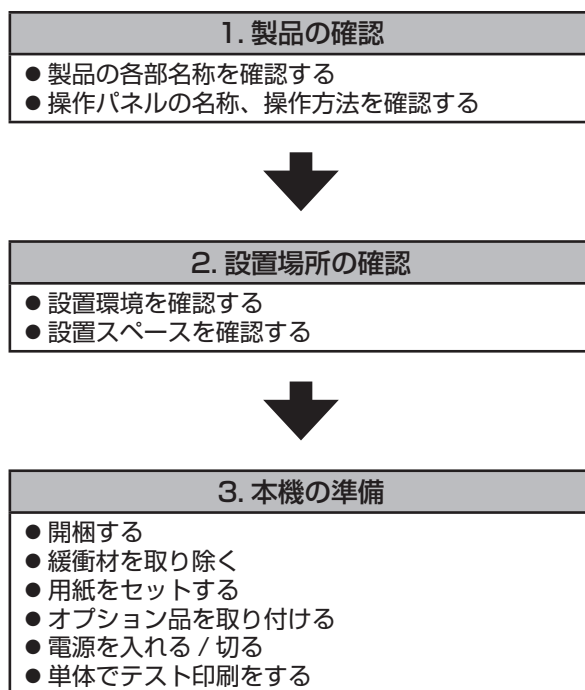
1　本機を設置する

この章では、本機の各部の名称、開梱と設置のしかた、電源の入れ方 / 切り方、トレイ 1 の用紙のセットのしかたなど、本機を使用する前に行う初期設定について説明しています。

■本機の設置・単体での動作確認の流れ

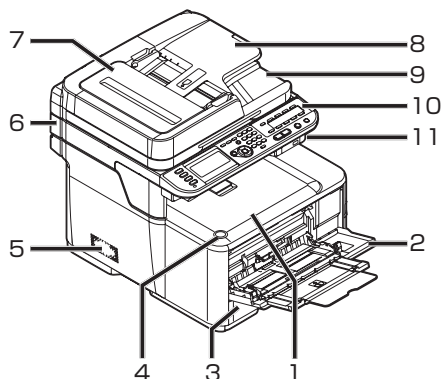
1. 製品の確認
- 製品の各部名称を確認する
- 操作パネルの名称、操作方法を確認する

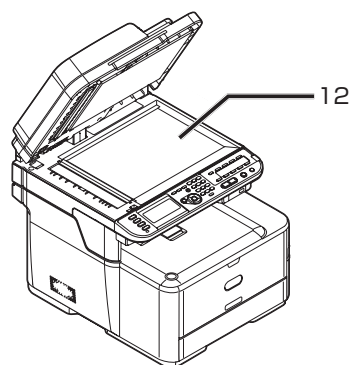
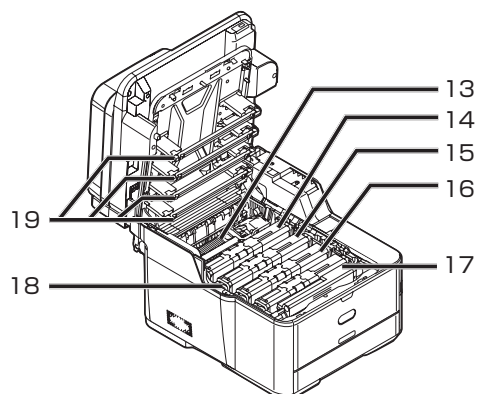
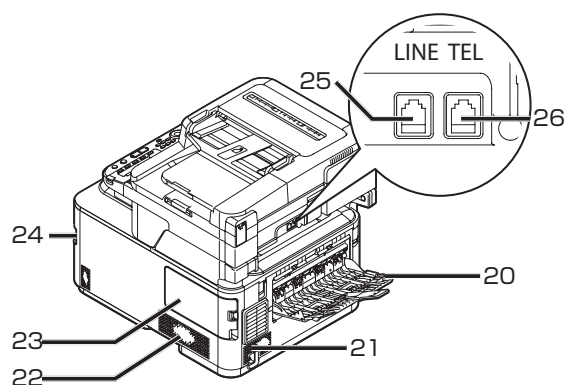
2. 設置場所の確認
- 設置環境を確認する
- 設置スペースを確認する

3. 本機の準備
- 開梱する
- 緩衝材を取り除く
- 用紙をセットする
- オプション品を取り付ける
- 電源を入れる / 切る
- 単体でテスト印刷をする

● 各部の名称

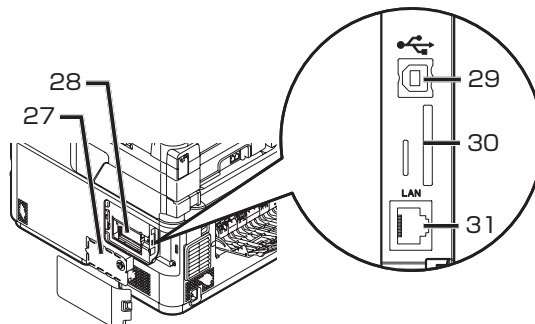
この節では、本機と操作パネルの各部の名称を示します。

本機

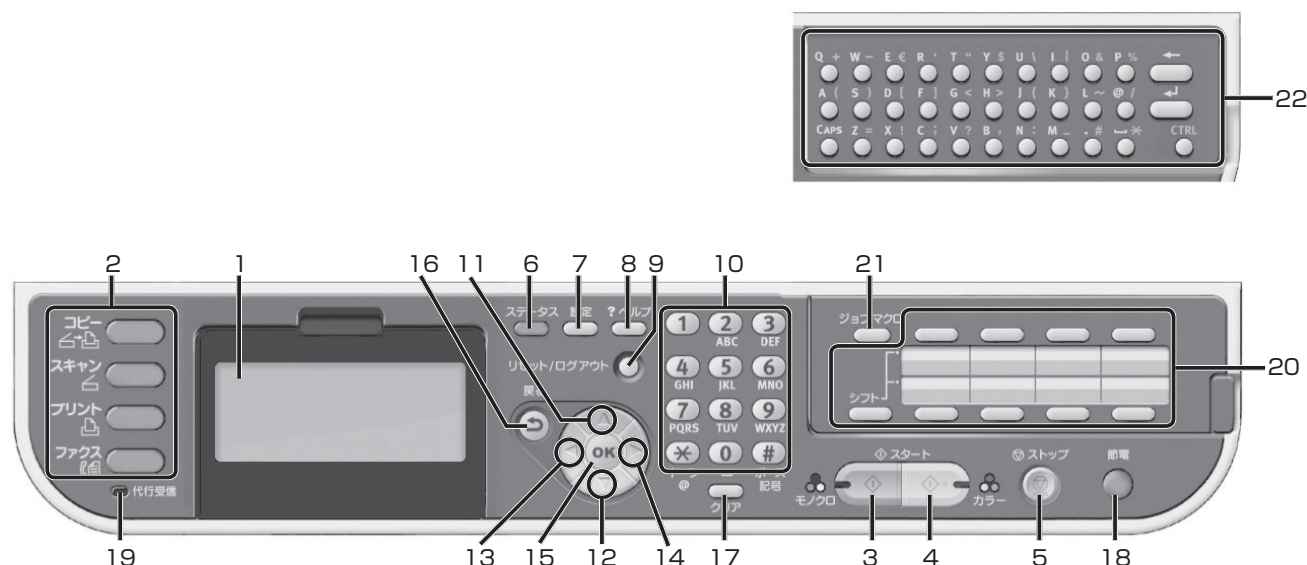
本機の各部の名称について説明します。

番号	名称
1	トップカバー
2	マルチパーパス（MP）トレイ
3	トレイ 1
4	トップカバーオープンボタン
5	通気口

番号	名称
6	スキャナー部
7	自動原稿送り装置（ADF）カバー
8	原稿トレイ
9	原稿ガラスカバー
10	操作パネル
11	USB ポート

番号	名称
12	原稿ガラス

番号	名称
13	定着器ユニット
14	トナーカートリッジ（Y：イエロー（黄色））
15	トナーカートリッジ（M：マゼンタ（赤色））
16	トナーカートリッジ（C：シアン（青色））
17	トナーカートリッジ（K：ブラック（黒色））
18	イメージドラムユニット
19	LED ヘッド（4 個）

番号	名称
20	フェイスアップスタッカー
21	電源コネクター
22	通気口
23	コネクターカバー

番号	名称
24	電源スイッチ
25	LINE コネクター
26	TEL コネクター

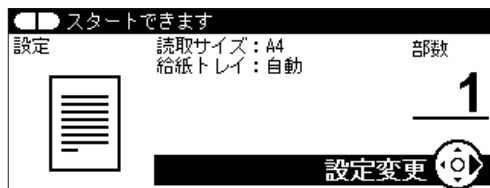
● コネクターカバー内部

番号	名称
27	ブラケット
28	増設メモリースロット
29	USB インタフェースコネクター
30	SD メモリーカードスロット（MC562dn のみ）
31	ネットワークインタフェースコネクター

操作パネル

操作パネルの各部の名称について説明します。

番号	名称	機能
1	表示画面	操作指示および本機の状態を表示します。
2	機能切り替えボタン	各機能のトップ画面を表示します。選択されたボタンが青色に点灯します。
	<**コピー**>ボタン	コピースタート画面を表示します。
	<**スキャン**>ボタン	スキャンメニューを表示します。
	<**プリント**>ボタン	プリントメニューを表示します。
	<**ファクス**>ボタン	ファクス / インターネットファクス機能選択画面を表示します。
3	<**モノクロスタート**>ボタン	モノクロのコピー、スキャン、ファクス、または USB メモリーからの印刷を開始します。
4	<**カラースタート**>ボタン	カラーのコピー、スキャン、または USB メモリーからの印刷を開始します。
5	<**ストップ**>ボタン	現在のジョブを直ちに取り消します。
6	<**ステータス**>ボタン	ステータスメニューを表示します。 エラーステータスがある場合、点滅または点灯します。
7	<**設定**>ボタン	機器設定メニューを表示します。
8	<**?ヘルプ**>ボタン	ヘルプ画面を表示します。閉じるときは、<**?ヘルプ**>ボタンを再度押すか、<**戻る**>ボタンまたは<**リセット / ログアウト**>ボタンを押します。
9	<**リセット / ログアウト**>ボタン	● 各機能のトップ画面では、ログアウトします。 ● 各機能のスタート画面では、トップ画面に戻ります。 * コピー機能では、トップ画面とスタート画面が同じです。 ● 設定項目画面では、設定値をリセットして、各機能のスタート画面に戻ります。
10	テンキー	● 数字を入力します。 ● 英字や記号を入力します。 ● ワンタッチボタン部分を開くと、数字のみの入力ができます（MC562dn のみ）。
11	<**スクロール**>（▲）ボタン	項目選択 / 文字入力中、ハイライトを上に移動します。
12	<**スクロール**>（▼）ボタン	項目選択 / 文字入力中、ハイライトを下に移動します。
13	<**スクロール**>（◀）ボタン	● 前の画面に戻ります。 ● 項目選択 / 文字入力中、ハイライトを左に移動します。
14	<**スクロール**>（▶）ボタン	● 次の画面に進みます。 ● 項目選択 / 文字入力中、ハイライトを右に移動します。
15	<**OK**>ボタン	● ハイライトされた項目を確定します。 ● チェック項目を選択します。
16	<**戻る**>ボタン	前の画面に戻ります。

番号	名称	機能
17	＜**クリア**＞ボタン	短く押す、または長押しすると、入力項目に応じて次の動作を実行します。 ● 設定値を最小にします。 ● 設定値に 0 を入力します。 ● 入力された内容をクリアします。 ● 選択された項目を取り消します。
18	＜**節電**＞ボタン	● パワーセーブモードに入るか、パワーセーブモードを解除します。 ● スリープモードを解除します。 パワーセーブモードのときは緑色に点灯し、スリープモードのときは緑色に低速点滅します。
19	＜**代行受信**＞ランプ	メモリーにデータがあると点灯します。 * スリープモードのときは、メモリーにデータがあっても点灯しません。
20	ワンタッチボタン	登録された E メールアドレスまたはファクス番号を呼び出します。 E メールアドレスやファクス番号は 8 個のボタンそれぞれに 2 件、計 16 件登録でき、＜**シフト**＞ボタンとの同時押下で切り替えます。
21	＜**ジョブマクロ**＞ボタン(MC562dn のみ)	ジョブマクロ画面に切り替えます。
22	QWERTY キーボード（MC562dn のみ）	文字を入力します。 ワンタッチボタン部分を開くと下にあります。

デフォルトモード

電源を入れて、本機が使用可能な状態になると、デフォルトモードとしてコピースタート画面が表示されます。

機能切り替えボタンを使って、ほかの機能に切り替えることができます

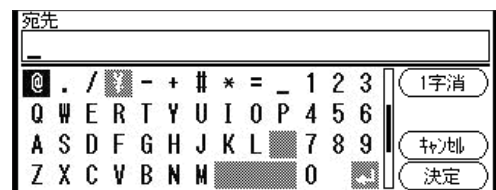
参照

● ＜**設定**＞ボタン＞［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**デフォルトモード**］を選択すると、デフォルトモードを変更することができます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

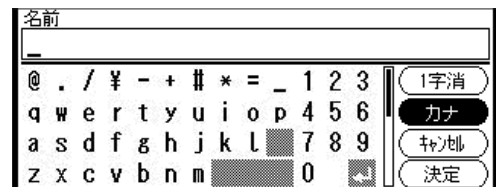
操作パネルを使用して文字を入力する

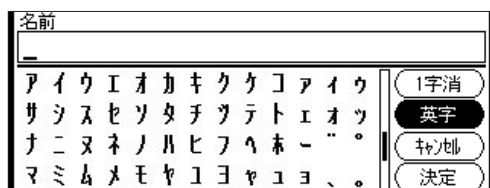
項目の設定中に文字を入力する必要があるときは、以下の入力画面が表示されます。

■ 英数字・記号入力時

画面キーボードで、半角の英大文字、英小文字、数字、記号を入力できます。

■ 英数字・記号・カナ入力時

半角英数字と記号に加え、半角カナを使用できる項目の入力時には、以下の入力画面が表示されます。

● 英字入力用

［**カナ**］を選択すると、カナ入力用の画面キーボードに切り替えることができます。

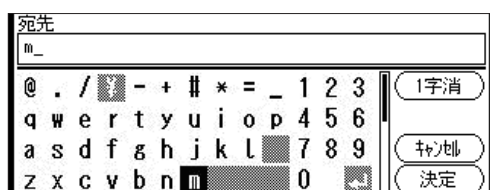
- カナ入力用

［**英字**］を選択すると、英字入力用の画面キーボードに戻ります。

メモ

- 網掛けされた文字は選択できません。
- 操作パネルから全角文字の入力はできません。
- 数字のみを入力するときは、画面キーボードが表示されないことがあります。この場合は、テンキーを使って数字を入力します。

文字を入力する

1 ▶、◀、▼、▲を押して文字を選択し、OKを押します。

選択した文字がテキストフィールドに入力されます。

2 必要なすべての文字が入力されるまで、手順 1 を繰り返します

3 ▶および▼を押して［**決定**］を選択し、OKを押します。

■ テンキーの使用

入力画面では、テンキーを使用して英数字および記号の入力を行うこともできます。

各キーに表示された数字のほかに、キーを繰り返し押して英字や記号を入力できます。

1 テキストフィールドに入力したい文字が表示されるまでテンキーを押します。

2 必要なすべての文字が入力されるまで、手順 1 を繰り返します。

続けて同じキーを使用する場合は、▶を押してカーソルを移動します。

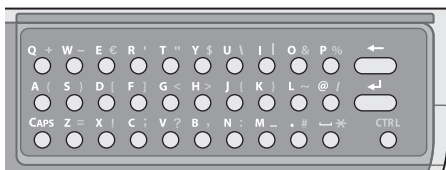
3 ［**決定**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

メモ

- 各キーで入力できる文字は以下のとおりです。

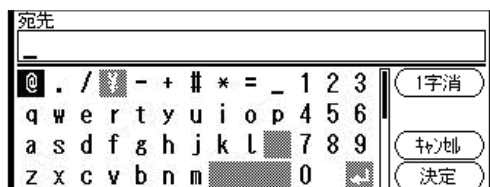
テンキー	テンキー文字
1	1
2	abc2ABC
3	def3DEF
4	ghi4GHI
5	jkl5JKL
6	mno6MNO
7	pqrs7PQRS
8	tuv8TUV
9	wxyz9WXYZ
0	（スペース）0
*	@*
#	._-（スペース）+!"$%&'(),/:;<=>?[¥]^#

■ QWERTY キーボードの使用（MC562dn のみ）

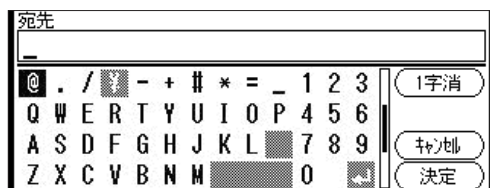
入力画面では、QWERTY キーボードを使って英字や記号を入力することもできます。

標準モード、CAPS モード、および CTRL モードの間で、入力モードを切り替えることができます。モードの変更は、画面キーボード表示に反映されます。

● 標準モード

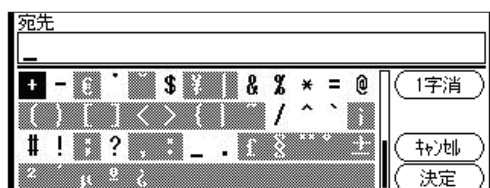
英小文字を入力できます。

以下のような、画面キーボードが表示されます。

● CAPS モード

<**CAPS**> キーを押すと、英大文字を入力できます。

以下のような、画面キーボードが表示されます。

● CTRL モード

<**CTRL**> キーを押すと、記号を入力できます。

以下のような、画面キーボードが表示されます。

注

- QWERTY キーボードのカバーを開いている状態では、テンキーは数字入力専用になります。

入力した文字の削除

テキストフィールド内の文字は、次の方法で削除できます。

■ < クリア > ボタンを押す

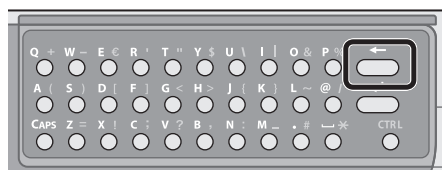
< **クリア** > ボタンを押して、最後に入力した文字を削除します。

< **クリア** > ボタンを長押しして、入力したすべての文字を削除します。

■ 画面キーボードの［1 字消］を選択する

▶と▼を押して［**1 字消**］を選択し、OKを押して、最後に入力した文字を削除します。

■ QWERTY キーボードのバックスペースキーを押す（MC562dn のみ）

バックスペースキーを押して、最後に入力した文字を削除します。

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	⚠

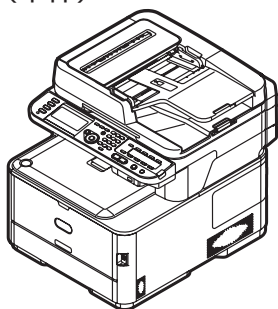
この装置は重量が約 29 kgあります。

メモ

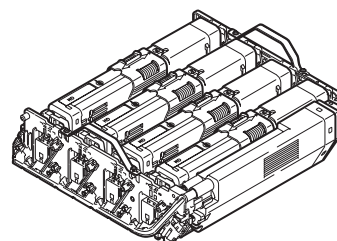
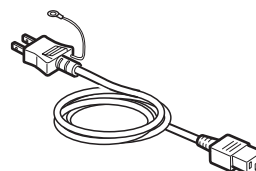
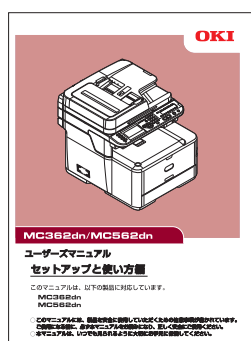
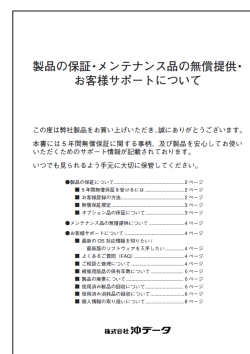
- プリンターケーブルは添付されていません。お使いのコンピューターに合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材はプリンターを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

❑ プリンター（本体）

❑ ソフトウェア DVD-ROM

❑ ユーザーズマニュアル
セットアップと使い方編（本書）

❑ イメージドラムユニット

❑ スタータトナーカートリッジ
シアン（青色）、マゼンタ（赤色）、イエロー（黄色）、ブラック（黒）各 1 個ずつ

スタータトナーカートリッジはイメージドラムユニットに取り付けられた状態で、プリンター内にセットされています。

❑ 電源コード

❑ 製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて

設置のしかた

この節では、本機の開梱と設置のしかたについて説明します。

設置条件

設置環境

本機は、以下の環境に設置してください。

周囲温度：	10℃～ 32℃
周囲湿度：	20% ～ 80% RH（相対湿度）
最大湿球温度：	25℃

注

- 結露しないように注意してください。故障の原因になります。
- 周囲湿度が 30% RH 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットを使用してください。
- 粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷およびカラー印刷を行なった場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録2に基づき試験を実施しました。）

⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さな子供の手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- 本機の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

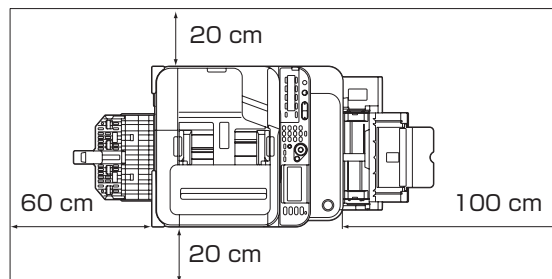
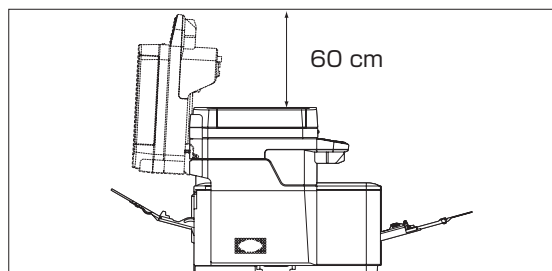
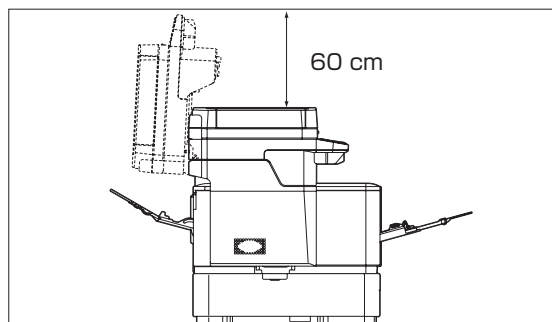
⚠注意

- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- 本機を移動するときは、本機の両側を持ち、本機を後ろ側に倒し気味にして運んでください。

設置スペース

本機の足が乗る大きさの平らな机の上に設置してください。

以下の図に示すとおり、本機の周りに十分なスペースを取ってください。

● 平面図

● 側面図

● 側面図（セカンドトレイユニット取り付け時）

開梱と設置のしかた

本機の開梱と設置のしかたについて説明します。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	⚠
● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。		

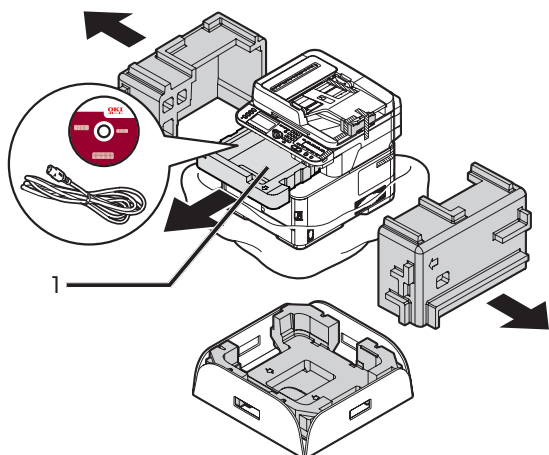
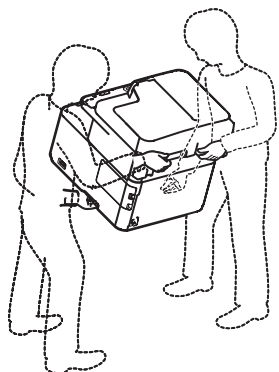
! 注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムユニットは、直射日光や、約 1500 ルクスを超える強い室内光に当てないでください。通常の室内の照明の下でも、5 分を超えて放置しないでください。
- 梱包箱や緩衝材は本機を輸送するときに必要です。捨てずに保管しておいてください。

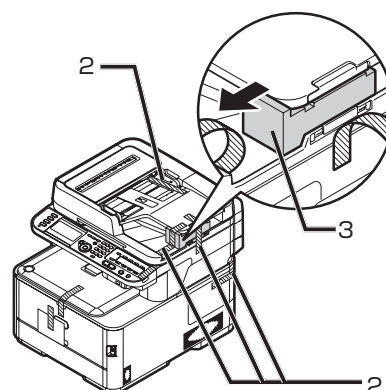
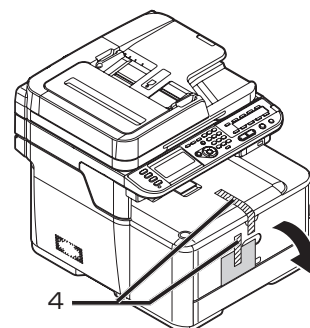
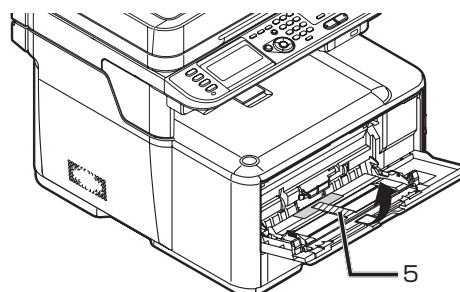
1 梱包箱を取り外し、本機から緩衝材とビニール袋を取り外します。

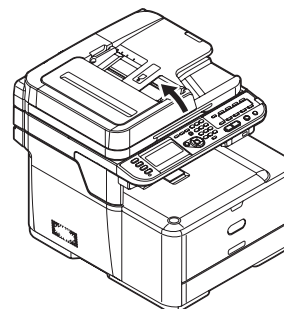
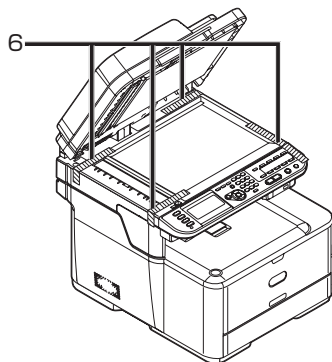
緩衝材（1）の中に付属品一式が梱包されています。

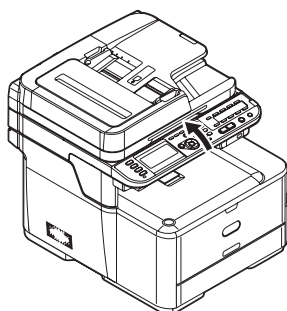
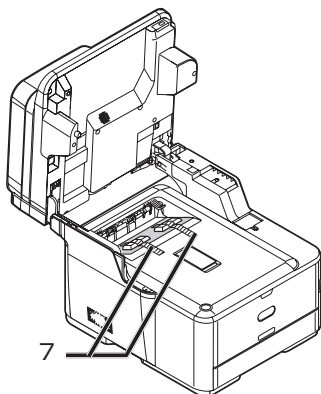
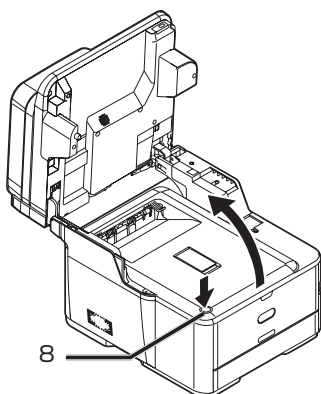
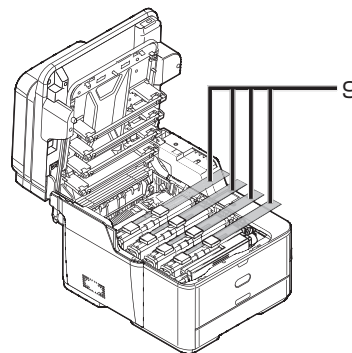
! 注

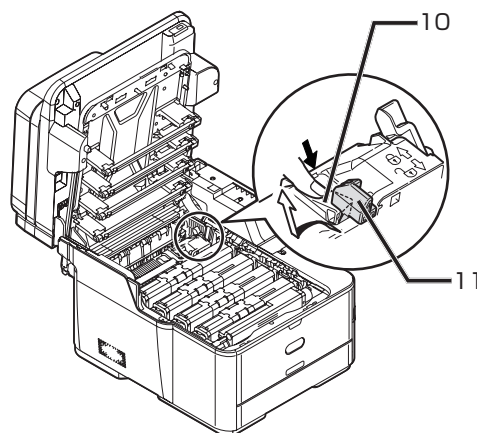
- お住まいの国によっては、電話ケーブルが付属していません。

2 本機を持ち上げ、設置場所に置きます。

! 注

- スキャナーは、手順 10 まで開かないでください。

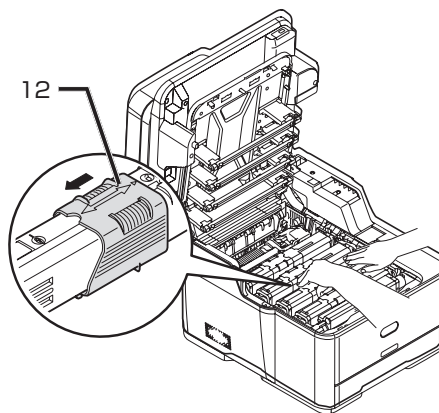
3 本機上部と側面の保護テープ（2）をはがし、緩衝材（3）を取り除きます。

4 保護テープ（4）をはがし、マルチパーパストレイを開きます。

5 保護テープ（5）をはがし、紙を上に引き抜きます。

6 マルチパーパストレイを閉じます。

7 原稿ガラスカバーを開けます。

8 保護テープ（6）を取り除きます。

9 原稿ガラスカバーを閉じます。

10 スキャナー部を開きます。

11 保護テープ（7）をはがし、乾燥剤とフィルムを取り除きます。

12 トップカバーオープンボタン（8）を押し、トップカバーを開けます。

13 保護シート（9）を取り除きます。

14 定着器ユニットの青いレバー（10）を矢印の方向に押しながら、オレンジ色のストッパリリース（11）を取り外します。

注

- オレンジ色のストッパリリースは、本機を輸送するときに使いますので、保管しておいてください。

15 トナーカートリッジの右側を押さえながら、青いロック（12）を左側にすばやくスライドさせ、ロックします。

4 本のトナーカートリッジすべてのロックをスライドさせてください。

16 トップカバーを閉じます。

17 スキャナー部を閉じます。

参照

● 本機への給紙については、「用紙のセットのしかた」P.37 を参照してください。

オプションについて

本機には、以下のオプションが提供されています。

● セカンドトレイユニット

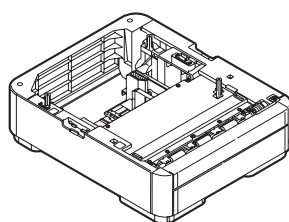
● 増設メモリー（256 MB または 512 MB）

● 16 GB SD メモリーカード（MC562dn のみ）

注

● 必ず電源を切り、電源ケーブルとイーサネットケーブル/USBケーブルを抜いてから、オプションを取り付けてください。電源を入れた状態でオプションを取り付けると、本機とオプションが故障する場合があります。

セカンドトレイユニットを取り付ける

セカンドトレイユニット（トレイ 2）は、セットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。取り付けたあと、プリンタードライバーを設定する必要があります。

型名：TRY-C4G1

参照

● セカンドトレイユニット（トレイ 2）の仕様については、「用紙のセットのしかた」P.37 を参照してください。

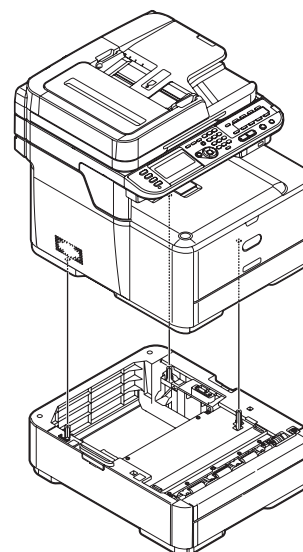
取り付け

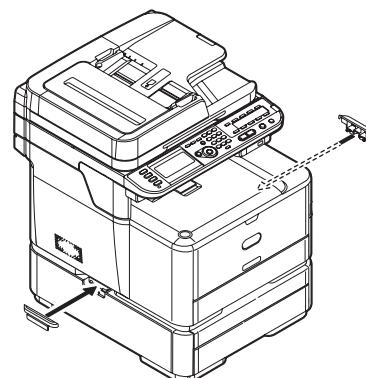
⚠注意	ケガをするおそれがあります。	⚠
● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。		

1 本機の電源を切り、電源コードとイーサネットケーブル /USB ケーブルを取り外します。

参照

● 「電源を切る」P.36

2 本機を持ち上げ、セカンドトレイユニットの 3 本の突起を本機の底の穴に合わせます。

3 本機をセカンドトレイユニットの上に静かに載せます。

4 ロックピースを取り付けます。

注

● ロックピースを取り付けないと、スキャナーを開いた際に本機がセカンドトレイから外れるおそれがあります。

5 電源ケーブルとイーサネットケーブルと USB ケーブルを本機に差し込み、電源を入れます。

プリンタードライバーの設定

注

- この手順を実行する場合は、コンピューターに、管理者の権限でログインする必要があります。
- Mac OS X で次の条件にあてはまる場合は、取り付けたオプションの情報は本機から自動的に取得されるため、プリンタードライバーを設定する必要はありません。
  - USB 接続
  - EtherTalk を使用したネットワーク接続で、ドライバーをインストールする前に本機にオプションを取り付けた場合
- Windows PCL XPS プリンタードライバーは、Windows XP/ Windows Server 2003 では使用できません。

参照

- この手順を実行する前に、プリンタードライバーをコンピューターにインストールしておく必要があります。プリンタードライバーのインストール方法については、「ケーブルを接続してドライバーなどをインストールする」P.49 を参照してください。

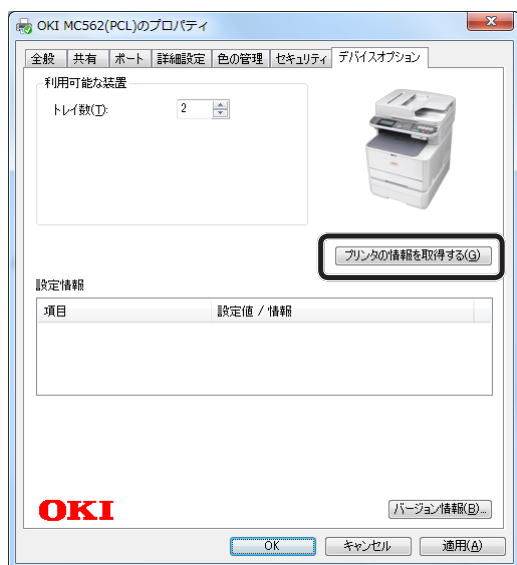
■ Windows PCL/PCL XPS ドライバーの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 OKI MC562 のアイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］（複数のドライバーをインストールしている場合は＞［**OKI MC562 (PCL)**］/［**OKI MC562(PCL XPS)**］）を選択します。

3 ［**デバイスオプション**］タブを選択します。

4 ネットワーク接続の場合は、［**プリンタの情報を取得する**］を選択します。

USB 接続の場合は、［**トレイ数**］（PCL XPS ドライバーの場合は、［**トレイ数**］）に「**2**」（本機に取り付けたトレイの合計数）を入力します。

5 ［**OK**］をクリックします。

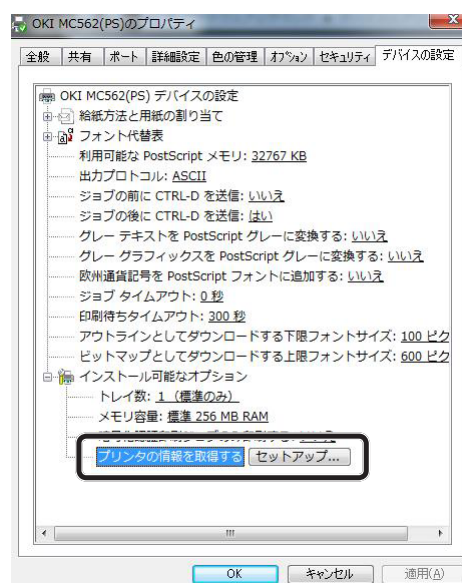
■ Windows PS ドライバーの場合

1 ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

2 ［**OKI MC562(PS)**］のアイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］（複数のドライバーをインストールしている場合は＞［**OKI MC562 (PS)**］）を選択します。

3 ［**デバイスの設定**］タブを選択します。

4 ネットワーク接続の場合は、［**インストール可能なオプション**］で［**プリンタの情報を取得する**］を選択し、［**セットアップ**］をクリックします。

USB 接続の場合は、［**インストール可能なオプション**］の［**トレイ数**］で［**2(セカンドトレイ追加)**］を選択します。

5 ［**OK**］をクリックします。

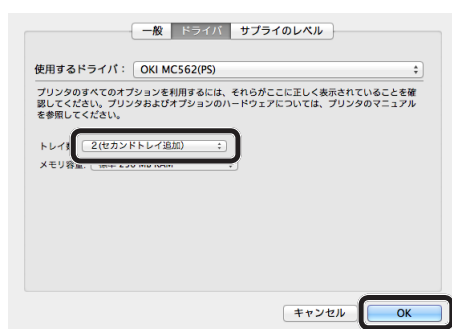
■ Mac OS X PS ドライバーの場合 (Mac OS X 10.5 ～ 10.7)

1 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

2 ［**プリントとスキャン**］（OS X 10.5 ～ 10.6 では［**プリントとファクス**］）をクリックします。

3 本機を選択し、［**オプションとサプライ**］をクリックします。

4 ［**ドライバ**］タブを選択します。

5 ［**トレイ数**］で、［**2（セカンドトレイ追加）**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

■ Mac OS X PS ドライバーの場合（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11）

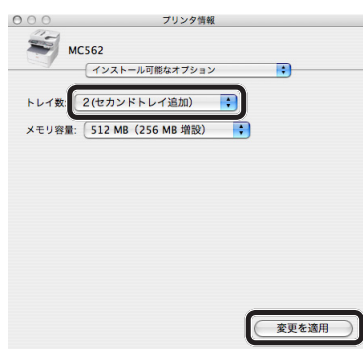
メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

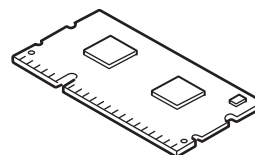
1 ［**移動**］メニューから［**ユーティリティ**］を選択し、［**プリンタ設定ユーティリティ**］をダブルクリックします。

2 本機を選択し、［**情報を見る**］をクリックします。

3 プリンター名の下のポップアップメニューから［**インストール可能なオプション**］を選択します。

4 ［**トレイ数**］で［**2（セカンドトレイ追加）**］を選択し、［**変更を適用**］をクリックします。

5 ［**プリンタ情報**］を閉じます。

増設メモリーを取り付ける

メモリーオーバーが発生する場合など、本機のメモリー容量を増やしたいときは、増設メモリーを取り付けます。256 MB と 512 MB のメモリーが使用できます。

型名：
MEM256G（256 MB）/
MEM512D（512 MB）

注

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。

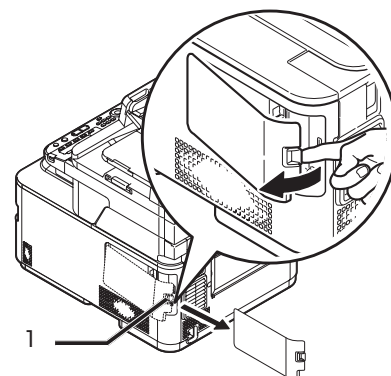
メモ

- 長尺印刷を行う場合は、256 MB 以上の増設メモリーの追加をおすすめします。

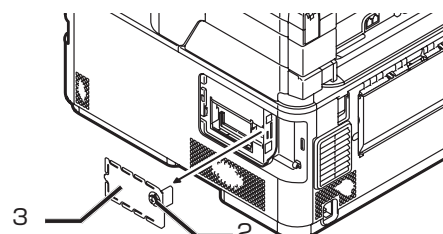
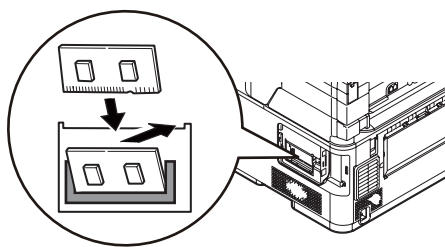
1 本機の電源を切り、電源コードを取り外します。

参照

- 「電源を切る」P.36

2 本機右側のロックボタン（1）を押しながら、コネクターカバーを取り外します。

3 イーサネットケーブル /USB ケーブルを本機から取り外します。

4 本機の金属部分に触れ、静電気を逃がします。

5 ネジ（2）を左に回して緩め、ブラケット（3）を取り外します。

6 増設メモリーをスロットに差し込み、本機側に押します。

7 ブラケットを取り付け、ネジを右に回して締めます。

8 コネクターカバーを取り付けます。

9 電源ケーブルとイーサネットケーブルと USB ケーブルを本機に差し込み、電源を入れます。

10 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

11 ▼を押して［**装置情報**］を選択し、OKを押します。

12 ［**システム情報**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

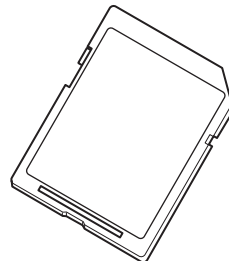
13 ［**メモリ容量**］の値が増えていることを確認します。

- ▼を押して画面をスクロールします。
- 256 MB 増設メモリーの場合は［**512 MB**］、512 MB 増設メモリーの場合は［**768 MB**］となります。

注

- ［**メモリ容量**］の値が増えていない場合、本機の電源を切り、電源ケーブルとイーサネットケーブルと USB ケーブルを取り外し、増設メモリーを取り付けなおします。

16 GB SD メモリーカードを取り付ける（MC562dn のみ）

SD メモリーカードの容量を増やしたいときは、内蔵 SD メモリーカード(4GB)を 16GB SD メモリーカードと交換します。

型名：SDC-A1

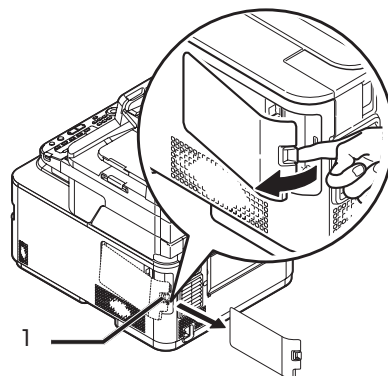
注

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- SD メモリーカードの誤消去防止用プロテクトスイッチが禁止状態では使用できません。必ず許可状態で使用してください。

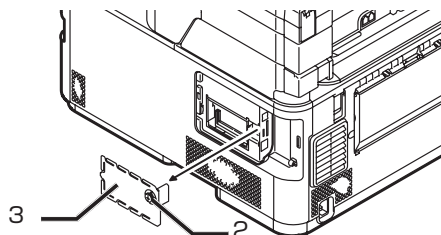
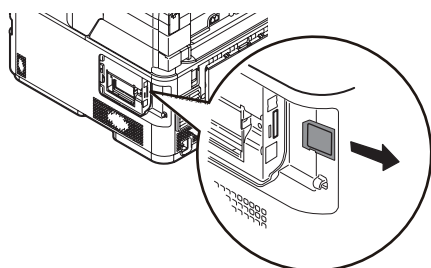
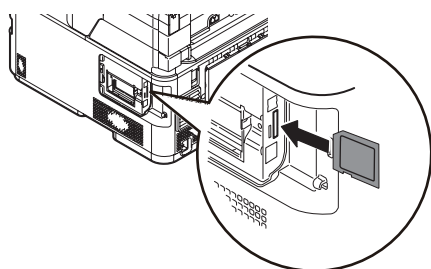
1 本機の電源を切り、電源コードを取り外します。

参照

- 「電源を切る」P.36

2 本機右側のロックボタン（1）を押しながら、コネクターカバーを取り外します。

3 イーサネットケーブル /USB ケーブルを本機から取り外します。

4 本機の金属部分に触れ、静電気を逃がします。

5 ネジ（2）を左に回して緩め、ブラケット（3）を取り外します。

6 内蔵 SD メモリーカードを押し、SD メモリーカードスロットから取り外します。

7 16 GB SD メモリーカードを SD メモリーカードスロットに差し込みます。

8 ブラケットを取り付け、ネジを右に回して締めます。

9 コネクターカバーを取り付けます。

10 電源ケーブルとイーサネットケーブル /USB ケーブルを本機に差し込み、電源を入れます。

11 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

12 ▼を押して［**装置情報**］を選択し、OKを押します。

13 ［**システム情報**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

14 ［**SD メモリーカード情報**］の値が［**15 GB**］になっていることを確認します。

▼を押して画面をスクロールします。

注

- ［**SD メモリーカード情報**］には、実際のメモリー容量（16 GB）より少ない［**15 GB**］と表示されますが、エラーではありません。
- ［**SD メモリーカード情報**］の値が増えていない場合、本機の電源を切り、電源ケーブルとイーサネットケーブルと USB ケーブルを取り外し、SD メモリーカードを取り付けなおします。

電源を入れる / 切る

電源の条件

電源は、次の条件を満たしている必要があります。

交流（AC）： 100 V ± 10%
電源周波数： 50/60 Hz ± 2%

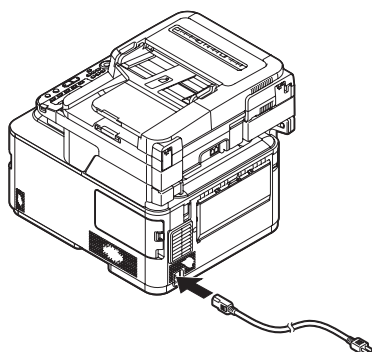
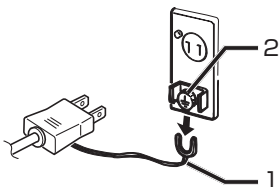
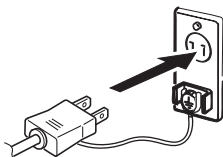
注

- 電源が不安定な場合は、電圧調整器を使用してください。
- 本機の最大消費電力は 1170 W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- 無停電電源（UPS）やインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバータは使用しないでください。

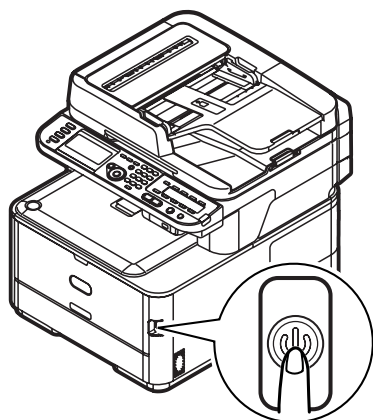
⚠警告	火災や感電のおそれがあります。	

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- アース線は、水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース線の接続は、必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本機とほかの電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによって本機が誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 本機に付属の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。ほかの製品用の電源コードを本機に使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、本機が正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源コードを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 本機に付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

電源を入れる

1 電源コードを本機の電源コネクターに差し込みます。

2 アース線（1）をコンセントのアース端子（2）に接続します。

3 電源コードをコンセントに差し込みます。

4 原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）上に原稿がないこと、および自動原稿送り装置（ADF）カバーが閉じられていることを確認します。

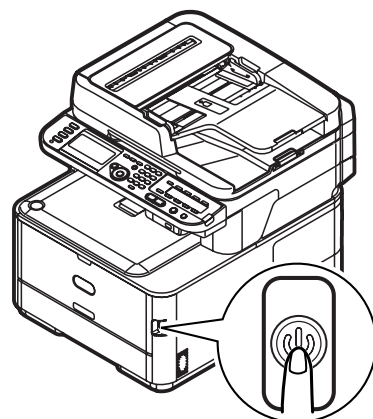
5 電源スイッチを約 1 秒間押して電源を入れます。

電源が入ると電源スイッチの LED ランプが点灯します。

電源を切る

1 電源スイッチを約 1 秒間押します。

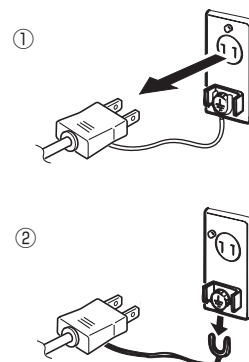
操作パネル上に、「シャットダウン中です　しばらくお待ちください　電源は自動的に切れます」と表示され、電源スイッチの LED ランプが約 1 秒周期で点滅します。しばらくすると、本機の電源は自動的に切れ、電源スイッチの LED ランプが消灯します。

! 注

- 本機がコンピューターからのファクスデータなどを受信中でないことを確認して、シャットダウンしてください。
- 電源スイッチを 5 秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。トラブルが発生した時のみご使用ください。
  本機のトラブルについては、「ユーザーズマニュアル　困ったときにはと日々のメンテナンス編」を参照してください。

■ 長期間使用しないとき

連休や旅行で本機を長期間使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。また、定着器ユニットにストッパリリースを取り付けてください。

①

②

! 注

- アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

メモ

- 本機は長時間（4 週間以上）電源コードを抜いておいても、機能障害を生じません。

用紙のセットのしかた

本機には、2 つの内蔵トレイ（トレイ 1 およびマルチパーパストレイ）とオプションのセカンドトレイユニット（トレイ 2）があります。次のリストを参照して、使用できる用紙と各トレイの容量を確認してください。

■普通紙

OKI カラーページプリンター用紙 エクセレントペーパー A4（型名：PPR-DA4TDB）

エクセレント ホワイト　A4（型名：PPR-CA4NA）

■再生紙

王子製紙製　再生 PPC 用紙 100

注

- 「*」がついた用紙には、両面印刷は行えません。

トレイ	使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
● トレイ 1	● A4 ● A5 ● B5 ● A6* ● レター ● リーガル（13 インチ） ● リーガル（13.5 インチ） ● リーガル（14 インチ） ● エグゼクティブ ● 16K（184 x 260 mm） ● 16K（195 x 270 mm） ● 16K（197 x 273 mm） ● はがき * ● カスタム	280 枚 （用紙の厚さが 64 g/m^2 （連量 55 kg）の場合）	● 普通紙 （64 ～ 74 g/m^2（連量 55 ～ 64 kg）） ● やや厚い紙 （75 ～ 82 g/m^2（連量 65 ～ 70 kg）） ● 厚い紙 （83 ～ 104 g/m^2（連量 71 ～ 89 kg）） ● より厚い紙 （105 ～ 120 g/m^2（連量 90 ～ 103 kg）） ● ごく厚い紙 1 （121 ～ 176 g/m^2（連量 104 ～ 151 kg））
● トレイ 2（オプション）	● A4 ● A5 ● B5 ● レター ● リーガル（13 インチ） ● リーガル（13.5 インチ） ● リーガル（14 インチ） ● エグゼクティブ ● 16K（184 x 260 mm） ● 16K（195 x 270 mm） ● 16K（197 x 273 mm） ● カスタム	580 枚 （用紙の厚さが 64 g/m^2 （連量 55 kg）の場合）	● 普通紙 （64 ～ 74 g/m^2（連量 55 ～ 64 kg）） ● やや厚い紙 （75 ～ 82 g/m^2（連量 65 ～ 70 kg）） ● 厚い紙 （83 ～ 104 g/m^2（連量 71 ～ 89 kg）） ● より厚い紙 （105 ～ 120 g/m^2（連量 90 ～ 103 kg）） ● ごく厚い紙 1 （121 ～ 176 g/m^2（連量 104 ～ 151 kg））

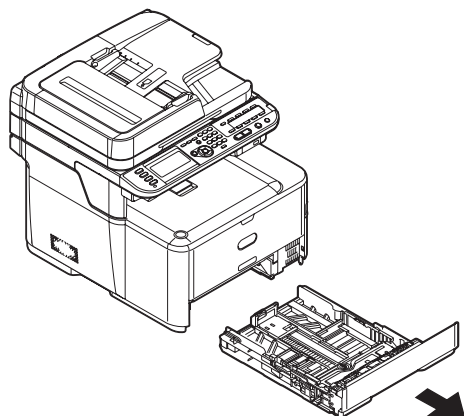
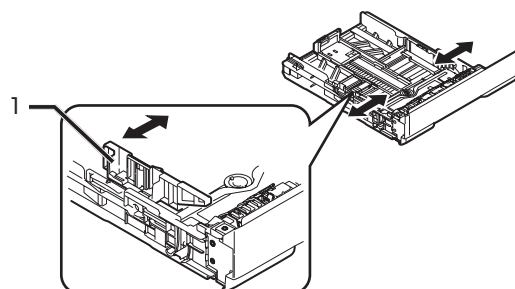
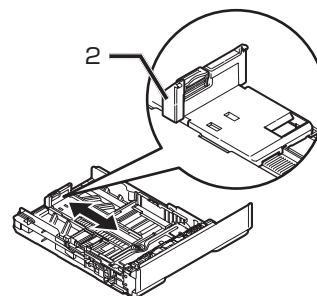
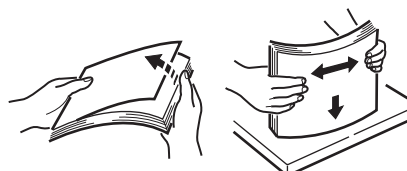
トレイ	使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
● マルチパーパストレイ	● A4 ● A5 ● B5 ● A6* ● レター ● リーガル（13 インチ） ● リーガル（13.5 インチ） ● リーガル（14 インチ） ● エグゼクティブ ● 16K（184 x 260 mm） ● 16K（195 x 270 mm） ● 16K（197 x 273 mm） ● カスタム ● Com-9* ● Com-10* ● Monarch* ● DL* ● C5* ● はがき * ● 往復はがき * ● 封筒 1（長形 3 号）* ● 封筒 2（長形 4 号）* ● 封筒 3（洋形 4 号）* ● 封筒 4（A4）* ● インデックスカード *	● 110 枚 （用紙の厚さが 64 g/m^2（連量 55 kg）の場合） ● 10 枚（封筒）	● 普通紙 （64 ～ 74 g/m^2（連量 55 ～ 64 kg）） ● やや厚い紙 （75 ～ 82 g/m^2（連量 65 ～ 70 kg）） ● 厚い紙 （83 ～ 104 g/m^2（連量 71 ～ 89 kg）） ● より厚い紙 （105 ～ 120 g/m^2（連量 90 ～ 103 kg）） ● ごく厚い紙 1 （121 ～ 176 g/m^2（連量 104 ～ 151 kg）） ● ごく厚い紙 2* （177 ～ 220 g/m^2（連量 152 ～ 189 kg））

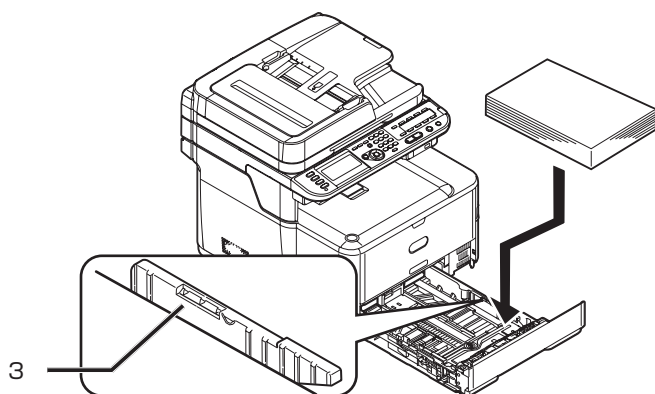
トレイ 1 とトレイ 2 に用紙をセットする

次の手順では、トレイ 1 またはトレイ 2 に用紙をセットする方法を説明します。

メモ

- 次の手順では例としてトレイ 1 を使用しますが、トレイ 2 にも同じ手順があてはまります。

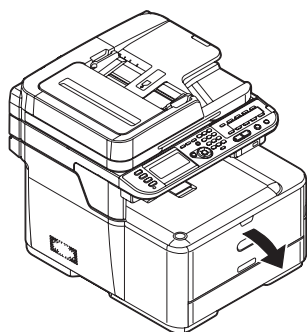
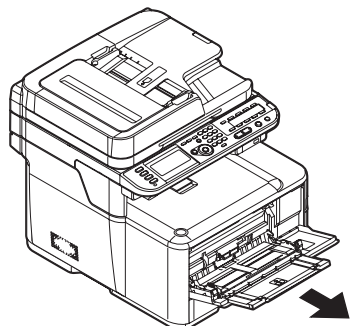
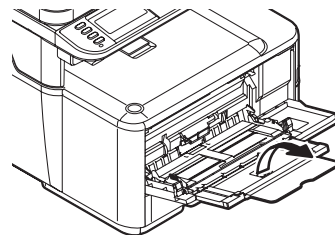
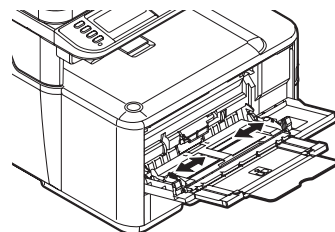
1 用紙トレイを引き出します。

2 用紙ガイド（1）を、セットする用紙の幅に合わせてスライドさせます。

3 用紙ストッパ（2）を、セットする用紙の長さに合わせてスライドさせます。

4 用紙をよくさばきます。用紙の端を水平にまっすぐにそろえます。

5 印刷面を下にして用紙をセットします。

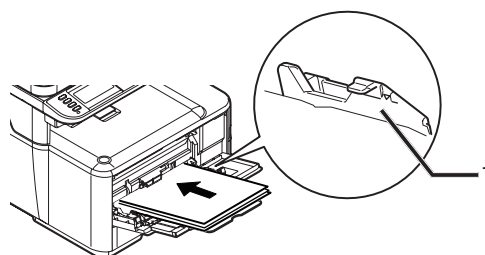
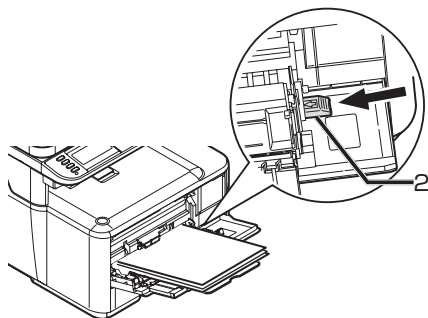
● 用紙ガイドの「▽」マーク（3）を越えて用紙をセットしないでください。

6 止まるまで用紙トレイを押します。

セットした用紙を本機に登録します。「トレイ設定を行う」P.40 に進みます。

マルチパーパストレイに用紙をセットする

次の手順では、用紙をマルチパーパストレイにセットする方法を説明します。

1 マルチパーパストレイを開きます。

2 用紙サポータを引き出します。

3 補助サポータを開きます。

4 手差しガイドを、セットする用紙の幅に合わせて調節します。

5 用紙の端が給紙口に接触するまで、印刷面を上にして用紙をセットします。

● 「▽」マーク（1）を越えて用紙をセットしないでください。

6 セットボタン（2）を押します。

セットした用紙を本機に登録します。「トレイ設定を行う」P.40 に進みます。

注

- サイズ、種類、厚さが異なる用紙を同時にセットしないでください。
- 用紙を追加するときは、マルチパーパストレイに入っている用紙を取り出し、その用紙と追加する用紙の端をまっすぐにそろえてから、両方の用紙をセットします。
- マルチパーパストレイには、印刷用紙以外のものは入れないでください。

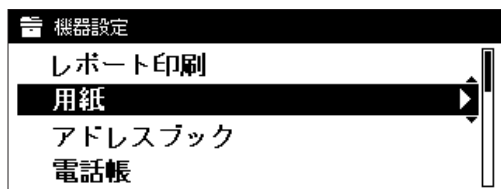
メモ

- はがき、往復はがきは印刷する面を上に、封筒は宛名面を上にし、それぞれ次の向きにセットします。
  - はがきは、上端から給紙口に入っていくようにセットします。
  - 往復はがきは、右端から給紙口に入っていくようにセットします。
  - 長形封筒（長形３号、長形４号、A4）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を開いた状態で、フラップが手前にくるようにセットします。
  - 封筒３（洋形４号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して右側にくるようにセットします。
  - 洋形封筒（Monarch、Com-9、Com-10、DL、C5）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して左側にくるようにセットします。

トレイ設定を行う

トレイ 1、トレイ 2、またはマルチパーパストレイに用紙をセットしたら、セットした用紙を本機に登録する必要があります。

1 操作パネルの <**設定**> ボタンを押します。

2 ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して用紙をセットした用紙トレイを選択し、OKを押します。

4 ［**用紙サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押してセットした用紙のサイズを選択し、OKを押します。

参照

- ［**用紙サイズ**］で［**カスタムサイズ**］を選択した場合は、カスタムサイズを登録する必要があります。カスタムサイズの登録方法については、「カスタムサイズを登録する」P.40 を参照してください。

6 ▼を押して［**用紙種類**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押してセットした用紙の種類を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**用紙厚**］を選択し、OKを押します。

9 ▼を押してセットした用紙の厚さを選択し、OKを押します。

10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

カスタムサイズを登録する

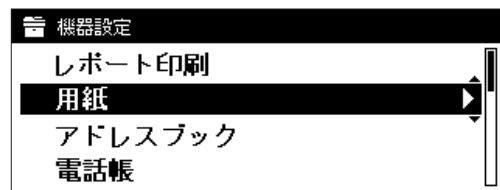
カスタムサイズの用紙をセットするには、印刷前に用紙の幅と長さを登録する必要があります。設定できるサイズの範囲は、用紙トレイによって異なります。

トレイ	使用できる用紙サイズの範囲
トレイ 1	幅： 100 ～ 216 mm（3.9 ～ 8.5 インチ） 長さ： 148 ～ 356 mm（5.8 ～ 14.0 インチ）
トレイ 2 （オプション）	幅： 148 ～ 216 mm（5.8 ～ 8.5 インチ） 長さ： 210 ～ 356 mm（8.3 ～ 14.0 インチ）
マルチパーパストレイ	幅： 64 ～ 216 mm（2.5 ～ 8.5 インチ） 長さ： 127 ～ 1321 mm（5.0 ～ 52.0 インチ）

注

- ［**用紙サイズ**］が［**カスタムサイズ**］に設定されている場合のみ、［**カスタムサイズ**］が表示されます。
- 両面印刷に使用できる用紙サイズの範囲は、トレイ 2 に使用できる用紙サイズの範囲と同じです。

1 操作パネルの <**設定**> ボタンを押します。

2 ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して用紙をセットした用紙トレイを選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**カスタムサイズ**］を選択し、OKを押します。

5 テンキーを使用して目的の値を入力し、OKを押します。

次のボックスに移動するには、◀または▶を押します。

6 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

用紙の排出

本機は、フェイスダウンスタッカーまたはフェイスアップスタッカーに用紙を排出します。それぞれのスタッカーに排出できる用紙の種類は次のとおりです。

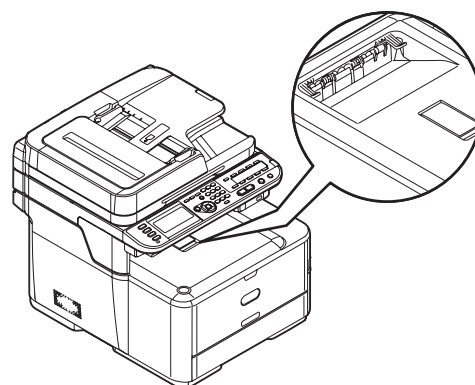
排出先	排出できる用紙種類	容量
フェイスダウンスタッカー	● 普通紙 ● 再生紙	● 150 枚（用紙の厚さが 64 g/m² （連量 55 kg）の場合）
フェイスアップスタッカー	● 普通紙 ● 再生紙 ● 封筒 ● はがき ● 往復はがき ● インデックスカード ● ラベル紙	● 110 枚（用紙の厚さが 64 g/m² （連量 55 kg）の場合） ● 10 枚（厚紙および封筒）

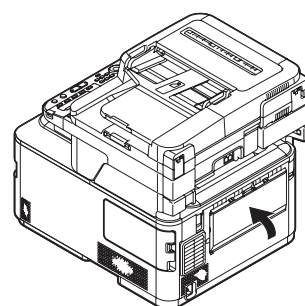
両面印刷するときは、フェイスダウンスタッカーに排出します。

注

- 印刷中は、フェイスアップスタッカーを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

フェイスダウンスタッカーを使用する

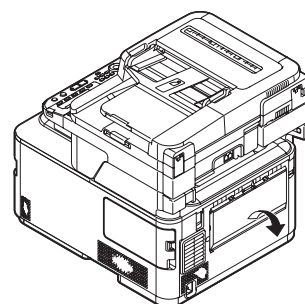
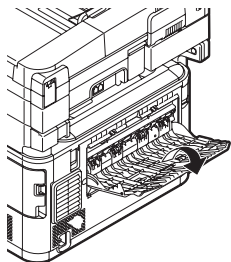
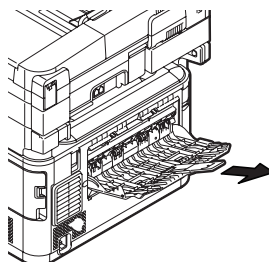
印刷面を下にして排紙します。

注

- 本機の後ろ側にあるフェイスアップスタッカーが閉じていることを確認してください。フェイスアップスタッカーが開いた状態では、常にフェイスアップスタッカーに排紙されます。

フェイスアップスタッカーを使用する

印刷面を上にして排紙します。

注

- 両面印刷するときは、フェイスアップスタッカーは使用できません。

1 本機の後ろ側にあるフェイスアップスタッカーを手前に開きます。

2 用紙サポータを広げます。

3 補助サポータを引き出します。

原稿のセットのしかた

スキャナータイプ	読み取り可能サイズ	容量	用紙の厚さ
自動原稿送り装置（ADF）	● A4 ● A5 ● B5 ● A6 ● レター ● リーガル 13 ● リーガル 13.5 ● リーガル 14 ● エグゼクティブ	50 枚 （64 g/m^2）	60 ～ 105 g/m^2 （連量 52 ～ 90 kg）
原稿ガラス	● A4 ● A5 ● B5 ● A6 ● レター ● エグゼクティブ	-	20 mm

メモ

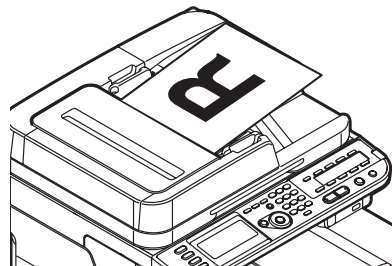
- A6 は両面読み取りできません。

注

- 接着剤、インク、修正液を使用した原稿の場合は、完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

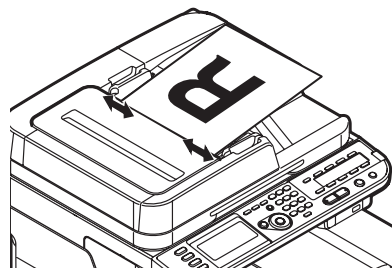
原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットする

1 原稿を表にして自動原稿送り装置（ADF）にセットします。

縦向きの原稿の場合、原稿の上端から入っていくようにセットします。

横向きの原稿の場合、原稿の左端から入っていくようにセットします。

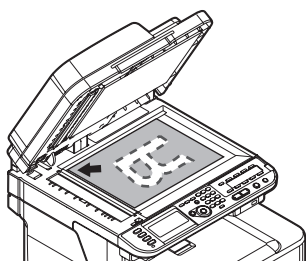
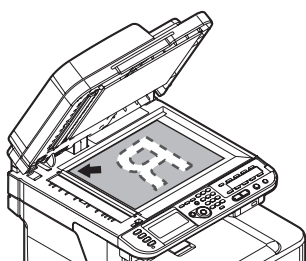
2 原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

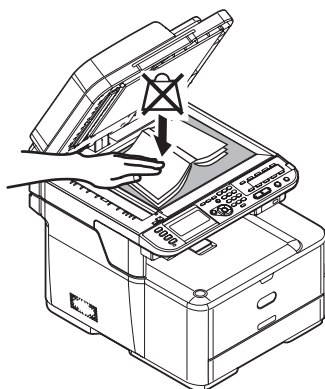
注

- 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

原稿を原稿ガラスにセットする

1 原稿ガラスカバーを開きます。

2 原稿を裏にして、原稿ガラスにセットします。

縦向きの原稿の場合、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

横向きの原稿の場合、原稿の右端とガラスの左上の角を合わせます。

注

- 原稿ガラスを強く押さないでください。

3 原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

参照

- 原稿の方向（縦、横）に応じて、あらかじめ［**原稿の画像向き**］設定を変更しておく必要があります。工場出荷時の設定は［**縦**］です。［**原稿の画像向き**］設定については、「原稿の向きを変更する（原稿の画像向き）」P.109 を参照してください。

用紙・原稿について

この節では、用紙および原稿の仕様と、それらをセットする方法について説明します。

用紙について

使用できる用紙の種類

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。 電子写真プリンター用紙をご使用ください。

弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙種類	用紙種類用紙サイズ（mm）（カッコ内の単位はインチ）		用紙の厚さ
普通紙	A4	210 x 297	64 ～ 220 g/m^2（連量 55 ～ 189 kg)、両面印刷の場合は 64 ～ 176 g/m^2（連量 55 ～ 151 kg） 注 ● A6、A5 サイズおよび、用紙幅が 148 mm（A5 幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。
	A5	148 x 210	
	A6	105 x 148	
	B5	182 x 257	
	レター	215.9 x 279.4（8.5 x 11）	
	リーガル（13 インチ）	215.9 x 330.2（8.5 x 13）	
	リーガル（13.5 インチ）	215.9 x 342.9（8.5 x 13.5）	
	リーガル（14 インチ）	215.9 x 355.6（8.5 x 14）	
	エグゼクティブ	184.2 x 266.7（7.25 x 10.5）	
	16K（184 x 260 mm）	184 x 260	
	16K（195 x 270 mm）	195 x 270	
	16K（197 x 273 mm）	197 x 273	
	カスタム	幅：64 ～ 216 長さ：148 ～ 1321	64 ～ 220 g/m^2（連量 55 ～ 189 kg）
はがき	はがき	100 x 148	郵便はがき
	往復はがき	148 x 200	
封筒	封筒（長形 3 号）	120 x 235	85 g/m^2 の紙を使用したもの
	封筒（長形 4 号）	90 x 205	
	封筒（洋形 4 号）	105 x 235	
	封筒（A4）	216 x 297	
	Monarch	98.4 x 190.5（3.875 x 7.5）	24 lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-9	98.4 x 225.4(3.875 x 8.875)	
	Com-10	104.8 x 241.3（4.125 x 9.5）	
	DL	110 x 220（4.33 x 8.66）	
	C5	162 x 229（6.4 x 9）	
インデックスカード	インデックスカード	76.2 x 12.7（3 x 5）	
ラベル紙	A4	210 x 297	0.1 ～ 0.2 mm
	レター	215.9 x 279.4（8.5 x 11）	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。		64 ～ 220 g/m^2（連量 55 ～ 189 kg）
カラー用紙	普通紙に準じます。		64 ～ 220 g/m^2（連量 55 ～ 189 kg）

推奨紙

■ 普通紙

OKI カラーページプリンター用紙 エクセレントペーパー A4（型名：PPR-DA4TDB）

エクセレント ホワイト　A4（型名：PPR-CA4NA）

■ 再生紙

王子製紙製　再生 PPC 用紙 100

使用できない用紙

次の種類の用紙は使用しないでください。使用すると、紙づまりや不具合の原因になります。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工（コート紙）をしてある用紙
- のり・スターチ・薬品などで特殊加工してあるもの
- 耐熱性（230℃）のない特殊加工をしてあるもの
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがあるもの
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついているもの
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンター用紙、インクジェット用の用紙やはがき、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- 切手の貼ってあるもの
- 写真加工してあるはがき
- 厚すぎる封筒、プラスチックでできた封筒、内袋のある二重封筒、撥水加工された封筒
- 留め金やボタンや窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤や両面テープのついた封筒

用紙の保管

用紙は、品質を維持するために次の条件の下で保管してください。

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度：20℃
- 湿度：50% RH（相対湿度）

次のような場所には保管しないでください。

- 床の直接上
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

! 注

- 用紙は、使用するときまで開封しないでください。
- 開封した用紙を長期間放置しないでください。正常に印刷できないことがあります。

原稿について

自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスを使って原稿をセットし、コピー、スキャン、またはファクス送信することができます。

原稿の条件

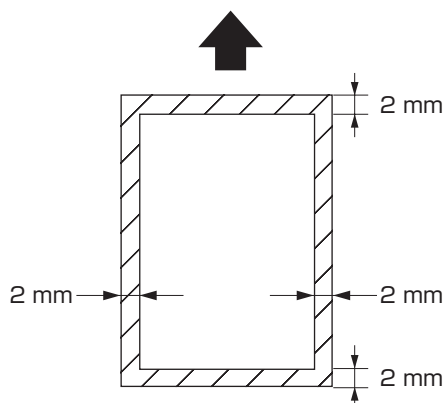
次の原稿は自動原稿送り装置（ADF）にセットすることはできません。代わりに原稿ガラスを使用してください。

- 破れや穴のある原稿
- シワやカールの激しい原稿
- 湿った原稿
- 静電気で密着した原稿
- 裏がカーボンになっている原稿
- 布地、金属シート、OHP フィルム
- ホチキス、クリップ、セロハンテープなどがついた原稿
- 貼り合わせた原稿、のりがついた原稿
- 光沢のある原稿
- 特殊コーティングされた原稿

原稿ガラスを損傷しないように、次のことに注意してください。

- 厚手の原稿をコピーするときに、原稿をガラスに強く押し付けないでください。
- 堅い原稿は、静かに置いてください。
- 鋭利な突起のある原稿をセットしないでください。

コピー時の読み取り可能領域

コピー機能では、定形紙の用紙端 2 mm の領域にある文字または画像は、読み取ることができません。

メモ

- 上図の矢印は、自動原稿送り装置（ADF）での送り方向、または原稿ガラスでの読み取り開始側を示します。

2　機器単体で動作を確認する

テスト印刷する

この節では、本機の設定や状態の確認ができるメニューマップを印刷する方法を説明します。

印刷手順

1. 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。
2. [**レポート印刷**] が選択されていることを確認し、OKを押します。
3. [**メニューマップ**] が選択されていることを確認し、OKを押します。
4. 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

参照

- 各機能のレポートやジョブリストを印刷することもできます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

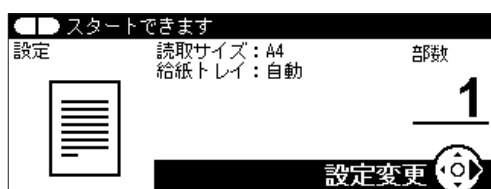
コピー動作を確認する

この節では、本機のコピー動作を確認します。

コピー手順

メモ

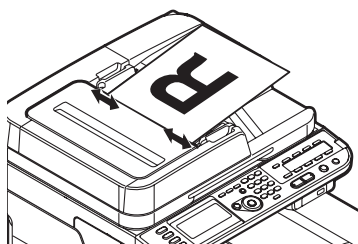
- 次の手順では、工場出荷時の設定を使用しています。

1 操作パネルの < **コピー** > ボタンを押して、スタート画面を開きます。

2 以下のように原稿を自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットします。

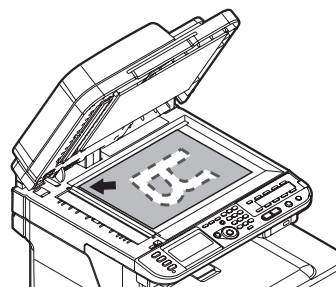
● 自動原稿送り装置（ADF）

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

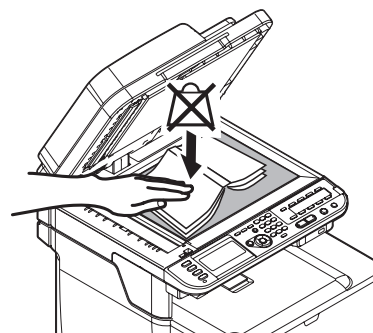
注

- 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

● 原稿ガラス

原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

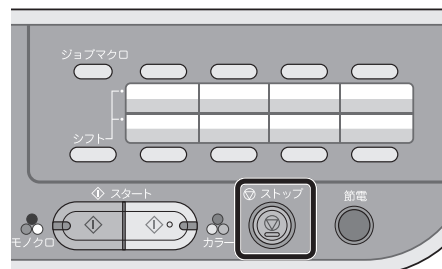
注

- 原稿ガラスでコピーするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

メモ

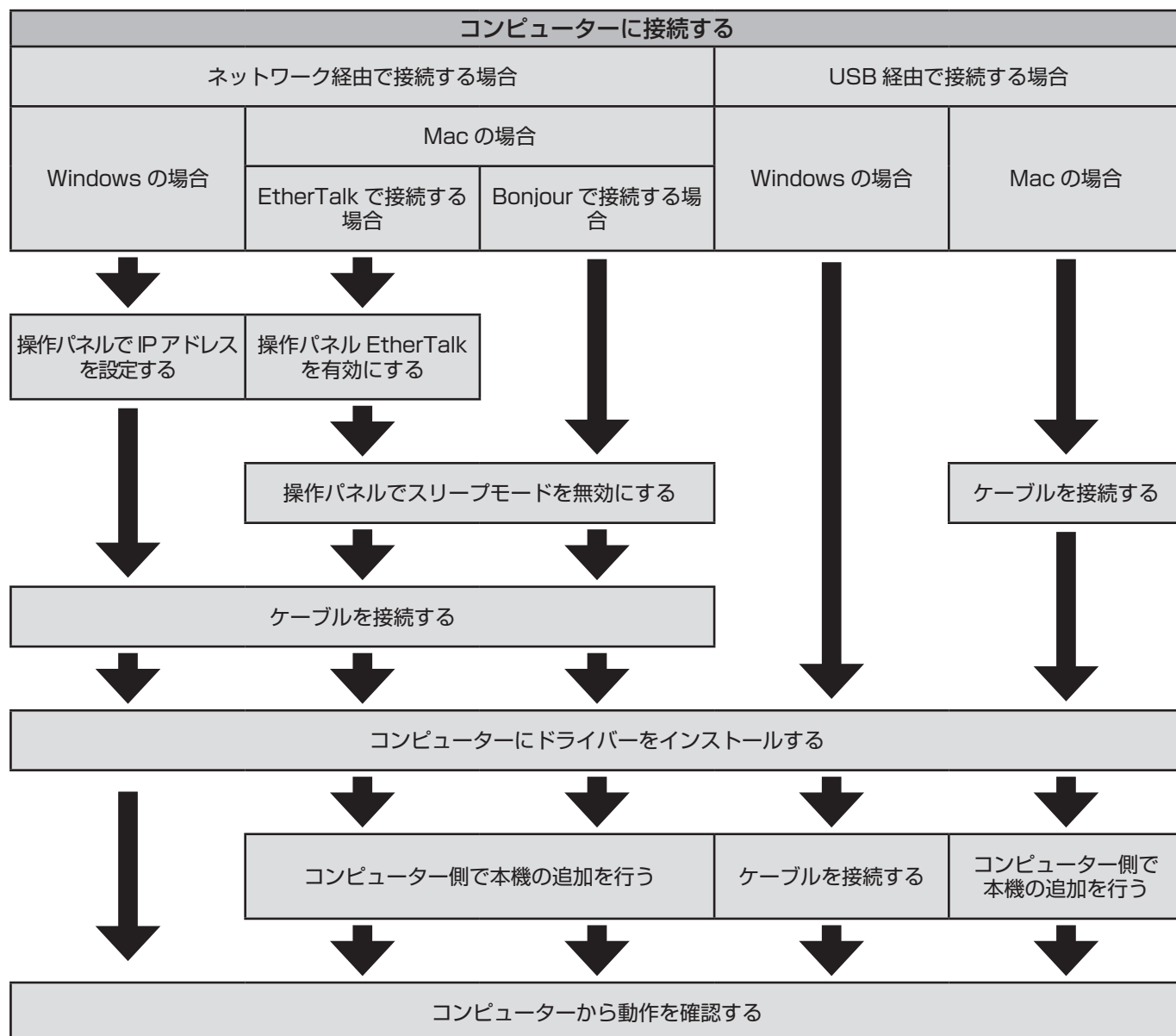
- 本機で原稿をコピーするときは、自動原稿送り装置（ADF）の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置（ADF）に原稿がないことを確認してください。

3 モノクロ（ モノクロ ）またはカラー（ カラー ）を押してコピーを始めます。

メモ

- コピー完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、< **ストップ** > ボタンを押して、コピーを中止できます。

3 ケーブルを接続してドライバーなどをインストールする

この章ではケーブルの接続、お使いのコンピューターにプリンタードライバー、FAX ドライバー、スキャナードライバー、各種ソフトウェアをインストールする方法、コンピューターからの動作確認について説明します。

■ コンピューターにドライバーをインストールする流れ

■ 概要

❑ 接続方法

本機は、次のいずれかの接続方法を選択できます。

- 「ネットワーク接続」P.51
- 「USB 接続」P.59

❑ 動作環境

本機は、次の Windows オペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 7/Windows 7（64bit 版） 日本語版
- Windows Vista/Windows Vista（64bit 版） 日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Server 2008/Windows Server 2008（64bit 版） 日本語版
- Windows XP/Windows XP（x64 版） 日本語版
- Windows Server 2003/Windows Server 2003（x64 版） 日本語版

ネットワーク接続

ネットワーク接続を経由して、お使いのコンピューターにドライバーなどをインストールするには、下の２つの手順を行ってください。

- 「手順１ 本機のネットワーク設定を行う」P.51
- 「手順２ ドライバーなどをインストールする」P.53

注

- この手順を行う前に、ネットワーク設定を完了させてください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順１をスキップしてください。
- ドライバーがお使いのコンピューターにすでにインストールされている場合は、手順２をスキップしてください。

手順１ 本機のネットワーク設定を行う

本機をイーサネットケーブルでネットワークに接続し、操作パネルから本機の IP アドレスとその他のネットワーク情報を設定します。IP アドレスは、手動または自動で設定できます。

ネットワーク上に DHCP サーバや BOOTP サーバがない場合、手動でコンピューターや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピューターや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

注

- 次の手順を行う前に、コンピューターのネットワーク設定を完了させてください。
- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスを手動で設定する場合、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダに、使用する IP アドレスを問い合わせてください。IP アドレスを誤って設定すると、ネットワークが停止したりインターネットアクセスが不能になることがあります。

メモ

- 本機と１台のコンピューターで小さなネットワークを構成する場合は、以下に示すとおりに IP アドレスを設定します（RFC1918 に準拠）。

コンピューター

IP アドレス：	192.168.0.1 ～ 254
サブネットマスク：	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：	不使用
DNS サーバ：	不使用

本機

IP アドレス設定：	手動
IP アドレス：	192.168.0.1 ～ 254（コンピューターと異なる値を選択します）
サブネットマスク：	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：	0.0.0.0
ネットワークの規模：	小規模

- ［**ネットワークの規模**］を設定するには、<**設定**> ボタン >［**管理者設定**］>［**ネットワーク管理**］>［**ネットワーク設定**］>［**ネットワークの規模**］>［**小規模**］を選択します。

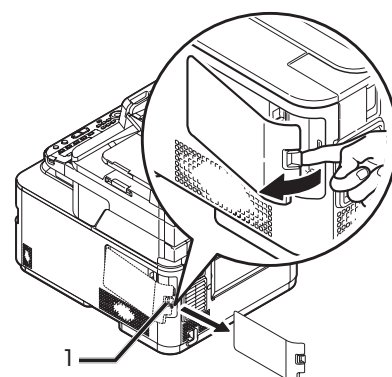
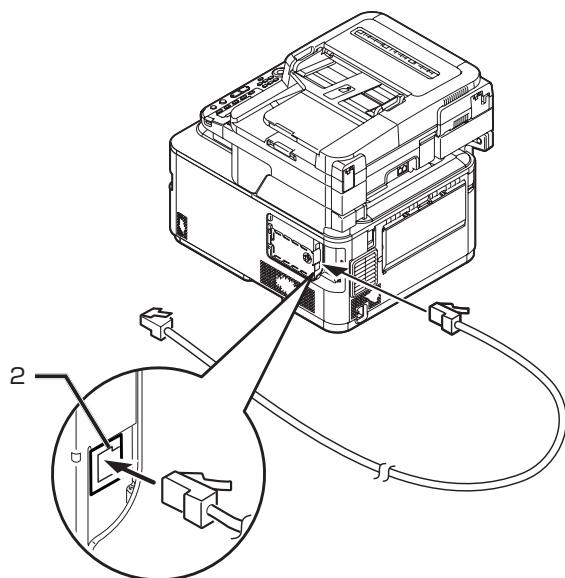
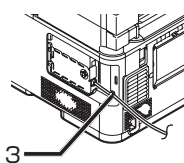
1 イーサネットケーブルとハブを用意します。

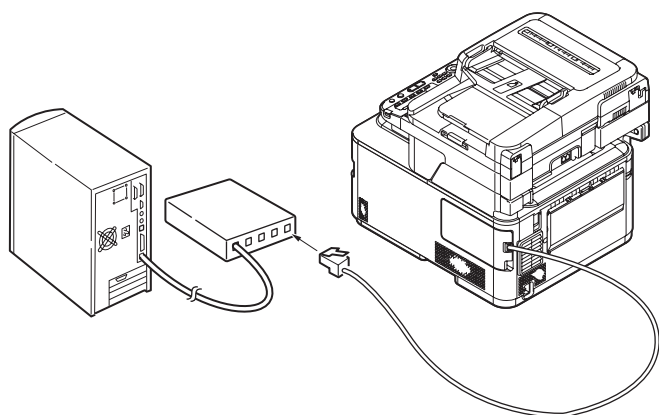
イーサネットケーブル（カテゴリ５以上、ツイストペア、ストレート）とハブを別途用意してください。

2 本機とコンピューターの電源を切ります。

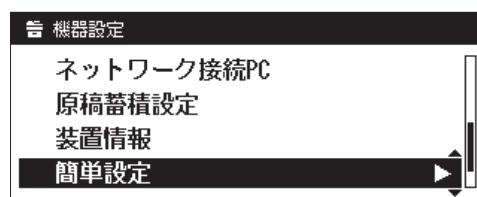
参照

- 「電源を切る」P.36

3 ロックボタン（1）を押しながら、本機の右側のコネクターカバーを取り外します。

4 イーサネットケーブルの一端を、本機のネットワークインタフェースコネクター（2）に差し込みます。

5 イーサネットケーブルを本機のフック（3）に掛けます。

6 コネクターカバーを本機に取り付けます。

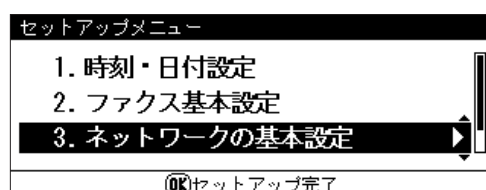
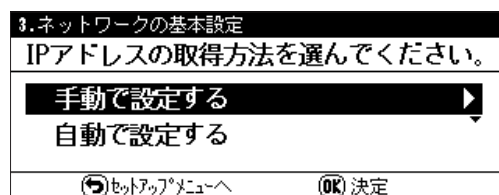
7 イーサネットケーブルの他端をハブに差し込みます。

8 本機の電源を入れます。

9 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

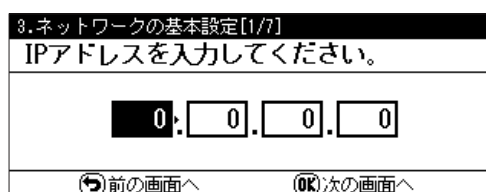
10 ▼を押して [**簡単設定**] を選択し、OKを押します。

11 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

12 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

13 ▼を押して [**ネットワークの基本設定**] を選択し、▶を押します。

14 IP アドレスを手動で設定する場合は、[**手動で設定する**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

IP アドレスを自動で取得する場合は、▼を押して [**自動で設定する**] を選択し、OKを押します。手順 19 に進みます。

15 IP アドレスを入力し、OKを押します。

次のボックスに移動するには、▶を押します。

16 サブネットマスクを入力し、OKを押します。

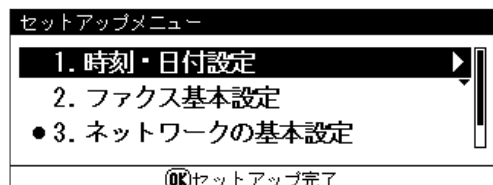
次のボックスに移動するには、▶を押します。

17 デフォルトゲートウェイアドレスを入力し、OKを押します。

次のボックスに移動するには、▶を押します。

18 必要に応じて、DNS サーバおよび WINS サーバを入力します。(スキャン To メール、インターネットファクス、スキャン To ネットワーク PC を使用する場合、必ず入力してください。)

DNS サーバおよび WINS サーバがネットワーク接続に必要ない場合は、設定完了を示すポップアップメッセージが表示されるまで OK を押します。

19 セットアップメニュー画面が表示されたら、OK を押してセットアップを完了します。

手順 2 ドライバーなどをインストールする

Windows の場合

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認してから、「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

2 [**自動再生**] が表示されたら、[**setup.exe の実行**] をクリックします。

[**ユーザー アカウント制御**] ダイアログボックスが表示された場合は、[**はい**] をクリックします。

3 「**言語選択**」画面で [**日本語**] が選択されていることを確認し、[**次へ**] をクリックします。

4 装置を選択し、[**次へ**] をクリックします。

5 使用許諾契約を読み、[**同意する**] をクリックします。

6 「**環境についてのアドバイス**」を読み、[**次へ**] をクリックします。

7 [**ソフトウェア**] の下からインストールするドライバーにチェックを付けます。

メモ

- 本機をプリンターとしてお使いになる場合は、[**PCL ドライバ**]、[**PS ドライバ**]、[**XPS ドライバ**] のいずれかをインストールします。
- 本機をファクスとしてお使いになる場合は、[**FAX ドライバ**] をインストールします。
- 本機をスキャナーとしてお使いになる場合は、[**スキャナドライバ**] と [**ActKey**] をインストールします。

8 一括インストールボタンをクリックします。

9 [**Windows セキュリティー**] ダイアログが表示されたら、[**このドライバーソフトウェアをインストールします**] をクリックします。

10 [**ネットワーク接続**] をクリックします。

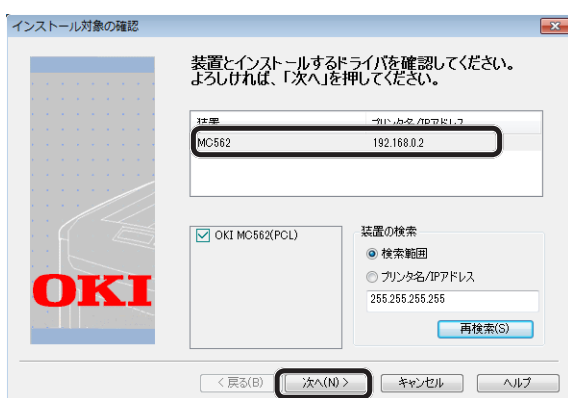
デバイス検索が開始されます。

- 本機が検出されると、自動的にインストールが開始されます。手順 12 に進みます。
- 本機が検出されない場合は、[**インストール対象の確認**] 画面が表示されます。手順 11 に進みます。

メモ

- プリンタードライバーのほかに、Network Extension、および色見本印刷ユーティリティも同時にインストールされます。

11 ［**再検索**］をクリックして、デバイス検索を再開します。

本機が表示されたら、本機を選択して［**次へ**］をクリックします。

メモ

- ［**再検索**］をクリックしても本機が表示されない場合は、［**IP アドレス**］を選択し、本機に割り当てた IP アドレスを入力し、［**次へ**］をクリックします。

12 ［**Windows セキュリティー**］ダイアログが表示されたら、［**このドライバー ソフトウェアをインストールします**］をクリックします。

13 ［**終了**］をクリックすると、インストールが終了します。

注

- コンピューターの再起動を促すダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。コンピューターが自動的に再起動します。

14 Windows の［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

15 OKI MC562 アイコンが表示されていることを確認します。
OKI MC562 アイコンを右クリックし、メニュー項目の 1 つを選択し、インストールしたすべてのプリンタードライバーがサブメニューに表示されていることを確認します。

16 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターから取り出します。

❑ 最後に、コンピューターからテスト印刷をします。

1 プリンタードライバーのプロパティを開きます。

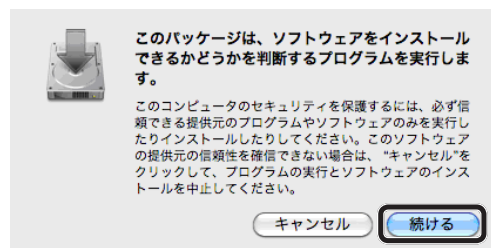
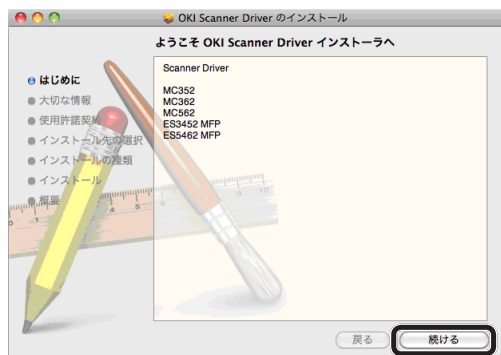
2 テスト印刷をクリックします。
これで、インストールは完了です。

Mac OS X の場合

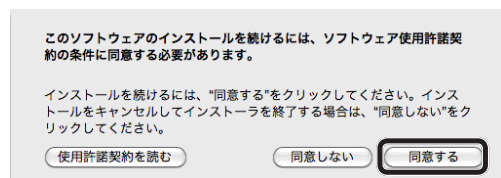
■スキャナードライバーをインストールする

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

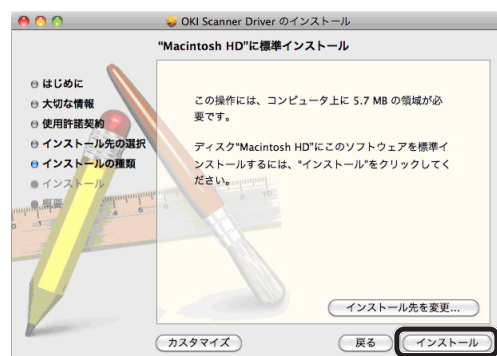
2 デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

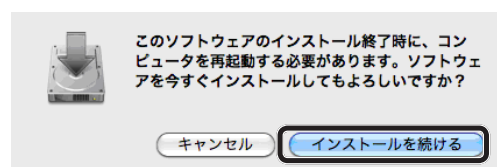
3 ［**Drivers**］＞［**Scanner**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

4 ［**続ける**］をクリックします。

5 [**続ける**] をクリックします。

6 表示された内容を確認し、[**続ける**] をクリックします。

7 使用許諾契約を読み、[**続ける**] をクリックします。

8 [**同意する**] をクリックします。

9 [**インストール**] をクリックします。

ドライバーのインストール先を変更する場合は、[**インストール先を変更**] をクリックします。

10 管理者の名前とパスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。

11 [**インストールを続ける**] をクリックします。

12 [**再起動**] をクリックします。

■ プリンタードライバーをインストールする

EtherTalk を使用してネットワーク接続を行う場合、本機の EtherTalk を有効にし、スリープモードをオフ（無効）にしておく必要があります。

また、Bonjour を使用してネットワーク接続を行う場合、スリープモードをオフ（無効）にしておく必要があります。スリープモードをオフ（無効）にする設定（手順１～４、９～１３）を行なってください。

注

- Mac OS X 10.6 ～ 10.7 では EtherTalk はサポートされていません。

1 操作パネルの<**設定**>ボタンを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、を押します。

3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ネットワーク管理**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**ネットワーク設定**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**有効**］を選択し、OKを押します。

8 「**管理者設定**」画面が表示されるまで、▶を押します。

9 ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

10 ▼を押して［**消費電力設定**］を選択し、OKを押します。

11 ▼を押して［**スリープ**］を選択し、OKを押します。

12 ▼を押して［**オフ**］を選択し、OKを押します。

13 トップ画面が表示されるまで◀を押します。

● Mac OS X 10.5 ～ 10.7 の場合

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認します。

2 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

3 デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

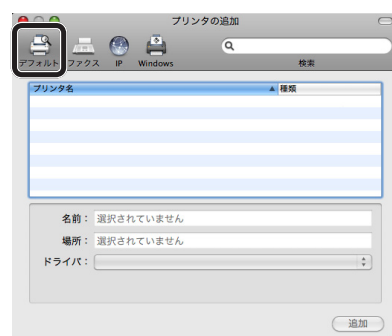
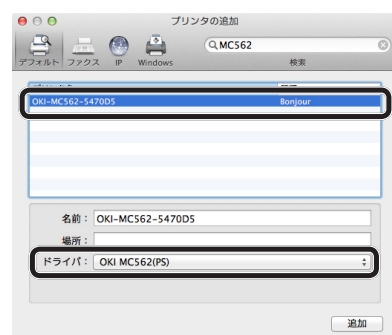
4 ［**Drivers**］＞［**PS**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

5 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

6 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

7 ［**プリントとスキャン**］（OS X 10.5 ～ 10.6 では［**プリントとファクス**］）をクリックします。

8 ［**+**］をクリックします。

9 ［**デフォルト**］をクリックします。

10 ［**種類**］が［**Bonjour**］または［**AppleTalk**］である本機を選択し、［**OKI MC562(PS)**］が［**ドライバ**］に表示されていることを確認します。
本機の名前は、「OKI-MC562（MAC アドレスの下 6 桁）」の形で表示されます。

11 ［**追加**］をクリックします。

12 ［**インストール可能なオプション**］ウィンドウが表示されたら、［**続ける**］をクリックします。
ドライバーをインストールする前にオプションのセカンドトレイユニットを本機に取り付けた場合は、トレイ設定を変更し、［**続ける**］をクリックします。

13 本機が［**プリンタ**］に追加され、［**種類**］に［**OKI MC562(PS)**］が表示されていることを確認します。

注

- ［**種類**］に［**OKI MC562(PS)**］と正しく表示されない場合は、［-］をクリックして［**プリンタ**］から本機を削除し、手順 8 ～ 12 を再度行ってください。

14 ［**プリントとスキャン**］（OS X 10.5 ～ 10.6 では［**プリントとファクス**］）を閉じます。

15 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターから取り出します。

これで、インストールは完了です。

- テストページを印刷し、プリンタードライバーがコンピューターにインストールされたことを確認します。

1 ［**Go**］メニューから［**Applications**］>［**TextEdit**］を選択します。

2 ［**File**］メニュー >［**Print**］を選択します。

3 ［**Printer**］から本機の名前を選択します。

4 ［**Print**］をクリックします。

- Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合

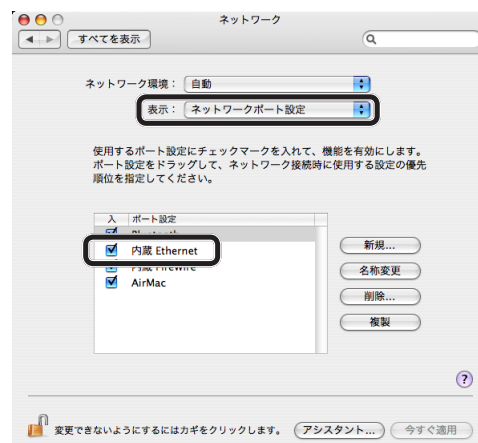
メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。OS によって、記載と異なることがあります。

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認します。

2 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

3 ［**ネットワーク**］を選択します。

4 ［**表示**］から［**ネットワークポート設定**］を選択し、［**内蔵 Ethernet**］にチェックがついていることを確認します。

5 ［**ネットワーク**］を閉じます。

6 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

7 デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

8 ［**Drivers**］>［**PS**］>［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

9 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

10 ［**移動**］メニューから［**ユーティリティ**］を選択し、［**プリンタ設定ユーティリティ**］をダブルクリックします。

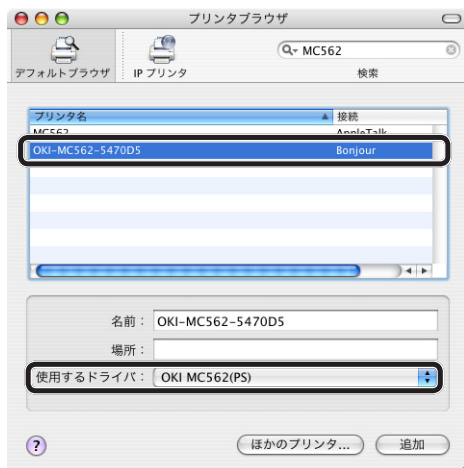
注

- ［**プリンタ設定ユーティリティ**］がすでに実行されている場合は、一度閉じて再度開きます。

11 ［**追加**］をクリックします。

［**使用可能なプリンタがありません。**］ダイアログが表示されたら、［**追加**］をクリックします。

12 ［**接続**］が［**Bonjour**］または［**AppleTalk**］である本機を選択し、［**OKI MC562(PS)**］が［**使用するドライバ**］に表示されていることを確認します。

本機の名前は、「OKI-MC562（MAC アドレスの下６桁）」の形で表示されます。

Mac OS X 10.3.9 の場合は、以下のとおりに設定してください。

a ポップアップメニューから［**Rendezvous**］を選択します。

b リストから本機を選択します。

c ［**プリンタの機種**］から［**Oki**］を選択し、ドライバーのリストから［**OKI MC562(PS)**］を選択します。

13 ［**追加**］をクリックします。

14 ［**インストール可能なオプション**］ウィンドウが表示されたら、［**続ける**］をクリックします。

ドライバーをインストールする前にオプションのセカンドトレイユニットを本機に取り付けた場合は、トレイ設定を変更し、［**続ける**］をクリックします。

15 本機が［**プリンタリスト**］に表示され、［**種類**］に［**OKI MC562（PS)**］が表示されたことを確認し、ウィンドウを閉じます。

16 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターから取り出します。

これで、インストールは完了です。

- テストページを印刷し、プリンタードライバーがコンピューターにインストールされたことを確認します。

1 ［**移動**］メニューから［**アプリケーション**］>［**テキストエディット**］を選択します。

2 ［**ファイル**］メニュー >［**ページ設定**］を選択します。

3 ［**対象プリンタ**］から本機の名前を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

5 ［**ファイル**］メニュー >［**プリント**］を選択します。

6 ［**プリンタ**］から本機の名前を選択します。

7 ［**プリント**］をクリックします。

USB 接続

次の手順に従って、USB ケーブルを接続し、コンピューターにドライバーなどをインストールします。

メモ

- ファクスドライバーがお使いのコンピューターにすでにインストールされている場合は、この手順をスキップしてください。

USB ケーブルを接続する

1 USB ケーブルを用意します。

USB ケーブルは本機に付属していません。USB 2.0 ケーブルを別途用意してください。

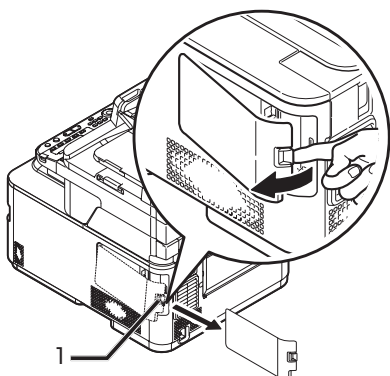
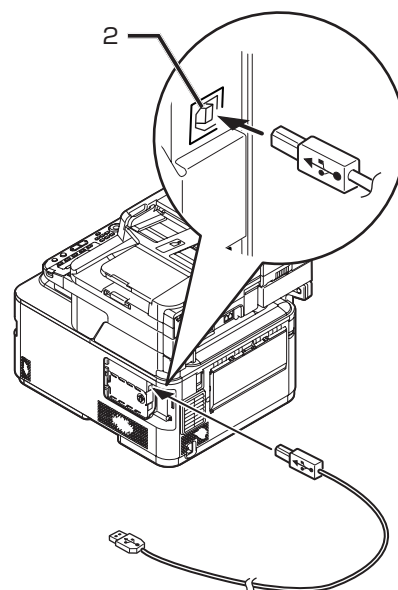
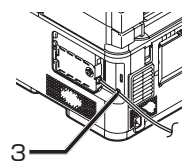
メモ

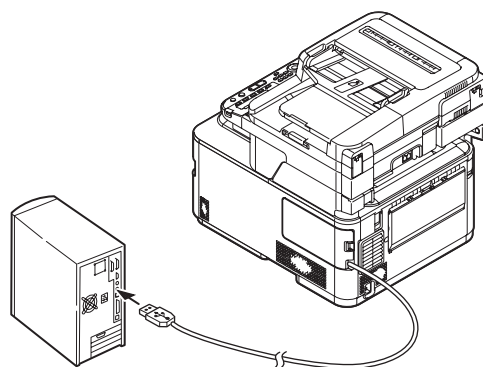
- USB 2.0 の Hi-Speed モードで接続を行う場合は、Hi-Speed USB 2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。

2 本機とコンピューターの電源を切ります。

参照

- 「電源を切る」P.36

3 ロックボタン（1）を押しながら、本機の右側のコネクターカバーを取り外します。

4 USB ケーブルの一端を、本機の USB インタフェースコネクター（2）に差し込みます。

5 USB ケーブルを本機のフック(3)に掛けます。

6 コネクターカバーを本機に取り付けます。

7 USB ケーブルの他端をコンピューターの USB インタフェースコネクターに差し込みます。

注

- Windows の場合、ドライバーのインストール中に画面上に指示が表示されるまで、USB ケーブルの他端をコンピューターに差し込まないでください。

注

- USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクターに差し込まないでください。故障の原因になります。

ドライバーをインストールする

Windows の場合

! 注

- コンピューターの管理者の権限が必要です。

1 本機の電源が入っていないこと、USB ケーブルがコンピューターから抜いてあることを確認します

2 コンピューターの電源を入れます。

3 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

4 [**自動再生**] が表示されたら、[**setup.exe の実行**] をクリックします。

[**ユーザー アカウント制御**] ダイアログが表示されたら、[**はい**] をクリックします。

5 「**言語選択**」画面で [**日本語**] が選択されていることを確認し、[**次へ**] をクリックします。

6 装置を選択し、[**次へ**] をクリックします。

7 使用許諾契約を読んで、[**同意する**] をクリックします。

8 「**環境についてのアドバイス**」を読み、[**次へ**] をクリックします。

9 [**ソフトウェア**] の下からインストールするドライバーにチェックを付けます。

メモ

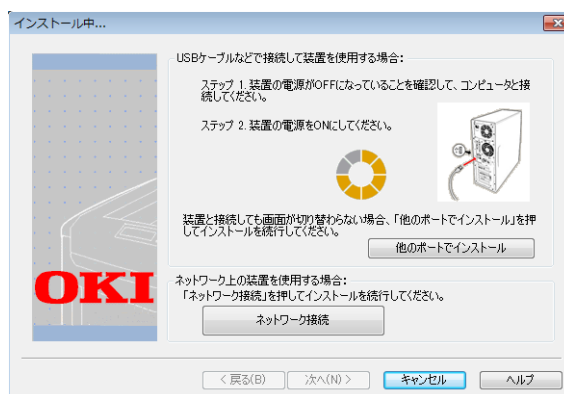
- 本機をプリンターとしてお使いになる場合は、[**PCL ドライバ**]、[**PS ドライバ**]、[**XPS ドライバ**] のいずれかをインストールします。
- 本機をファクスとしてお使いになる場合は、[**FAX ドライバ**] をインストールします。
- 本機をスキャナーとしてお使いになる場合は、[**スキャナドライバ**] と [**ActKey**] をインストールします。

10 一括インストールボタンをクリックします。

メモ

- 一括インストールではチェックボックスにチェックを付けた項目のドライバー、ソフトウェアがインストールされます。個々のドライバー、ソフトウェアをインストールしたい場合は、項目右側に配置されるインストールボタンをクリックし、画面に表示される指示に従ってください。
- プリンタードライバーのほかに、色見本印刷ユーティリティも同時にインストールされます。

11 [**Windows セキュリティー**] ダイアログが表示されたら、[**このドライバー ソフトウェアをインストールします**] をクリックします。

12 本機をコンピューターに接続して、本機の電源を入れることを促す指示が表示されたら、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。

画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

13 ［**終了**］をクリックすると、インストールが終了します。

14 Windows の［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

15 OKI MC562 アイコンが表示されていることを確認します。
OKI MC562 アイコンを右クリックし、メニュー項目の 1 つを選択し、インストールしたすべてのプリンタードライバーがサブメニューに表示されていることを確認します。

16「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターから取り出します。

❑ 最後に、コンピューターからテスト印刷をします。

1 プリンタードライバーのプロパティを開きます。

2 テスト印刷をクリックします。
これで、インストールは完了です。

Mac OS X の場合

■ スキャナードライバーをインストールする

インストール手順については、「スキャナードライバーをインストールする」P.54 を参照してください。

■ プリンタードライバーをインストールする

● Mac OS X 10.5 ～ 10.7 の場合

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認します。

2「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

3 デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

4 ［**Drivers**］＞［**PS**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

5 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

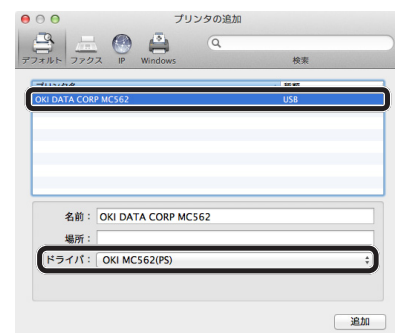
6 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

7 ［**プリントとスキャン**］（OS X 10.5 ～ 10.6 では［**プリントとファクス**］）をクリックします。

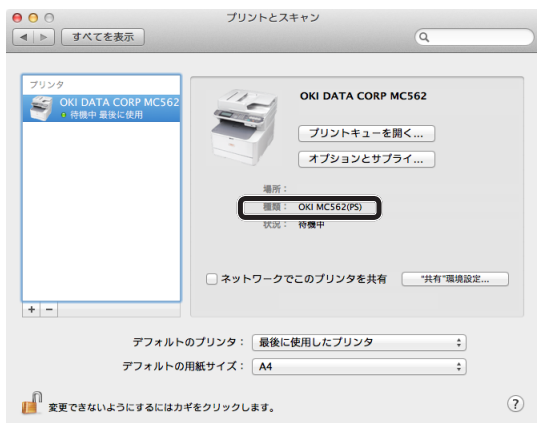
8 [+] をクリックします。

注

● ［**プリンタ**］に本機がすでに表示されている場合は、本機を選択し、[-] をクリックして削除します。その後、[+] をクリックします。

9 ［**種類**］が［**USB**］である本機を選択し、［**OKI MC562(PS)**］が［**ドライバ**］に表示されていることを確認します。

10 ［**追加**］をクリックします。

11 本機が［**プリンタ**］に追加され、［**種類**］に［**OKI MC562(PS)**］が表示されていることを確認します。

注

- ［**種類**］に［**OKI MC562(PS)**］と正しく表示されない場合は、［-］をクリックして［**プリンタ**］から本機を削除し、手順 8 ～ 10 を再度行ってください。

12 ［**プリントとスキャン**］（OS X 10.5 ～ 10.6 では［**プリントとファクス**］）を閉じます。

13「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターから取り出します。

これで、インストールは完了です。

- テストページを印刷し、プリンタードライバーがコンピューターにインストールされたことを確認します。

1 ［**移動**］メニューから［**アプリケーション**］>［TextEdit］を選択します。

2 ［**ファイル**］メニュー >［**プリント**］を選択します。

3 ［**プリンタ**］から本機の名前を選択します。

4 ［**プリント**］をクリックします。

- Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合

メモ

- 下の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認します。

2 「ソフトウェア DVD-ROM」を挿入します。

3 デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

4 ［**Drivers**］>［**PS**］>［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

5 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

6 ［**移動**］メニューから［**ユーティリティ**］を選択し、［**プリンタ設定ユーティリティ**］をダブルクリックします。

注

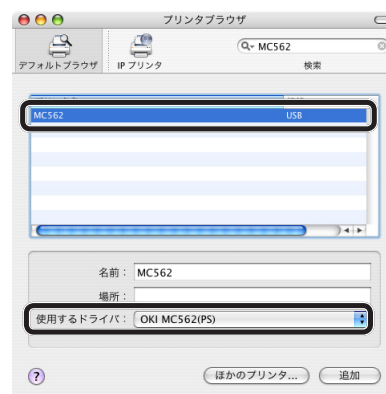
- ［**プリンタ設定ユーティリティ**］がすでに実行されている場合は、一度閉じて再度開きます。

7 ［**追加**］をクリックします。

［**使用可能なプリンタがありません。**］ダイアログが表示されたら、［**追加**］をクリックします。

注

- 本機がすでに表示されている場合は、本機を選択して［**削除**］をクリックしてから、［**追加**］をクリックします。

8 ［**接続**］が［**USB**］である本機を選択し、［**OKI MC562(PS)**］が［**使用するドライバ**］に表示されていることを確認します。

Mac OS X 10.3.9 の場合は、以下のとおりに設定してください。

a ポップアップメニューから［**USB**］を選択します。

b リストから本機を選択します。

c ［**プリンタの機種**］から［**Oki**］を選択し、ドライバーのリストから［**OKI MC562(PS)**］を選択します。

3

ケーブルを接続してドライバーなどをインストールする

9 [**追加**] をクリックします。

10 本機が［**プリンタリスト**］に表示されたことを確認し、ウィンドウを閉じます。

11「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターから取り出します。

これで、インストールは完了です。

● テストページを印刷し、プリンタードライバーがコンピューターにインストールされたことを確認します。

1 [**移動**] メニューから [**アプリケーション**] > [**TextEdit**] を選択します。

2 [**ファイル**] メニュー > [**ページ設定**] を選択します。

3 [**対象プリンタ**] から本機の名前を選択します。

4 [**対象プリンタ**] の下で [**OKI MC562(PS)**] が正しく表示されていることを確認します。

5 [**OK**] をクリックします。

6 [**ファイル**] メニュー > [**プリント**] を選択します。

7 [**プリンタ**] から本機の名前を選択します。

8 [**プリント**] をクリックします。

Windows の基本手順

本書で例にしている Windows 7 以外の OS について、[**プリンタ**] / [**プリンタと FAX**] フォルダからドライバーの設定画面を表示する手順を説明します。

メモ

- Windows Server 2008 R2 の手順は、Windows 7 と同じです。
- 複数のドライバーをインストールしている場合は、[**プリンタ**] / [**プリンタと FAX**] フォルダにドライバーごとにアイコンが表示されます。設定 / 確認したいドライバーで以下の手順を行ってください。

プロパティ画面を表示する

■ Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

1 [**スタート**] をクリックし、[**コントロール パネル**] > [**プリンタ**] を選択します。

2 OKI MC562 アイコンを右クリックし、[**プロパティ**] を選択します。

■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1 [**スタート**] をクリックし、[**プリンタと FAX**] を選択します。

2 OKI MC562 アイコンを右クリックし、[**プロパティ**] を選択します。

印刷設定画面を表示する

■ Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

1 [**スタート**] をクリックし、[**コントロール パネル**] > [**プリンタ**] を選択します。

2 OKI MC562 アイコンを右クリックし、[**印刷設定**] を選択します。

■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1 [**スタート**] をクリックし、[**プリンタと FAX**] を選択します。

2 OKI MC562 アイコンを右クリックし、[**印刷設定**] を選択します。

4　ファクスを設定する

この章では、ファクス送信およびコンピューターからファクスを送信するための初期設定と送受信確認について説明します。

本機は、次のファクスに関連する機能に対応しています。

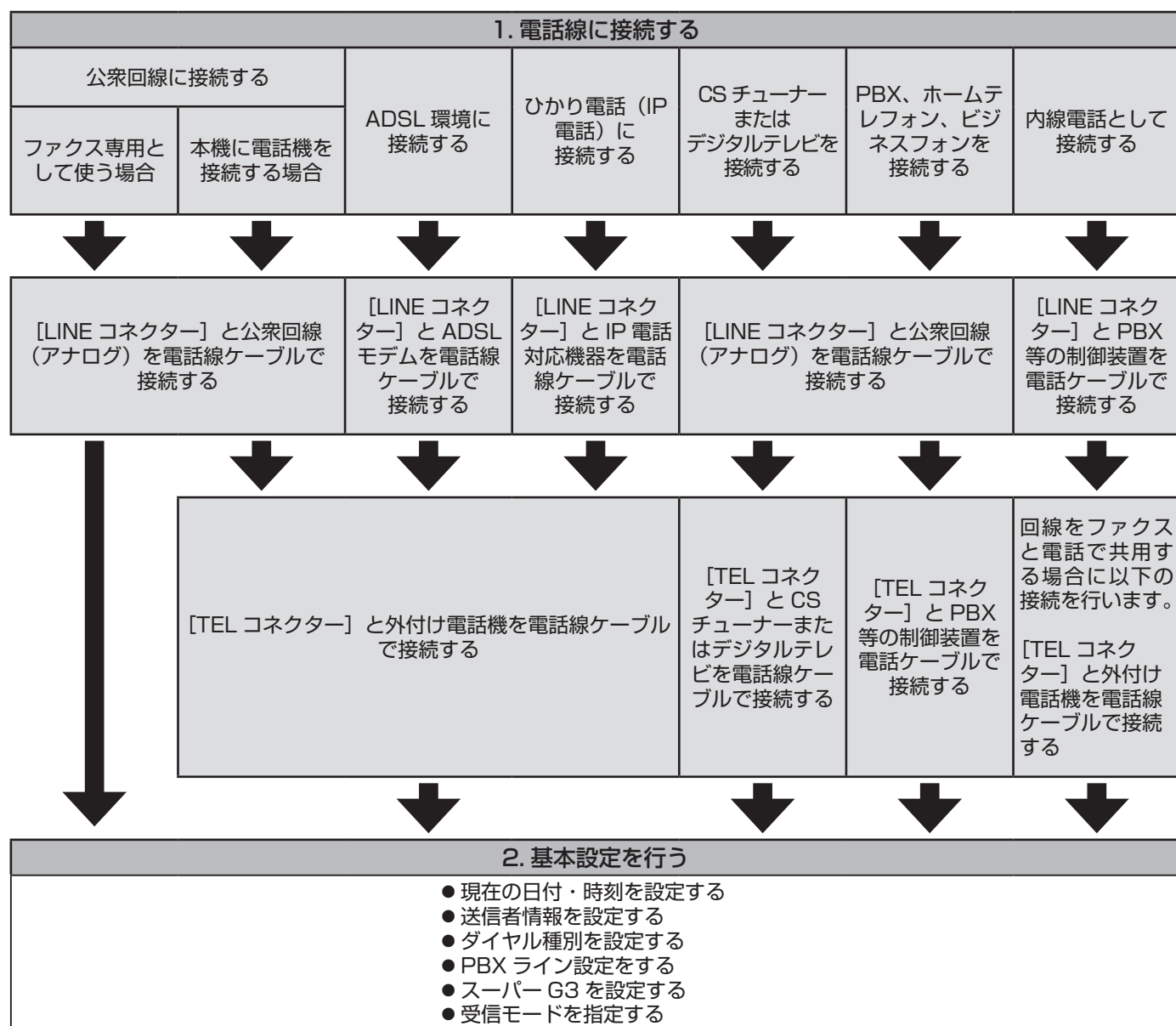
機能	概要
「ファクス送信を確認する」	原稿をスキャンし、電話線を介して、ファクスとして送信したり、ファクスを受信したりします。 この機能を使用する前に、ファクス送信の初期設定を完了させてください。
「コンピューターからファクスを送信する（Windows の場合）」	USB またはネットワークを経由して接続されたコンピューターからファクスを送信します。電話線を使用すると、本機を介してコンピューターから宛先にファクスを直接送信できます。本機能を使用するには、ファクスドライバーをコンピューターにインストールする必要があります。 この機能を使用する前に、ファクス送信の初期設定も完了させてください。
インターネットファクスを送信する	原稿をスキャンし、ネットワークを介して、ファクスとして送信したり、E メールでファクスを受信したりします。 機能の初期設定については、「スキャン To メールの初期設定」の「手順 2 本機の E メール設定を行う」P.78 を参照してください。 機能の手順については、「インターネットファクス機能の基本操作」P.125 を参照してください。
自動配信	受信したファクスや E メールに添付されたファイルを指定の宛先に自動的に転送します。宛先の E メールアドレスやネットワークフォルダを指定できます。 機能の初期設定については、「プロファイルの管理」P.94 を参照してください。 機能に関する詳細と宛先を事前に登録する方法については、ユーザーズマニュアル　活用編>「10. 自動配信機能と通信データ保存機能の設定（MC562dn のみ）」>「受信したデータを電子データとして転送する（自動配信）」を参照してください。

ファクスの初期設定

この節では、ファクス送信とコンピューターからファクスを送信する機能に必要な初期設定について説明します。

ファクス送信とコンピューターからファクスを送信する機能のために本機を設定するには、下の 2 つの手順を行ってください。

- 「手順 1 電話線に接続する」P.67
- 「手順 2 基本設定を行う」P.70

■ ファクスの初期設定の流れ

手順 1 電話線に接続する

この節では、ファクス送信用に電話線を接続する方法について説明します。ファクスを送信または受信する前に、必ずお使いの環境によって電話線を接続してください。

お使いの環境によって、電話ケーブルを接続する方法が異なります。次の図を参考に、お使いの環境に合わせて接続してください。

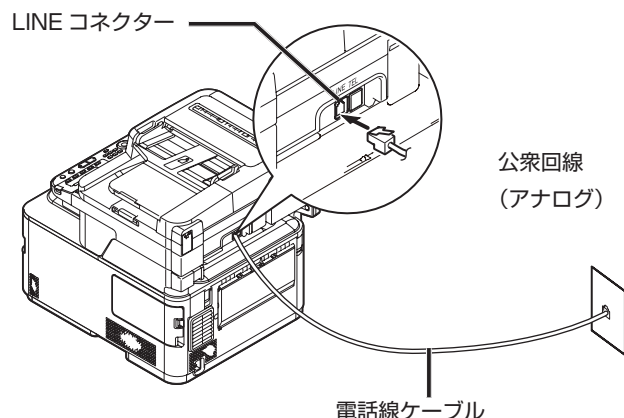
注

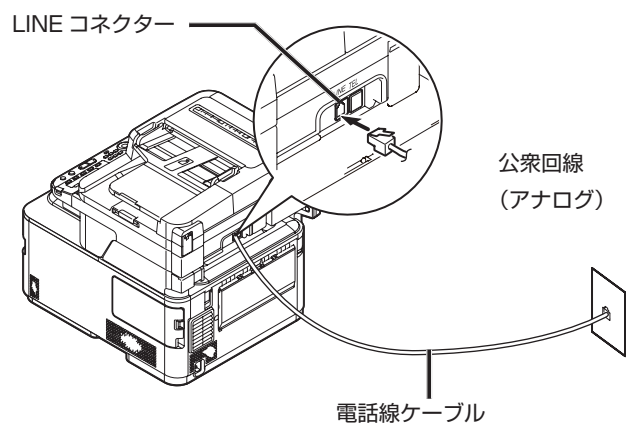
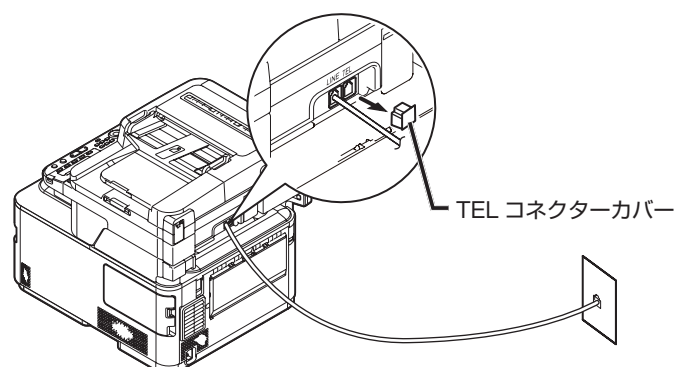
- ISDN 回線には直接接続できません。接続するためには、ターミナルアダプタ（TA）を使用し、本機の LINE コネクターに接続してください。

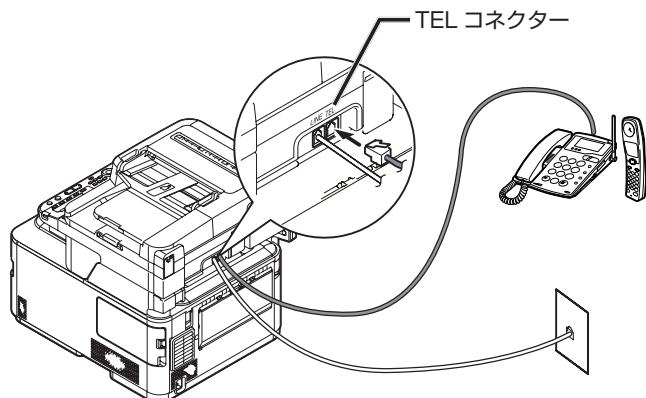
公衆回線に接続する（ファクス専用として使う場合）

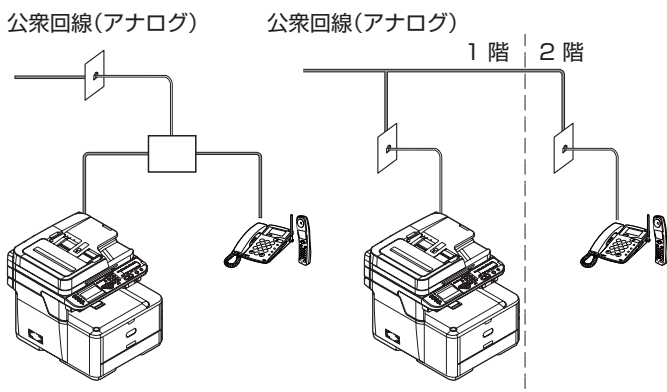
1 付属の [電話線ケーブル] の一端を本機の [LINE コネクター] に差し込み、他端を [公衆回線（アナログ）] に差し込みます。

注

- 誤って［**TEL コネクター**］に差し込まないようにしてください。

公衆回線に接続する（本機に電話機を接続する場合）

1 付属の [電話線ケーブル] の一端を本機の [LINE コネクター] に差し込み、他端を [公衆回線（アナログ）] に差し込みます。

2 [TEL コネクターカバー] を外します。

3 外付け電話機の電話線ケーブルを本機の [TEL コネクター] に差し込みます。

本機に接続した電話機を、外付け電話機と呼びます。

! 注

- 本機の TEL コネクターに接続できる電話機は 1 台のみです。
- 本機と電話機は、ブランチ接続（並列接続）しないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
  - ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）している電話機の受話器を上げると、ファクスの画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
  - 電話がかかってきた場合は、ベルの鳴り遅れや途中で止まったり、ファクスが送信された場合は、ファクスを受信できないことがあります。

メモ

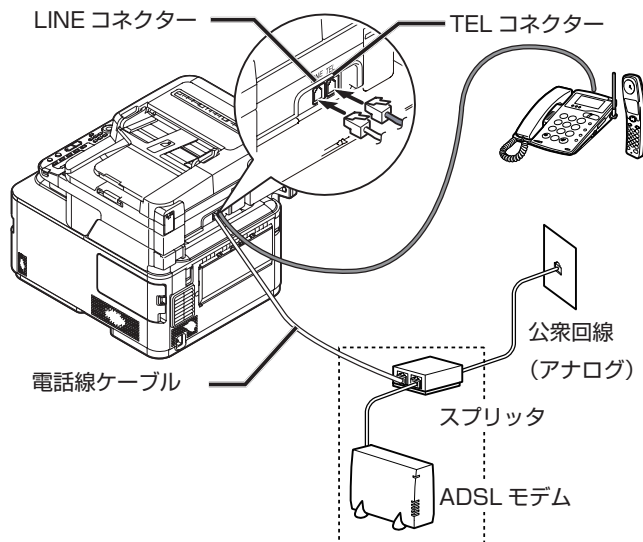
- 直接配線の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

ADSL 環境に接続する

ADSL モデムにつないだ付属の [電話線ケーブル] を本機の [LINE コネクター] に差し込みます。

TEL コネクターカバーを外します。

外付け電話機の電話線ケーブルを本機の [TEL コネクター] に差し込みます。

メモ

- ダイヤルしない（発信しない）場合は、[**ダイヤルトーン検出**] を [**オフ**] にしてください。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- ファクシミリの送受信ができない場合は、[**スーパー G3**] を [**オフ**] にしてください。詳しくは、「手順 2-5 スーパー G3 を設定する」P.72 を参照してください。

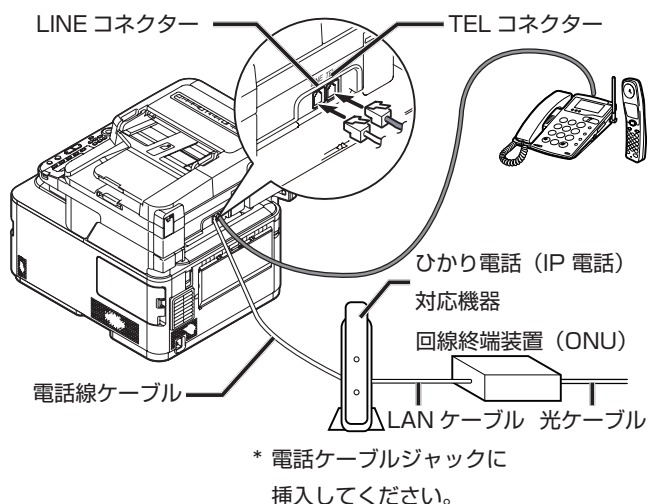
ひかり電話（IP 電話）に接続する

ひかり電話（IP 電話）対応機器につないだ付属の [電話線ケーブル] を本機の [LINE コネクター] に差し込みます。

TEL コネクターカバーを外します。

外付け電話機の電話線ケーブルを本機の [TEL コネクター] に差し込みます。

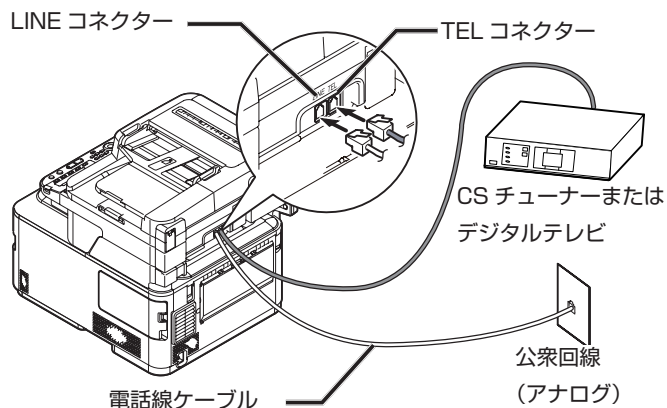
＊電話ケーブルジャックに挿入してください。

メモ

- ダイヤルしない（発信しない）場合は、[**ダイヤルトーン検出**] を [**オフ**] にしてください。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- ファクシミリの送受信ができない場合は、[**スーパー G3**] を [**オフ**] にしてください。詳しくは、「手順 2-5 スーパー G3 を設定する」P.72 を参照してください。

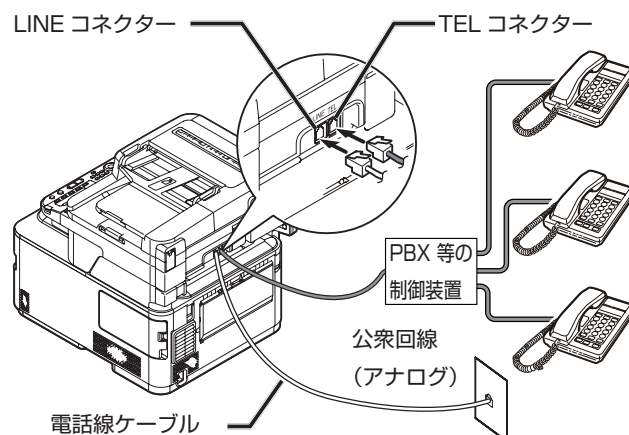
CS チューナーやデジタルテレビを接続する

公衆回線（アナログ）につないだ付属の [電話線ケーブル] を本機の [LINE コネクター] に差し込みます。

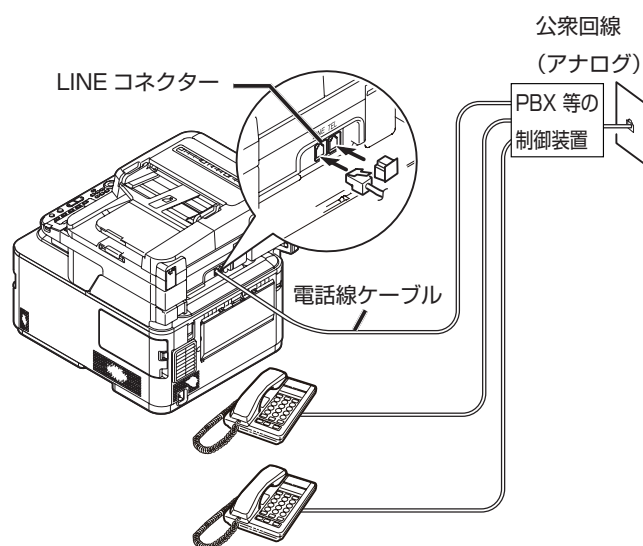
TEL コネクターカバーを外します。

CS チューナーまたはデジタルテレビにつないだ [電話線ケーブルを] 本機の [TEL コネクター] に差し込みます。

構内交換機（PBX）、ホームテレフォン、ビジネスフォンを接続する

公衆回線（アナログ）につないだ付属の電話線ケーブルを本機の LINE コネクターに差し込みます。PBX 等の制御装置につないだ電話線ケーブルを本機の TEL コネクターに差し込みます。

メモ

- ホームテレフォンとは、電話回線 1 、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアフォンも使用できる家庭用の簡易交換機です。
- ビジネスフォンとは、電話回線３本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

内線電話として接続する

付属の [電話線ケーブル] の一端を本機の [LINE コネクター] に差し込み、他端を PBX 等の制御装置に差し込みます。

メモ

- PBX（構内交換機）に接続する場合は、PBX ラインの設定をオンにしてください。詳しくは、「手順 2-4 PBX 接続」P.72 を参照してください。

手順 2 基本設定を行う

この節では、ファクスを送信する機能の基本設定を本機で設定する方法について説明します。下の 6 つの手順を行ってください。

メモ

- お使いの環境によって、手順 3 ～ 4 および 3 ～ 5 をスキップしてください。詳しくは、各説明を参照してください。

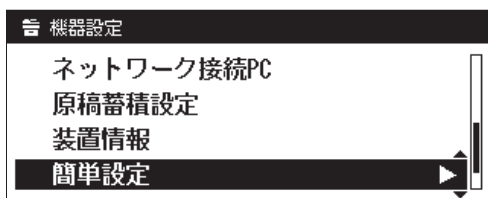
手順 2-1 現在の日付・時刻を設定する

お住まいの地域の現在の日付・時刻を設定します。

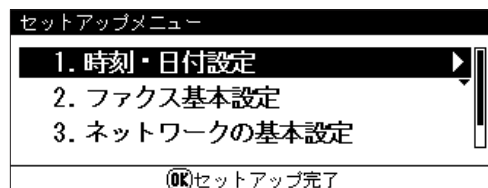
参照

- 本機の Web ページから、日付と時刻を自動的に設定することができます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

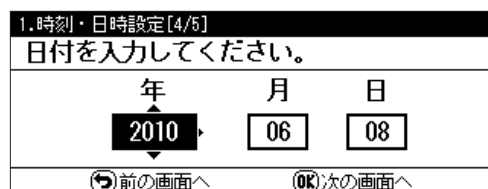
1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

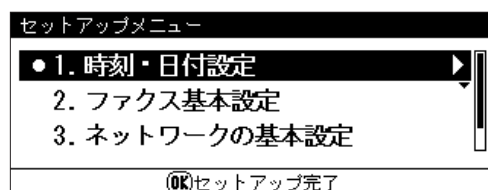
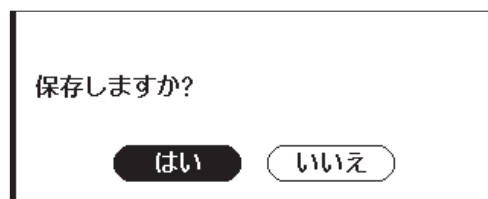
2 ▼を押して [**簡単設定**] を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ［ **時刻・日付設定** ］が選択されていることを確認し、▶を押します。

6 ▼を押して適切なタイムゾーンを選択し、OKを押します。
日本国内で使用する場合は、［**GMT+09:00 大阪、札幌、東京**］を選択します。

7 ［**手動で設定する**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

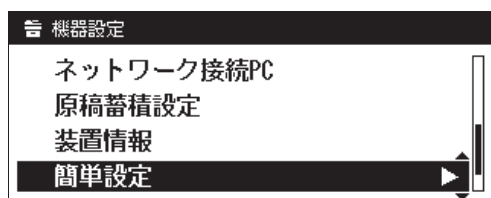
8 ▲または▼を押して現在の日付を選択し、OKを押します。
次のボックスに移動するには、▶を押します。

9 ▲または▼を押して現在時刻を選択し、OKを押します。
次のボックスに移動するには、▶を押します。

10 セットアップメニュー画面が表示されたら、◀を押します。

11 ［**はい**］を選択し、OKを押します。

12 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-2 送信者情報を設定する

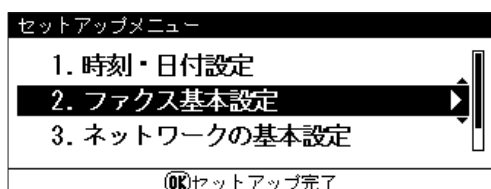
本機のファクス番号および送信者情報を設定します。

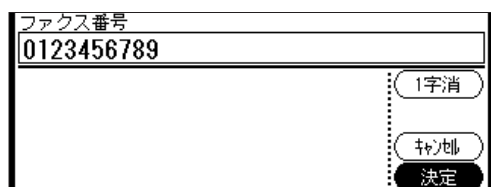
1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して [**簡単設定**] を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して [**ファクス基本設定**] を選択し、▶を押します。

6 ▶を押して [**ファクス番号**] 入力ボックスを選択します。

7 テンキーで本機のファクス番号を入力します。

8 [**決定**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

9 ▶を押して [**送信者情報**] 入力画面に入ります。

10 任意の送信者情報を入力します。

最大半角 22 文字まで入力できます。

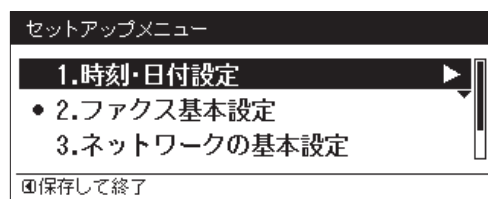
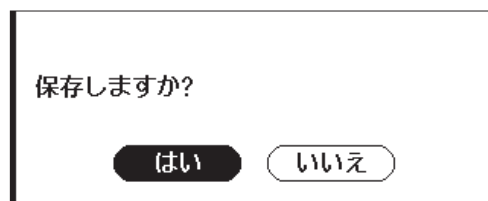
注

- ［**送信者情報**］は、半角英数字・半角カナのみをご使用ください。Web ページや Configuration tool を使用して入力すると全角文字（漢字・平仮名）を入力可能な場合がありますが、全角文字で［**送信者情報**］を登録した場合、送信するファクスの送信者情報欄（送信元名欄）は印刷されません。

メモ

- 受信者がファクスを印刷したときに、ここで入力した送信者情報がファクスの上端に印刷されます。

11 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

12 セットアップメニュー画面が表示されたら、◀を押します。

13 ［**はい**］を選択し、OKを押します。

14 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-3 各ダイヤル種別の設定を行う

工場出荷時は、［**ダイヤル種別**］は［**プッシュ**］に設定されています。

- 押しボタン式電話で、ダイヤル時に「ピッポッパ」と音がする場合は、［**ダイヤル種別**］は［**プッシュ**］のままにしてください。
- 押しボタン式電話で、ダイヤル時に「ピッポッパ」と音がしない場合、または、回転ダイヤル式電話をお使いの場合は、［**ダイヤル種別**］を［**ダイヤル 20**］に設定してください。
  「177 番」（天気予報）にダイヤルして、電話がかからない場合は、［**ダイヤル種別**］を［**ダイヤル 10**］に変更してください。

■ 設定方法

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して [**管理者設定**] を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して [**運用初期設定**] を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して [**ダイヤル種別**] を選択し、OKを押します。

7 ▼を押してダイヤル種別を選択し、OKを押します。

8　トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-4 PBX 接続

PBX（構内交換機）に接続するときは［**オン**］にしてください。

■ 設定方法

1　操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2　▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3　管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4　［**決定**］を選択し、OKを押します。

5　▼を押して［**ファクス機能**］を選択し、OKを押します。

6　▼を押して［**ファクス基本設定**］を選択し、OKを押します。

7　▼を押して［**PBX ライン**］を選択し、OKを押します。

8　▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

9　トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-5 スーパー G3 を設定する

ファクシミリの送受信ができない場合は、スーパー G3 の設定を［**オフ**］にしてください。

1　操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2　▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3　管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4　［**決定**］を選択し、OKを押します。

5　▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

6　▼を押して［**スーパー G3**］を選択し、OKを押します。

7　▼を押して［**オフ**］を選択し、OKを押します。

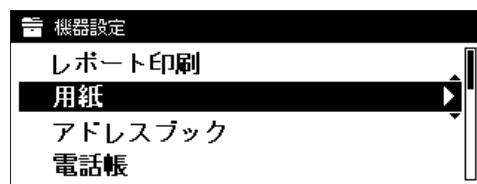
8　トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

手順 2-6 受信モードを指定する

本機をお使いの環境によって、最適な受信モードが異なります。以下の説明で確認してください。

工場出荷時の設定では、［**ファクス待機**］になっています。

- **ファクス待機**
  ファクス専用で使用するときは、このモードをおすすめします。
- **電話 / ファクス待機**
  電話機を接続するときは、このモードをおすすめします。
- **留守 / ファクス待機**
  留守番電話を接続するときは、このモードをおすすめします。
- **電話待機**
  電話機を使用することが多い場合は、このモードをおすすめします。

1　操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2　▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3　管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4　［**決定**］を選択し、OKを押します。

5　▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

6　▼を押して［**ファクス受信モード**］を選択し、OKを押します。

7　▼を押して受信モードを指定し、OKを押します。

設定可能な受信モード：

ファクス待機 *	電話 / ファクス待機
留守 / ファクス待機	電話待機

* は工場出荷時の設定

8　トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

ファクス送信を確認する

この節では、ファクス送信を確認します。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

ファクス送信の手順

1 操作パネルの<**ファクス**>ボタンを押します。

2 以下のように原稿を自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置（ADF）

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

注

- 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

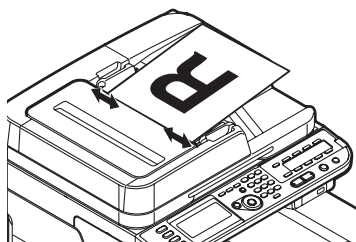
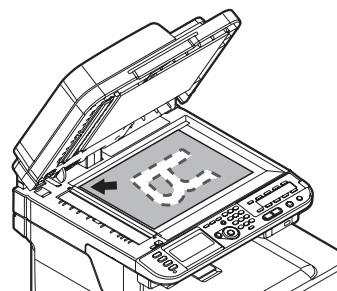
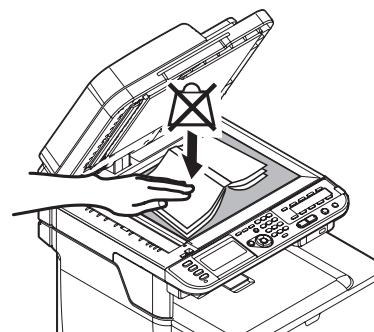
原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

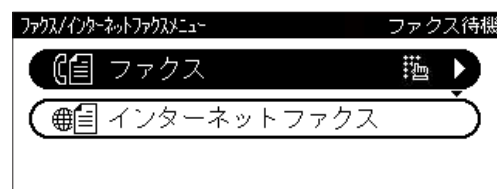
● 原稿ガラス

原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

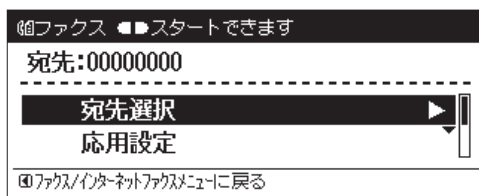
- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置（ADF）の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置（ADF）に原稿がないことを確認してください。

3 [**ファクス**] が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

4 宛先を指定します。

テンキー入力により、直接宛先を指定します。

4 ファクスを設定する

5　OKを押します。

6　モノクロを押して、送信を始めます。
原稿ガラスを使用した 1 回のファクス操作で、複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

注

- COLOR ボタンは使用できません。

メモ

- 工場出荷時の設定では、以下の設定で読み取ります。

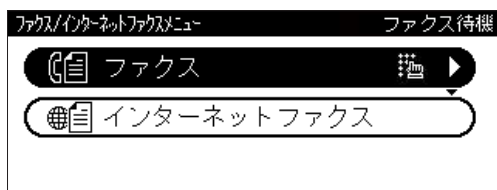
［**読取サイズ**］：A4　［**解像度**］：標準
［**濃度**］：0

参照

- 自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」P.42 を参照してください。
- 継続読取モードについては、「継続読取モードを有効にする（継続読取）」P.110 を参照してください。

送信履歴を確認する

1　操作パネルの<**ファクス**>ボタンを押します。

2　［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

3　▼を押して［**ファクス送受信確認**］を選択し、OKを押します。

4　▼を押して［**送信履歴**］を選択し、OKを押します。

5　▼を押して確認する履歴を選択し、OKを押します。

6　履歴内容を確認し、OKを押します。

注

- ファクシミリの送受信ができない場合は、［**スーパー G3**］を［**オフ**］にしてください。詳しくは「手順 2-5 スーパー G3 を設定する」P.72 を参照してください。

ファクス受信を確認する

この節では、ファクス受信を確認します。

ファクスを受信する

1. 他のファクシミリ・複合機などから本機にファクス送信を行います。

2. 受信したファクスは自動的に印刷されます。

注

- ファクシミリの送受信ができない場合は、[**スーパー G3**] を [**オフ**] にしてください。詳しくは「手順 2-5 スーパー G3 を設定する」P.72 を参照してください。

コンピューターからファクスを送信する（Windows の場合）

この節では、ファクスドライバーをインストールする方法とコンピューターからファクスを送信する基本操作について説明します。ファクスドライバーを使用すると、原稿を印刷せずに、本機を介してコンピューターから宛先にファクスを直接送信できます。

コンピューターからファクスを送信する前に、必ず MC362dn または MC562dn 用のファクスドライバーをインストールしてください。

注

- この機能を使用する前に、初期設定を完了させてください。

ファクスドライバーをインストールする

ファクスドライバーのインストール方法は、「ケーブルを接続してドライバーなどをインストールする」P.49 を参照してください。

コンピューターからファクス送信を確認する

メモ

- 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

1. ファクス送信するファイルを開きます。
2. [**ファイル**] メニューから [**印刷**] を選択します。
3. ［**プリンターの選択**］から［**OKI MC562(FAX)**］を選択し、［**印刷**］をクリックします。
4. ［**送信先選択**］の［**番号指定**］タブで、［**名前**］に宛先名を入力します。
5. ［**FAX 番号**］に宛先ファクス番号を入力します。
6. ［**追加 <-**］をクリックします。
7. 必要に応じて、電話帳から宛先を追加します。
   a. ［**電話帳**］タブを選択します。
   b. 宛先を選択し、［**追加 <-**］をクリックします。
8. 手順 4 ～ 7 を繰り返して、すべての宛先を指定します。
9. ［**OK**］をクリックして、送信を始めます。

注

- コンピューターからファクスを本機へ送信しているときは、本機の電源を切らないでください。

5 スキャン機能を設定する

この章では、スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、およびスキャン To ローカル PC 機能の初期設定について説明します。

本機は、次のスキャン機能に対応しています。

機能	概要
「スキャン To メール」	原稿をスキャンし、E メールの添付ファイルとしてネットワーク上の指定された E メールアドレスに送付します。
「スキャン To ネットワーク PC」	原稿をスキャンし、ネットワーク上のコンピューターの「shared folder」に保存します。
スキャン To USB メモリー	原稿をスキャンし、USB メモリーに直接保存します。 機能の手順については、「スキャン To USB メモリー」P.136 を参照してください。
「スキャン To ローカル PC」	ネットワークまたは USB を介して、コンピューターに原稿をスキャンし、必要に応じて操作パネル上で操作してスキャンした画像を処理します。
スキャン To リモート PC	ネットワークまたは USB を介して、コンピューターに原稿をスキャンし、必要に応じてコンピューターで操作してスキャンした画像を処理します。 機能の初期設定については、「スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする」P.129 を参照してください。 機能の手順については、「スキャン To リモート PC」P.138 を参照してください。

スキャン To メール

この節では、スキャン To メール機能の初期設定と基本操作について説明します。

本機能によって、原稿をスキャンし、E メールの添付ファイルとしてネットワーク上の指定された E メールアドレスに送付できるようになります。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

スキャン To メールの初期設定

この節では、スキャン To メール機能の初期設定の方法について説明します。下の 2 つの手順を行ってください。

- 「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.77
- 「手順 2 本機の E メール設定を行う」P.78

手順 1 本機のネットワーク設定を行う

手順については、「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.51 を参照してください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順 1 をスキップしてください。

手順 2 本機の E メール設定を行う

本機の E メール設定を行うには、下の 3 つの手順を行ってください。

! 注

- この手順を行う前に、ネットワーク設定を完了させてください。

- 「手順 2-1 コンピューターの E メール設定を確認する」P.78
- 「手順 2-2 本機の E メールアドレスを設定する」P.79
- 「手順 2-3 本機の E メール設定を行う」P.80

上記の手順について、設定情報シートの各項目の値を確認してください。

■ 設定情報シート

番号	項目	概要説明	例	お客様記入欄 * 次ページ以降をご覧になり、確認したり設定したりした内容をここにメモしてください。
B-1	送信者	本機から E メールを送るときに使用する E メールアドレス	mc562@test.co.jp	(半角 80 文字以内)
B-2	SMTP サーバ	E メールを送信するときに使用するサーバのアドレス	smtp.test.co.jp	
B-3	POP3 サーバ	E メールを受信するときに使用するサーバのアドレス	pop3.test.co.jp	
B-4	認証方法	送信メールサーバの認証	SMTP	
B-5	SMTP ユーザ ID	送信メールサーバのアカウント名	OKIMC562	
B-6	SMTP パスワード	送信メールサーバのパスワード	okimc562	
B-7	POP ユーザ ID	受信メールサーバのアカウント名	user	
B-8	POP パスワード	受信メールサーバのパスワード	okimc562	
B-9	E メール送信先の名称	本機からスキャン To メール / インターネットファクスで送りたい相手の名前	User	
B-10	E メールアドレス	本機からスキャン To メール / インターネットファクスで送りたい相手の E メールアドレス	user@test.co.jp	

■ 手順 2-1 コンピューターの E メール設定を確認する

! 注

- ネットワーク管理者が本機のメールサーバアカウント、パスワード、E メールアドレスなどの値を指定する場合は、それらを設定情報シートに記入してください。

メモ

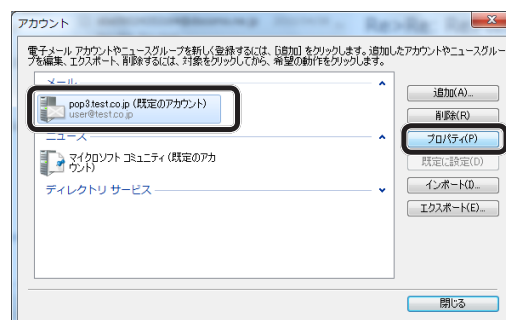
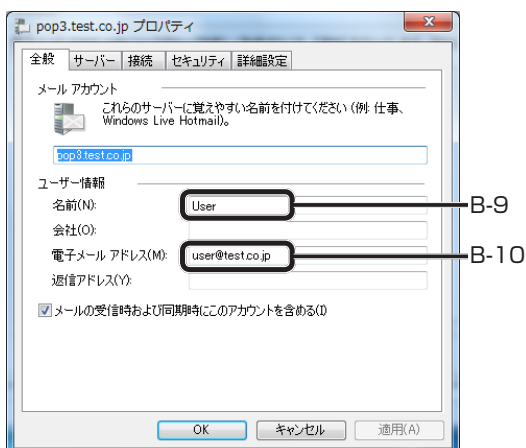
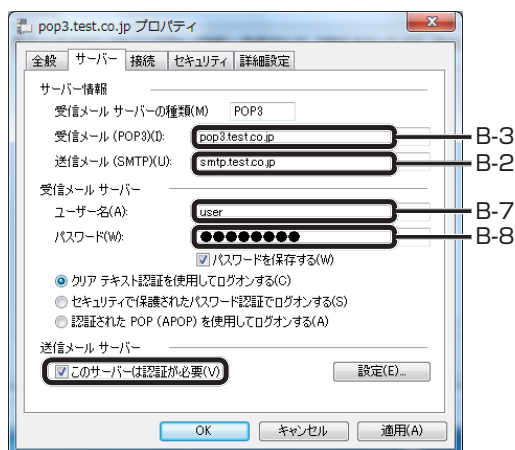
- 次の手順では、本機で使用予定のメールサーバを使用し、Windows7 上の Windows Live メールを使用して本機からのメールを受信する場合を例にしています。異なる E メールソフトウェアを使用している場合は、E メールソフトウェアのマニュアルを参照してください。

1 [**スタート**] をクリックし、[**Windows Live メール**] を選択します。

2 [**ツール**] メニューから［**アカウント**］を選択します。

メニューバーが表示されていない場合は、［**メニュー**］アイコンをクリックし、［**メニュー バーの表示**］を選択します。

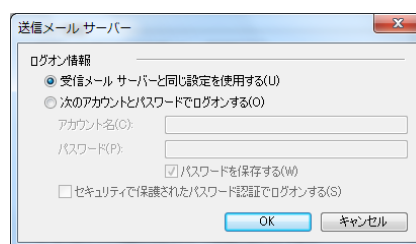
3 メールアカウントを選択し、［**プロパティ**］をクリックします。

5 スキャン機能を設定する

4 ［**全般**］タブの［**名前**］と［**電子メール アドレス**］の内容を、設定情報シートの B-9 と B-10 に記入します。

5 ［**サーバー**］タブを選択し、各設定値を設定情報シートの該当する欄に記入します。

- ［**このサーバーは認証が必要**］にチェックがついている場合は、B-4 に「SMTP」と記入し手順 6 に進みます。
- ［**このサーバーは認証が必要**］にチェックがついていない場合は、B-4 に「POP、または認証しない」と記入します。ここで E メール設定の確認は完了です。

注

- インターネットサービスプロバイダを利用している場合は、「POP」と記入してください。

6 ［**設定**］をクリックします。

7 ［**送信メール サーバー**］ダイアログでログオン情報を確認します。

- ［**受信メール サーバーと同じ設定を使用する**］が選択されている場合は、B-7 の値を B-5 に、B-8 の値を B-6 に記入します。
- ［**次のアカウントとパスワードでログオンする**］が選択されている場合は、［**アカウント名**］の値を B-5 に、［**パスワード**］の値を B-6 に記入します。

■ 手順 2-2 本機の E メールアドレスを設定する

本機からスキャンしたデータを E メールで送信するときに、本機用の E メールアドレスが必要になります。以下に従って本機の E メールアドレスを決定し、設定情報シートの B-1 に記入します。

- 本機の E メールアドレスがネットワーク管理者によって指定されている場合は、その E メールアドレスを B-1 に記入します。
- インターネットサービスプロバイダを利用している場合は、本機の E メールアドレスをプロバイダから取得し、その E メールアドレスを B-1 に記入します。
- 本機の E メールアドレスの指定がなく、取得されてもいない場合には、B-4 に「認証しない」と記入されている場合のみ、任意で E メールアドレスを決め、それを B-1 に記入します。

注

- 本機で E メールを受信したい場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダから本機の E メールアドレスを取得する必要があります。

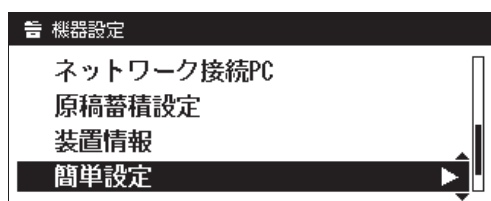
■手順 2-3 本機の E メール設定を行う

設定情報シートの情報を使用して、スキャン To メールを使用できるように本機を設定します。

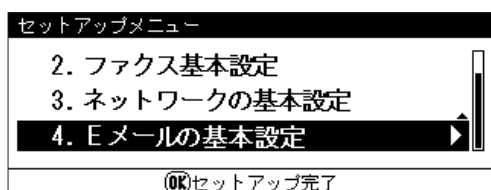
注

- フリーのメールサーバやお使いのインターネットサービスプロバイダが提供しているメールサーバ以外のメールサーバをお使いの場合、簡単設定では設定できません。
  <**設定**>ボタンを押し、［**管理者設定**］>［**ネットワーク管理**］>［**メールサーバ設定**］を選択すると、詳細なメールサーバ設定が表示されますので、その画面で設定をしてください。

1 操作パネルの <**設定**> ボタンを押します。

2 ▼を押して [**簡単設定**] を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワード（A-1）を入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して [**E メールの基本設定**] を選択し、▶を押します。

6 ▶を押し、B-2 の情報を入力します。

7 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

8 ▶を押し、B-1 の情報を入力します。

9 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

10 ▼を押して B-4 の情報をもとに認証方法を選択し、OKを押します。

- B-4 が「認証しない」の場合は、［**認証しない**］を選択します。手順 21 に進みます。
- B-4 が「SMTP」の場合は、［**SMTP Auth**］を選択します。手順 11 に進みます。
- B-4 が「POP」の場合は、［**POP Before SMTP**］を選択します。手順 15 に進みます。

11 ▶を押し、B-5 の情報を入力します。

12 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

13 ▶を押し、B-6 の情報を入力します。

14 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

手順 21 に進みます。

15 ▶を押し、B-3 の情報を入力します。

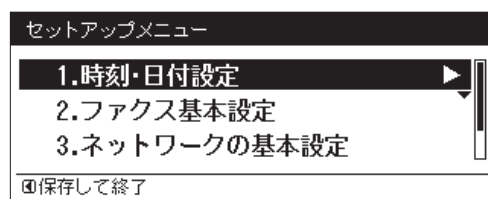
16 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

17 ▶を押し、B-7 の情報を入力します。

18 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

19 ▶を押し、B-8 の情報を入力します。

20 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

21 セットアップメニュー画面が表示されたら、OKを押します。

これでスキャン To メールのセットアップは完了です。

スキャン To メールの手順

この節では、スキャン To メールを開始する方法について説明します。次の手順では、送信先を指定するために直接入力を使用します。

スキャン To メール機能を使用する前に、ネットワークと E メールの初期設定を行ってください。

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 以下のように原稿を自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置（ADF）

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

注

● 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

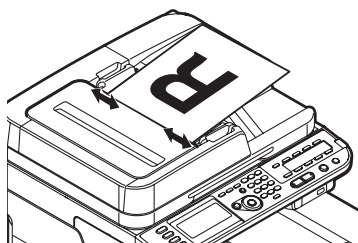
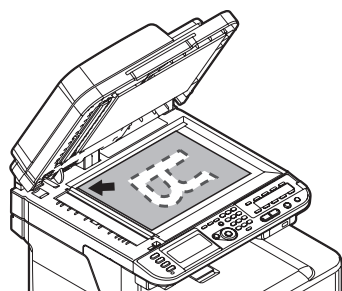
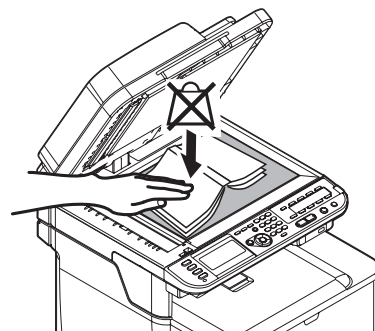
● 原稿ガラス

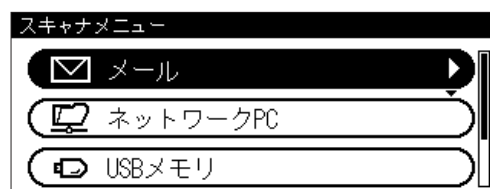
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

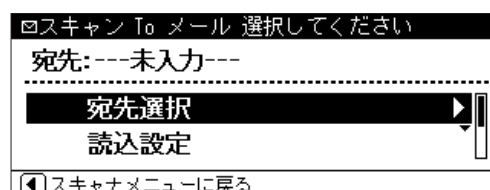
原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

注

● 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

メモ

● 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置（ADF）の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置（ADF）に原稿がないことを確認してください。

3 [**メール**] が選択されていることを確認し、OK を押します。

メモ

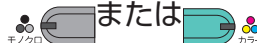
● ここではワンタッチボタンを使って宛先を追加することができます。宛先は［To］に追加されます。続けてワンタッチボタンで複数宛先を追加できます。

4 [**宛先選択**] が選択されていることを確認し、OK を押します。

5 [**To**] が選択されていることを確認し、OK を押します。

［**Cc**］または［**Bcc**］を選択する場合は、▼を押し、OK を押してください。

6 宛先を指定します。

宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。

7 モノクロ または カラー を押します。

スキャン To ネットワーク PC

この節では、スキャン To ネットワーク PC 機能の初期設定と基本操作について説明します。

本機能によって、原稿をスキャンし、ネットワーク上のコンピューターの「shared folder」に保存できるようになります。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

スキャン To ネットワーク PC の初期設定

この節では、スキャン To ネットワーク PC 機能の初期設定の方法について説明します。下の 2 つの手順を行ってください。

- 「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.82
- 「手順 2 コンピューターと本機をスキャン To ネットワーク PC 用に設定する」P.83

手順 1 本機のネットワーク設定を行う

手順については、「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.51 を参照してください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順 1 をスキップしてください。

手順 2 コンピューターと本機をスキャン To ネットワーク PC 用に設定する

お使いのコンピューターと本機をスキャンToネットワークPC用に設定するには、下の４つの手順を行ってください。

注

- この手順を行う前に、ネットワーク設定を完了させてください。

- 「手順 2-1 コンピューターの名前を確認する」P.83
- 「手順 2-2 スキャン To ネットワーク PC に必要な項目の名前を決定する」P.84
- 「手順 2-3 コンピューターをスキャン To ネットワーク PC 用に設定する」P.84
- 「手順 2-4 スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」P.92

上記の手順について、設定情報シートの各項目の値を確認してください。

■ 設定情報シート

番号	項目	概要説明	例	お客様記入欄 ＊次ページ以降をご覧になり、確認したり設定したりした内容をここにメモしてください。
C-1	送信先のコンピューター名	スキャンしたデータを転送するコンピューターの名前	PC1	
C-2	ユーザ名	スキャンしたデータを転送するコンピューターにログインするためのユーザー名	mc562	(半角 32 文字以内)
C-3	パスワード	スキャンしたデータを転送するコンピューターにログインするためのパスワード	mc562	(半角 32 文字以内)
C-4	プロファイル名	送信先の名称（任意）	Sales	(半角 16 文字以内)
C-5	共有フォルダ名	スキャンしたデータを転送するコンピューターのフォルダ名	SalesDev	(半角 64 文字以内)
C-6	スキャンファイル名	スキャンしたデータのファイル名（任意）	ScanData	(半角 64 文字以内)

注

- セットアップを始める前に、ネットワーク管理者から許可を得てから、次の手順に従ってコンピューターに共有フォルダを作成してください。

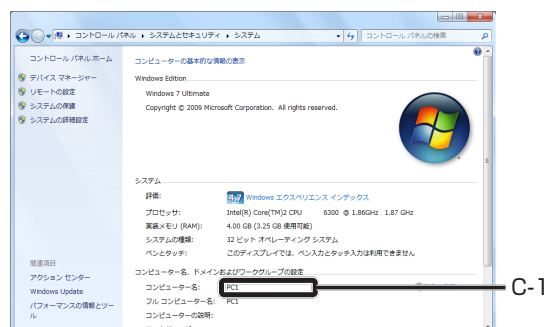
メモ

- この手順では、CIFS プロトコルを使用しています。

■ 手順 2-1 コンピューターの名前を確認する

次の手順に従ってコンピューターの名前を確認し、設定情報シートの C-1 に記入します。

❑ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 の場合

1. ［**スタート**］をクリックし、［**コントロール パネル**］を選択します。
2. ［**システムとセキュリティ**］を選択します。
   Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、［**システムとメンテナンス**］を選択します。
3. ［**システム**］の下の［**コンピューターの名前の参照**］を選択します。
4. 設定情報シートの C-1 に、［**コンピューター名**］の名前を記入します。

5. ウィンドウを閉じます。

❑ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1 [**スタート**] をクリックし、[**コントロールパネル**] > [**パフォーマンスとメンテナンス**] > [**システム**] を選択します。

Windows Server 2003 の場合は、[**スタート**]をクリックし、[**コントロールパネル**] > [**システム**] を選択します。

2 [**コンピュータ名**] タブを選択し、[**変更**] をクリックします。

3 設定情報シートの C-1 に、[**コンピュータ名**] の名前を記入します。

4 [**キャンセル**] をクリックして、ウィンドウを閉じます。

❑ Mac OS X の場合

1 アップルメニューから [**システム環境設定**] を選択します。

2 [**共有**] をクリックします。

3 設定情報シートの C-1 に、[**コンピュータ名**] の名前を記入します。

メモ

- コンピューター名が 16 文字以上の場合、Mac OS X 10.4.11 では、最初の 15 文字をC -1 に記入します。
  Mac OS X 10.5 ～ 10.6 では、[**システム環境設定**] > [**ネットワーク**] で使用するネットワークサービスを選択し、詳細設定の WINS で、NetBIOS 欄の名前をC -1 に記入します。

4 [**共有**] を閉じます。

■ 手順 2-2 スキャン To ネットワーク PC に必要な項目の名前を決定する

次の項目の名前を決め、設定情報シートの C-2 から C-6 に記入します。

- 送信先コンピューターにログインするためのユーザー名（C-2）

  注

  - ユーザー名がドメインで管理されている場合は、「ユーザー名＠ドメイン名」を C-2 に記入します。
    ドメイン名を確認するには、[**システムのプロパティ**] ダイアログの [**コンピュータ名**] タブで、[**変更**] をクリックします。

- 送信先コンピューターにログインするためのパスワード（C-3）
- 本機に設定を登録するためのプロファイル名（C-4）
- 送信先コンピューターに作成する共有フォルダの名前（C-5）
- スキャンしたデータのファイル名（C-6）

■ 手順 2-3 コンピューターをスキャン To ネットワーク PC 用に設定する

設定情報シートの情報を使って、コンピューターに本機用のアカウントと共有フォルダを作成します。

メモ

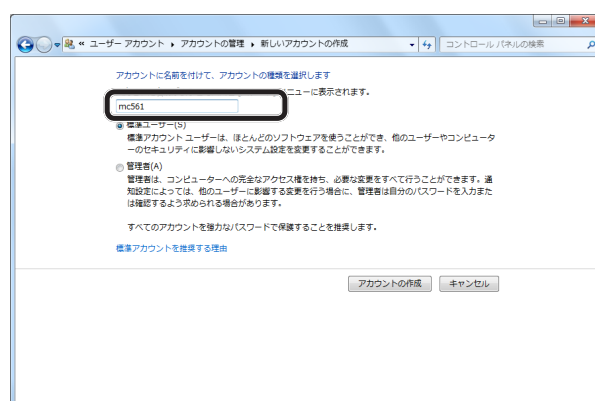
- コンピューターがドメイン内にある場合、ユーザーアカウントを追加する手順が以下の手順と異なることがあります。お使いの OS のマニュアルを参照してください。

❑ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 の場合

1 [**スタート**] をクリックし、[**コントロール パネル**] を選択します。

2 [**ユーザー アカウントの追加または削除**] を選択します。

3 [**新しいアカウントの作成**] を選択します。

4 C-2 の値をテキストボックスに入力します。

5 ［**標準ユーザー**］が選択されていることを確認し、［**アカウントの作成**］をクリックします。

6 手順 5 で作成したユーザーアカウントのアイコンをクリックします。

7 ［**パスワードの作成**］を選択します。

8 C-3 の値を［**新しいパスワード**］と［**新しいパスワードの確認**］に入力し、［**パスワードの作成**］をクリックします。

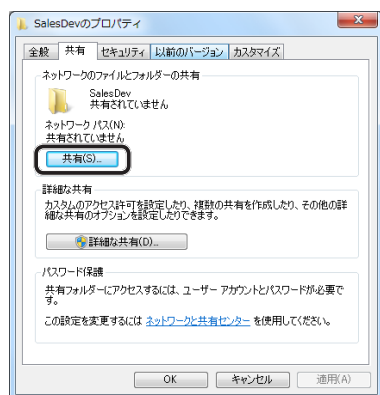
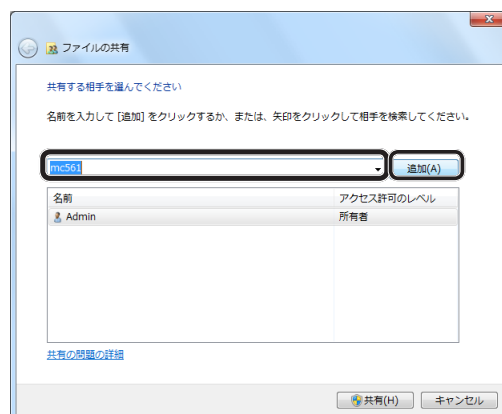
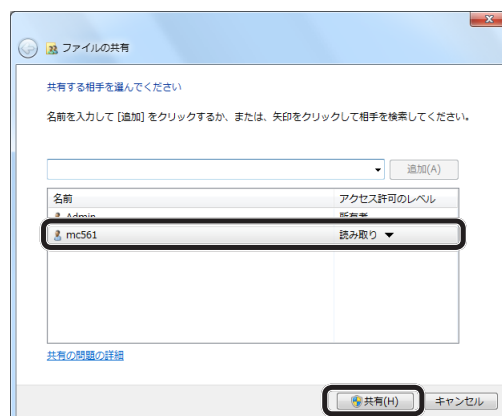
9 ウィンドウを閉じます。

10 C-5 に記入した名前で、コンピューター上に新しいフォルダを作成します。

メモ

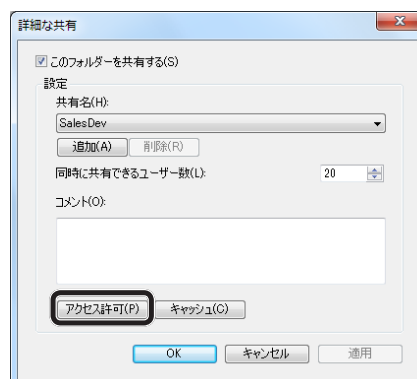
- デスクトップや［**ドキュメント**］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダを作成することをおすすめします。

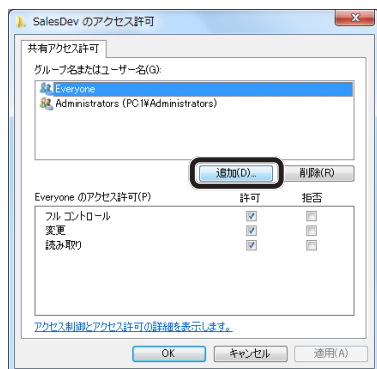
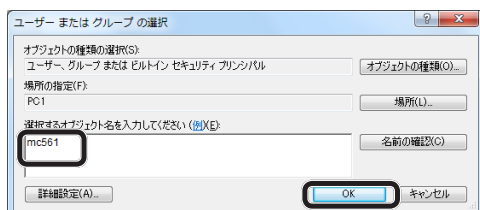
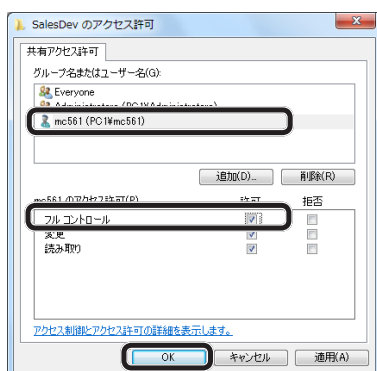
11 手順 10 で作成したフォルダを右クリックし、［**プロパティ**］を選択します。

12 ［**共有**］タブを選択し、［**共有**］をクリックします。

13 手順 5 で作成したユーザーアカウントをドロップダウンリストから選択し、［**追加**］をクリックします。

14 手順 13 で追加したユーザーがリストに表示されたことを確認し、［**共有**］をクリックします。

［**ネットワークの探索とファイル共有**］ダイアログが表示されたら、［**いいえ、接続しているネットワークをプライベートネットワークにします**］をクリックします。

15 ［**終了**］をクリックします。

16 ［**共有**］タブの［**詳細な共有**］をクリックします。

17 ［**アクセス許可**］をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、手順 20 に進みます。

18 [**追加**] をクリックします。

19 入力欄に C-2 の値を入力し、[**OK**] をクリックします。

20 手順 13 で追加したユーザーを選択し、[**フルコントロール**] の [**許可**] にチェックをつけ、[**OK**] をクリックします。

21 [**OK**] をクリックします。

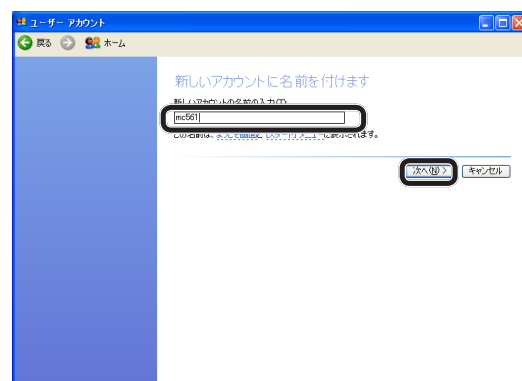
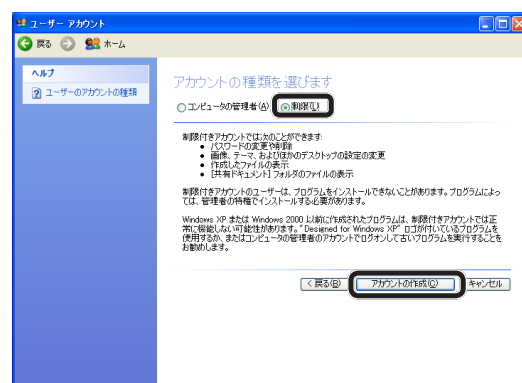
22 [**閉じる**] をクリックします。

❑ Windows XP の場合

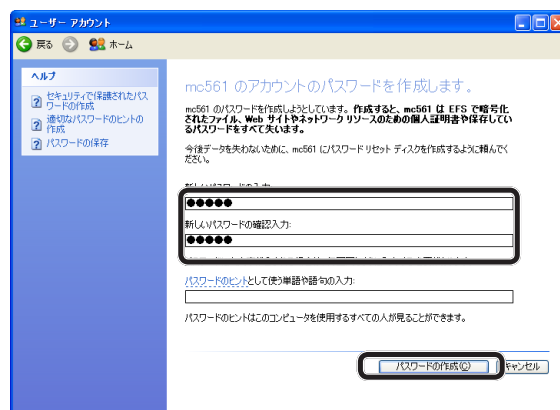
1 [**スタート**] をクリックし、[**コントロール パネル**] を選択します。

2 [**ユーザー アカウント**] をダブルクリックします。

3 [**新しいアカウントを作成する**] を選択します。

4 C-2 の値をテキストボックスに入力し、[**次へ**] をクリックします。

5 [**制限**] を選択し、[**アカウントの作成**] をクリックします。

6 手順 5 で作成したユーザーアカウントのアイコンをクリックします。

7 [**パスワードを作成する**] を選択します。

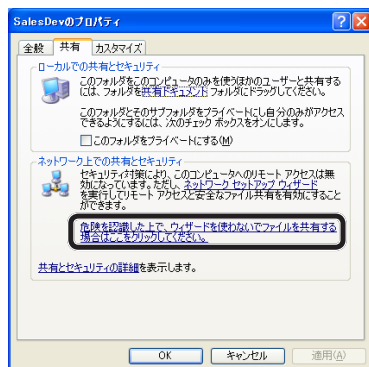
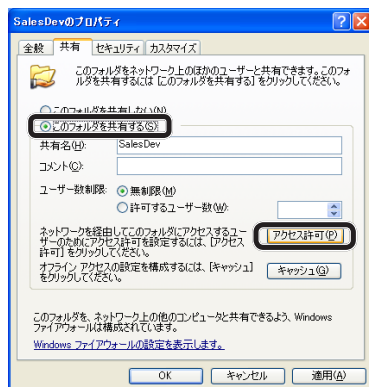
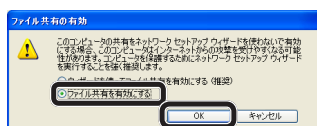
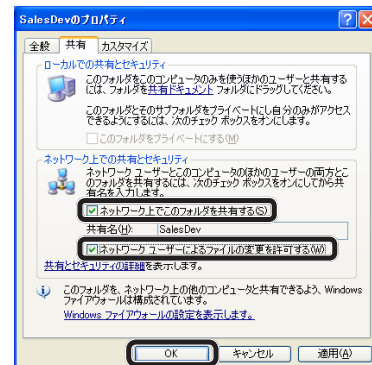
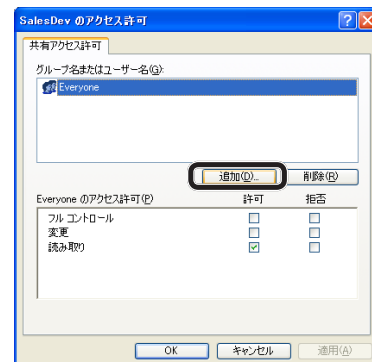
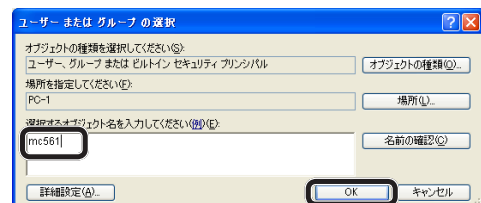
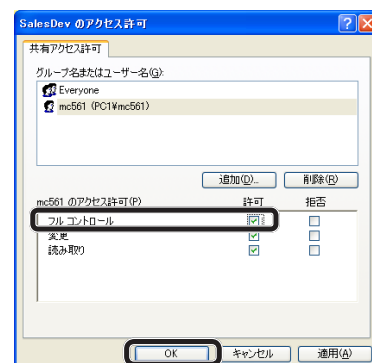
8 C-3 の値を [**新しいパスワードの入力**] および [**新しいパスワードの確認入力**] に入力し、[**パスワードの作成**] をクリックします。

9 ウィンドウを閉じます。

10 C-5 に記入した名前で、コンピューター上に新しいフォルダを作成します。

メモ

- デスクトップや［**マイ ドキュメント**］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダを作成することをおすすめします。

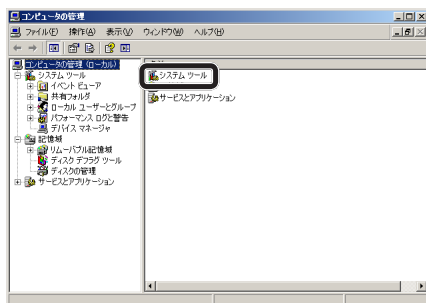
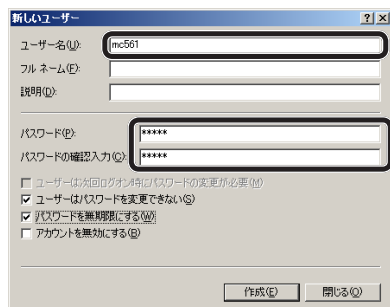
11 手順 10 で作成したフォルダを右クリックし、［**共有とセキュリティ**］を選択します。

12 ［**危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。**］をクリックします。

次の画面が表示された場合は、［**このフォルダを共有する**］を選択し、［**アクセス許可**］をクリックします。手順 15 に進みます。

13 Windows ファイアウォールで［**ファイル共有を有効にする**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

14 ［**ネットワーク上でこのフォルダを共有する**］および［**ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。

15 ［**追加**］をクリックします。

16 入力欄に C-2 の値を入力し、［**OK**］をクリックします。

17 ［**フル コントロール**］の［**許可**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。

❑ Windows Server 2003 の場合

メモ

- お使いのエディションによって、記載と異なることがあります。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**管理ツール**］>［**コンピュータの管理**］を選択します。

2 右側のウィンドウで、［**システム ツール**］>［**ローカル ユーザーとグループ**］をダブルクリックし、［**ユーザー**］を右クリックして、［**新しいユーザー**］を選択します。

3 C-2 の値を［**ユーザー名**］に、C-3 の値を［**パスワード**］と［**パスワードの確認入力**］に入力します。

4 ［**ユーザーはパスワードを変更できない**］と［**パスワードを無期限にする**］にチェックをつけ、［**作成**］をクリックします。

メモ

- ［**ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要**］にチェックがついている場合は、そのチェックを外してから［**ユーザーはパスワードを変更できない**］と［**パスワードを無期限にする**］にチェックをつけてください。

5 ［**閉じる**］をクリックします。

6 ［**ユーザー**］をダブルクリックし、手順 4 で作成したユーザーが表示されていることを確認します。

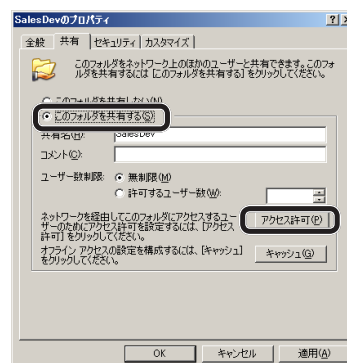
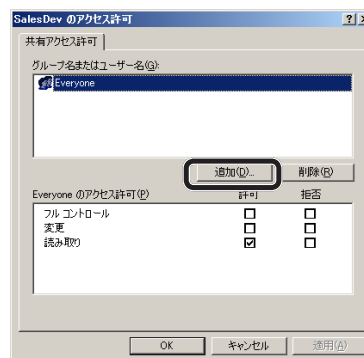
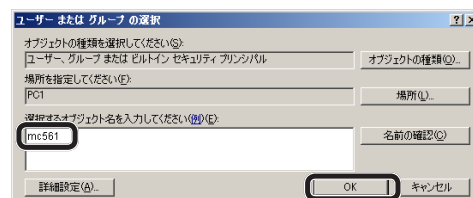
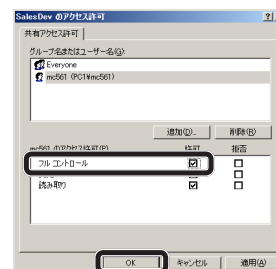
7 ウィンドウを閉じます。

8 C-5 に記入した名前で、コンピューター上に新しいフォルダを作成します。

メモ

- デスクトップや［**マイ ドキュメント**］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダを作成することをおすすめします。

9 手順 8 で作成したフォルダを右クリックし、［**共有**］を選択します。

10 ［**このフォルダを共有する**］を選択し、［**アクセス許可**］をクリックします。

11 ［**追加**］をクリックします。

12 入力欄に C-2 の値を入力し、［**OK**］をクリックします。

13 ［**フル コントロール**］の［**許可**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。

14 手順 8 で作成したフォルダのアイコンが手のついたアイコンに変わったことを確認し、ウィンドウを閉じます。

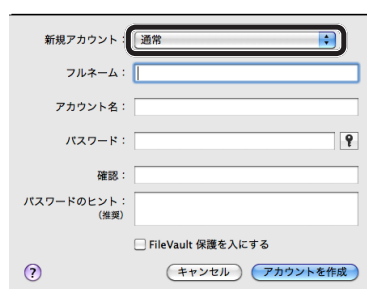
❏ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合

1 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

2 ［**アカウント**］をクリックします。

3 画面左下の［**変更するにはカギをクリックします。**］をクリックし、管理者パスワードを入力して［**OK**］をクリックします。

4 [+] をクリックします。

5 ［**新規アカウント**］から［**通常**］を選択します。

6 C-2 の値を［**フルネーム**］に入力します。
Mac OS X 10.5 の場合は、C-2 の値を［**名前**］に入力します。

7 C-3 の値を［**パスワード**］と［**確認**］に入力します。

8 ［**アカウントを作成**］をクリックします。

メモ

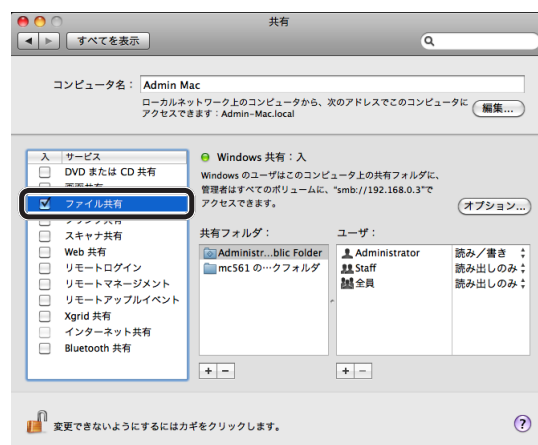
● 自動ログインについてのダイアログが表示されたら、自動ログインを無効にします。

9 ［**その他のアカウント**］に C-2 の名前でアカウントが追加されたことを確認し、［**アカウント**］を閉じます。

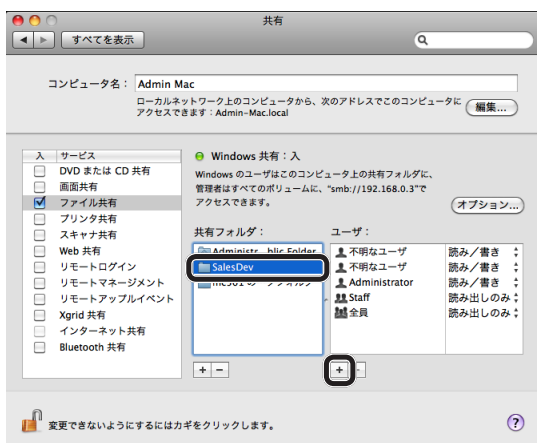
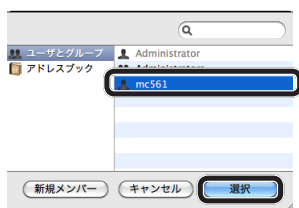
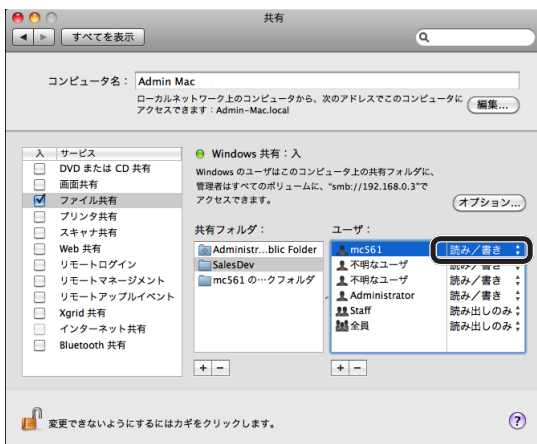
10 C-5 に記入した名前で、コンピューター上に新しいフォルダを作成します。

11 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

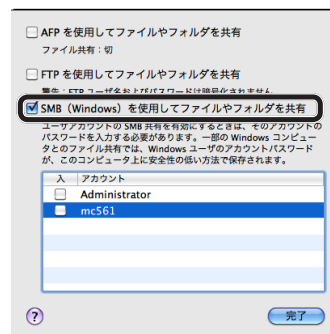
12 ［**共有**］をクリックします。

13 ［**ファイル共有**］にチェックをつけます。

14 ［**共有フォルダ**］下の [+] をクリックします。

15 手順 10 で作成したフォルダを選択して、［**追加**］をクリックします。

16 手順 15 で追加したフォルダを選択し、［**ユーザ**］下の［+］をクリックします。

17 手順 8 で作成したアカウントを選択して［**選択**］をクリックします。

18 手順 17 で追加したユーザーの右端の三角形ボタンをクリックし、［**読み／書き**］を選択します。

19 ［**オプション**］をクリックします。

20 ［**SMB（Windows）を使用してファイルやフォルダを共有**］にチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 の場合は［**SMB を使用してファイルやフォルダを共有**］にチェックをつけます。

21 手順 16 で追加したアカウントにチェックをつけます。

22 ［**パスワード**］に C-3 の値を入力して［**OK**］をクリックします。

23 ［**完了**］をクリックします。

24 ［**共有**］を閉じます。

❑ Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合

メモ

● 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

1 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

2 ［**アカウント**］をクリックします。

3 画面左下の［**変更するにはカギをクリックします。**］をクリックし、管理者パスワードを入力して［**OK**］をクリックします。

4 [+] をクリックします。

5 C-2 の値を［**名前**］に入力します。

6 C-3 の値を［**パスワード**］と［**確認**］に入力します。

Mac OS X 10.3.9 の場合は、手順 8 に進みます。

7 ［**アカウントを作成**］をクリックします。

メモ

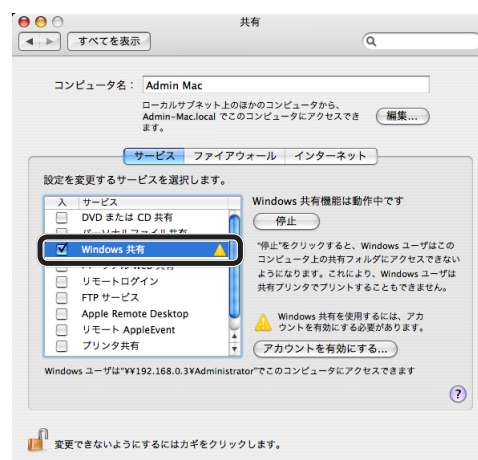
● 自動ログインについてのダイアログが表示されたら、自動ログインを無効にします。

8 ［**その他のアカウント**］に C-2 の名前でアカウントが追加されたことを確認し、［**アカウント**］を閉じます。

9 C-5 に記入した名前で、コンピューター上に新しいフォルダを作成します。

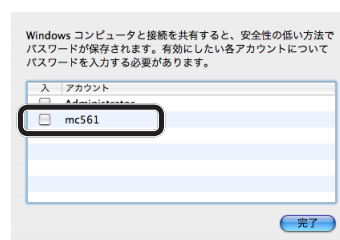
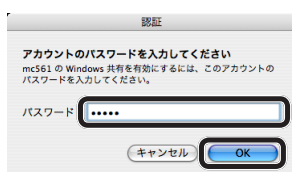
10 アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

11 ［**共有**］をクリックします。

12 ［**Windows 共有**］のチェックボックスを選択します。

Mac OS X 10.3.9 の場合は、手順 17 に進みます。

13 ［**アカウントを有効にする**］をクリックします。

14 手順 7 で作成したアカウントにチェックをつけます。

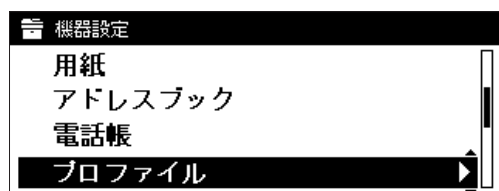
5 スキャン機能を設定する

15 [**パスワード**] に C-3 の値を入力し、[**OK**] をクリックします。

16 [**完了**] をクリックします。

17 [**共有**] を閉じます。

■手順 2-4 スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する

設定情報シートの情報をプロファイルとして本機に登録します。スキャン To ネットワーク PC を実行するときは、このプロファイルを指定してデータを送信します。

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して [**プロファイル**] を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して登録したいプロファイル番号を選択し、OKを押します。

4 [**登録**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 [**プロファイル名**] が選択されていることを確認し、▶を押します。

6 C-4 の情報を入力します。

7 [**決定**] を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して [**対象 URL**] を選択し、▶を押します。

9 C-1 および C-5 の値を「¥¥C-1 ¥C-5」の形式で入力します。

例： ¥¥PC1 ¥SalesDev

! 注

- ネットワークに DNS サーバがない場合、コンピューター名（C-1）ではコンピューターを指定できません。この場合は、コンピューターの IP アドレスを使用して設定します。

例： ¥¥192.168.0.3 ¥SalesDev

メモ

- QWERTY キーボードを使って「¥」を入力する場合は、< **CTRL** >キーを押してから<＼>キーを押します。

10 [**決定**] を選択し、OKを押します。

11 ▼を押して [**ユーザ名**] を選択し、▶を押します。

12 C-2 の値を入力します。

! 注

- ドメイン管理が行われている場合は、「C-2@ ドメイン名」を入力します。
- ドメイン管理が行われている場合で、「C-2 @ドメイン名」を入力しても接続できない場合は、「@ドメイン名」を削除してください。
  さらに「ユーザーズマニュアル　活用編」を参考に、本機の Web ページにアクセスし、[**管理者設定**] ＞ [**ネットワーク管理**] ＞ [**NBT/NetBEUI**] の [**ワークグループ名**] に NetBIOS ドメイン名を設定してください。
  * ドメイン名に関してはネットワーク管理者に確認してください。

13 [**決定**] を選択し、OKを押します。

14 ▼を押して [**パスワード**] を選択し、▶を押します。

15 C-3 の値を入力します。

16 [**決定**] を選択し、OKを押します。

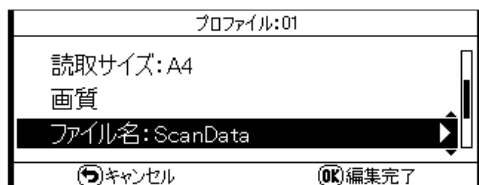
17 ▼を押して [**ファイル名**] を選択し、▶を押します。

18 C-6 の値を入力します。

- ファイル名の最後に「#n」を追加すると、送信されるファイル名の最後に自動的にシリアル番号が割り当てられます。
- ファイル名の最後に「#d」を追加すると、送信されるファイル名の最後に自動的に日付が割り当てられます。

19 [**決定**] を選択し、OKを押します。

20 必要に応じて、そのほかの項目を設定します。

21 OKを押して、設定を登録します。

スキャン To ネットワーク PC 用のセットアップは完了です。

スキャン To ネットワーク PC の手順

この節では、スキャン To ネットワーク PC を開始する方法について説明します。

スキャン To ネットワーク PC 機能を使用する前に、初期設定を行ってください。

メモ

- 次の手順では、工場出荷時の設定を使用しています。

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 以下のように原稿を自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットします。

- 自動原稿送り装置（ADF）

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

注

- 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

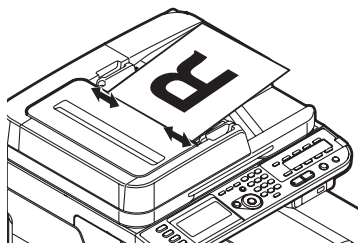
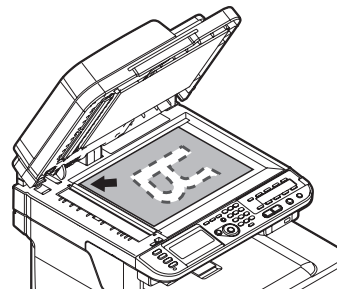
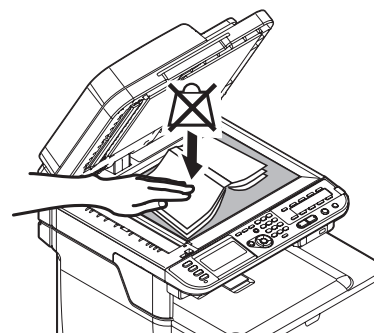
- 原稿ガラス

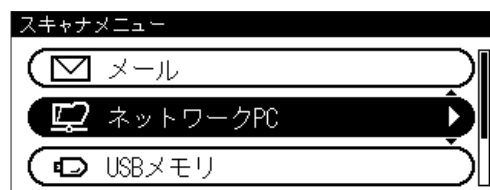
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

注

- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置（ADF）の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置（ADF）に原稿がないことを確認してください。

3 ▼を押して [**ネットワーク PC**] を選択し、OKを押します。

4 [**プロファイル選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押してプロファイルを選択し、OKを押します。

6 モノクロ または カラー を押します。

5

スキャン機能を設定する

プロファイルの管理

スキャン To ネットワーク PC、または自動配信・通信データ保存機能（MC562dn のみ）を実行するには、各送信先のプロファイルを作成する必要があります。最大 50 件のプロファイルを登録できます。

参照

- プロファイルの作成については、「手順 2-4 スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」P.92 を参照してください。

プロファイルの変更

1. 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。
2. ▼を押して［**プロファイル**］を選択し、OKを押します。
3. ▼を押して変更したいプロファイルを選択し、OKを押します。
4. ［**編集**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
5. ▼を押して変更したい項目を選択し、▶を押します。
6. 項目を変更します。
7. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
8. 複数の項目を変更したい場合は、手順 5 ～ 7 を繰り返します。
9. OKを押して、設定を登録します。

プロファイルの削除

1. 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。
2. ▼を押して［**プロファイル**］を選択し、OKを押します。
3. ▼を押して削除したいプロファイルを選択し、OKを押します。
4. ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。
5. 確認画面で◀または▶押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

5 スキャン機能を設定する

スキャン To ローカル PC

この節では、スキャン To ローカル PC 機能の初期設定と基本操作について説明します。

本機能によって、ネットワークまたは USB を介して、コンピューターに原稿をスキャンし、必要に応じてスキャンした画像を処理します。操作パネルからスキャンを開始できます。

● Windows の場合

モノクロ または カラー を押すと、ActKey ユーティリティを開始し、スキャンドライバーを使用してスキャンが自動的に開始します。スキャンした原稿を指定したアプリケーションに送信、指定したフォルダに保存、またはファクスで送信できます。

WSD スキャン接続については、開始するアプリケーションや、各送信先へのスキャンした原稿を送信または保存する場所を指定できます。

● Mac OS X の場合

モノクロ または カラー を押すと、イメージキャプチャを開始し、ICA ドライバーを使用してスキャンが自動的に開始します。フォルダを選択し、スキャンした原稿をそのフォルダに保存できます。

本機は USB インターフェースまたはネットワークに接続できますが、同時に接続できるのは一台のコンピューターだけです。

この機能を使用する前に、必ず初期設定を完了させてください。

スキャン To ローカル PC の初期設定

この節では、スキャン To ローカル PC 機能の初期設定の方法について説明します。

お使いの OS の手順を参照してください。

- 「Windows の場合」P.96
- 「Mac OS X の場合」P.97

Windows の場合

■ 概要

❏ 接続方法
次の接続方法のいずれかを選択できます。

- 「ネットワーク接続」P.96
- 「USB 接続」P.96
- 「WSD スキャン接続」P.96

❏ 動作環境
本機は、次の Windows オペレーティングシステムに対応しています。

ネットワーク /USB 接続：

- Windows 7/Windows 7（64bit 版）
- Windows Vista/Windows Vista（64bit 版）
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008/Windows Server 2008（64bit 版）
- Windows XP/Windows XP（x64 版）
- Windows Server 2003/Windows Server 2003（x64 版）

WSD スキャン接続：

- Windows 7/Windows 7（64bit 版）
- Windows Vista/Windows Vista（64bit 版）
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008/Windows Server 2008（64bit 版）

■ ネットワーク接続

ネットワーク接続を経由して、スキャン To ローカル PC 機能を設定するには、下の 2 つの手順を行ってください。

- 「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.96
- 「手順 2 ドライバーおよびソフトウェアをインストールする」P.96

❏ 手順 1 本機のネットワーク設定を行う
手順については、「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.51 を参照してください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順 1 をスキップしてください。

❏ 手順 2 ドライバーおよびソフトウェアをインストールする
次の手順は、スキャナードライバーと ActKey を一度にインストールします。

注

- この手順を行う前に、ネットワーク設定を設定してください。

メモ

- スキャナードライバーと ActKey がお使いのコンピューターにすでにインストールされている場合は、インストールは必要ありません。

手順については、「手順 2 ドライバーなどをインストールする」P.53 を参照してください。

■ USB 接続

USB 接続を経由して、スキャン To ローカル PC 機能を設定するには、コンピューターのスキャナードライバーと ActKey をインストールしてください。手順は、「USB 接続」P.59 を参照してください。

メモ

- スキャナードライバーと ActKey がお使いのコンピューターにすでにインストールされている場合は、この手順をスキップしてください。

■ WSD スキャン接続

WSD スキャン接続を経由して、スキャン To ローカル PC 機能を設定するには、下の2つの手順を行ってください。

- 「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.96
- 「手順 2 WSD スキャンをセットアップする」P.96

❏ 手順 1 本機のネットワーク設定を行う
手順については、「手順 1 本機のネットワーク設定を行う」P.51 を参照してください。

メモ

- IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、必要ありません。

❏ 手順 2 WSD スキャンをセットアップする
手順については、「WSD スキャンをセットアップする」P.133 を参照してください。

Mac OS X の場合

■ 概要

❑ 接続方法
次の接続方法のどちらかを選択できます。

- ネットワーク接続
- USB 接続

❑ 動作環境
本機は Mac OS X 10.6 ～ 10.7 に対応しています。

❑ 手順
Mac OS X でスキャン To ローカル PC 機能を設定するには、下の 3 つの手順を行ってください。

- 「手順 1 本機とコンピューターを接続する」P.97
- 「手順 2 スキャナードライバーをインストールする」P.97
- 「手順 3 ネットワークスキャナー設定ツールにコンピューターを登録する」P.97

メモ

- ネットワーク接続で、IP アドレスが本機にすでに設定されている場合は、手順 1 をスキップしてください。
- スキャナードライバーがお使いのコンピューターにすでにインストールされている場合は、手順 2 をスキップしてください。
- USB 接続の場合は、手順 3 をスキップしてください。

■ 手順 1 本機とコンピューターを接続する

❑ USB 接続
手順については、「USB ケーブルを接続する」P.59 を参照してください。

■ 手順 2 スキャナードライバーをインストールする

手順については、「手順 2 ドライバーなどをインストールする」P.53 の「Mac OS X の場合」P.61 を参照してください。

■ 手順 3 ネットワークスキャナー設定ツールにコンピューターを登録する

ネットワーク接続を経由して、スキャン To ローカル PC 機能を使用するには、スキャンを開始する前に、必ずネットワークスキャナー設定ツールでお使いのコンピューターを送信先として登録してください。

メモ

- スキャナードライバーをインストールすると、ネットワークスキャナー設定ツールが同時にインストールされます。

1. [**移動**] メニューから [**アプリケーション**] > [**OKIDATA**] > [**Scanner**] > [**ネットワークスキャナ設定ツール**] を選択します。
2. [**装置一覧**] から本機を選択し、[**登録**] をクリックします。
3. 必要に応じて、本機の送信先として表示される [**名称**] を編集し、[**登録**] をクリックします。
4. 確認メッセージで [**OK**] をクリックします。
5. [**OK**] をクリックしてネットワークスキャナー設定ツールを閉じます。

スキャン To ローカル PC の動作を確認する

この節では、スキャン To ローカル PC を開始する方法について説明します。次の手順は、Windows と Mac OS X に共通です。

スキャン To ローカル PC 機能を使用する前に、初期設定を行ってください。

接続方法を選択し、各手順に従ってください。

- 「ネットワーク接続」P.98
- 「USB 接続」P.99
- 「WSD スキャン接続の場合（Windows のみ）」P.100

■ネットワーク接続

- Mac OS X 10.7 をお使いのときに、ネットワーク接続でスキャンをする場合、最初にイメージキャプチャを起動する必要があります。イメージキャプチャスクリーンの左側に表示される一覧から装置を選択してください。

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 以下のように原稿を自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置（ADF）

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

注

- 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

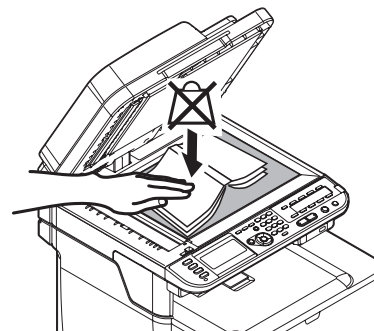
● 原稿ガラス

原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

注

- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置（ADF）の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置（ADF）に原稿がないことを確認してください。

3 ▼を押して [**ローカル PC**] を選択し、OKを押します。

4 [**接続先選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 [**ネットワーク接続 PC リストから選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ▼を押して接続先のコンピューターを選択し、OKを押します。

7 ▼を押して [**起動アプリ**] を選択し、OKを押します。

8 ▼を押してスキャンした原稿の送信先を選択し、OKを押します。

9 モノクロ または カラー を押します。

- [**Application**] を選択した場合は、指定したアプリケーションが起動し、スキャンした画像がアプリケーションに表示されます。
- [**Folder**] を選択した場合は、スキャンした画像が指定したフォルダに保存されます。
- [**PC-FAX**] を選択した場合は、ファクス送信アプリケーションが起動します。スキャンした画像を送信したあと、お使いのコンピューターのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ USB 接続

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 以下のように原稿を自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットします。

● 自動原稿送り装置（ADF）

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

注

- 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

● 原稿ガラス

原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

注

- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置（ADF）の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置（ADF）に原稿がないことを確認してください。

3 ▼を押して [**ローカル PC**] を選択し、OKを押します。

Network TWAIN 機能を [**オフ**] に設定している場合は、手順 6 に進みます。

4 [**接続先選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押して [**USB 接続 PC**] を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して [**起動アプリ**] を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、OKを押します。

選択可能な送信先

アプリケーション	フォルダ	PC-FAX

注

- Mac OS X をお使いのときはフォルダのみ選択可能です。

8 モノクロ または カラー を押します。

メモ

- [**アプリケーション**] を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- [**フォルダ**] を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダに保存されます。
- [**PC-FAX**] を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと、お使いのコンピューターのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ WSD スキャン接続の場合(Windows のみ)

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 以下のように原稿を自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスにセットします。

- 自動原稿送り装置（ADF）

原稿を表にして、原稿の上端から入っていくようにセットします。

注

- 自動原稿送り装置（ADF）からの原稿の給紙ミスが多発する場合は、セットする原稿の枚数を減らしてください。

原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

5 スキャン機能を設定する

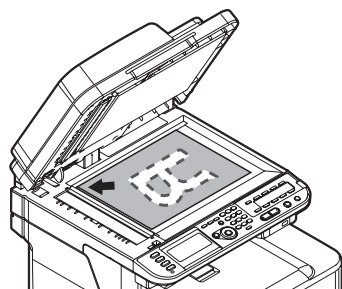
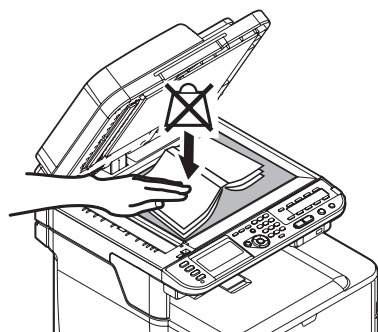
● 原稿ガラス

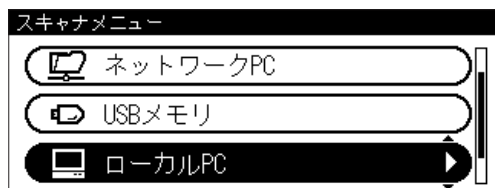
原稿を裏にして、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。

原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

注

- 原稿ガラスでスキャンをするときは、原稿ガラスに必要以上の重みをかけないでください。

メモ

- 本機で原稿をスキャンするときは、自動原稿送り装置（ADF）の原稿が優先されます。原稿ガラスを使用するときは、自動原稿送り装置（ADF）に原稿がないことを確認してください。

3 ▼を押して [**ローカル PC**] を選択し、OKを押します。

4 [**接続先選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押して [**WSD Scan**] を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して送信先のコンピューターのイベントを選択し、OKを押します。

選択可能なイベント：

XXX へ電子メール用にスキャン XXX へ FAX 用にスキャン XXX へ OCR 用にスキャン XXX へ印刷用にスキャン XXX へスキャン

XXX は、送信先のコンピューター名を示します。

Windows スキャンプロパティの各イベントの動作を設定できます。

7 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

メモ

- 自動原稿送り装置（ADF）でスキャンした場合、フォーマットによっては、2 ページ以降がスキャンされないことがあります。例として、Windows FAX およびスキャンでは、次の組み合わせで原稿送り装置でスキャンした場合、2 ページ以降がスキャンされないことがあります。
  - カラーフォーマット：カラー / グレイスケール + ファイルの種類：BMP/PNG
  - カラーフォーマット：黒および白 + ファイルの種類：BMP/PNG/JPG

スキャン To USB メモリー

スキャンしたデータを、USB メモリーに保存できます。

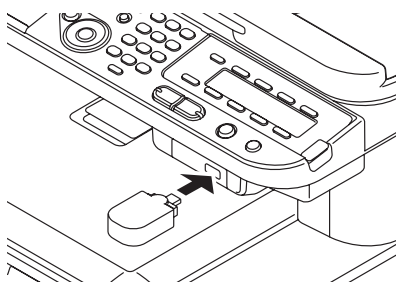
参照

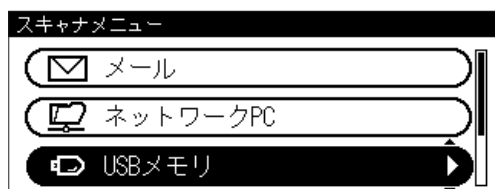
- 使用できる USB メモリーの仕様については、「ユーザーズマニュアル　困ったときにはと日々のメンテナンス編」を参照してください。

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 USB メモリーを、本機の USB ポートに差し込みます。

注

- USB メモリーは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

4 ▼を押して [**USB メモリ**] を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して必要に応じて読み取り設定をします。

6 モノクロまたはカラーを押します。

7 USB メモリーを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外します。

6　節電モード・自動で電源を切るまでの時間（オートパワーオフ）を設定する

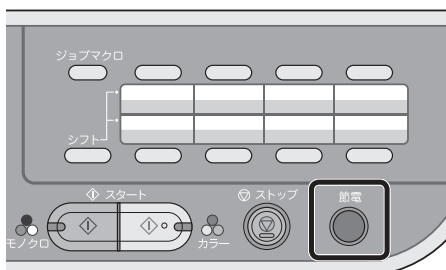
パワーセーブモード・スリープモード

2 段階の節電モードにより、本機の消費電力を節約することができます。

■パワーセーブモード

一定時間本機を使用しないと、自動的にパワーセーブモードに入り、消費電力を節約します。

または、操作パネルの＜**節電**＞ボタンを押して、手動でパワーセーブモードに入ることができます。

パワーセーブモードのときは、＜**節電**＞ボタンが点灯します。

❑移行時間を設定する

1 ＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**節電モード**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**パワーセーブ移行時間**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して移行時間を選択し、OKを押します。

設定可能な移行時間

1 分 *、2 分、3 分、4 分、5 分 10 分、15 分、30 分、60 分、120 分

* は工場出荷時の設定

9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■スリープモード

本機は、設定された時間が経過すると、パワーセーブモードからスリープモードに移行します。スリープモードでは、本機の状態は電源が切れているときとほぼ同じです。

スリープモードのときは、＜**節電**＞ボタンが点滅します。

注

- エラーが発生している場合、本機はスリープモードに入りません。
- 時刻指定送信が予約されている場合、本機はスリープモードに入りません。
- ファクス送信がリダイヤル待ちとなっている場合、本機はスリープモードに入りません。
- ［**管理者設定**］>［**運用初期設定**］>［**ファクス受信モード**］が［**電話 / ファクス待機**］、［**管理者設定**］>［**ファクス機能**］>［**その他の設定**］>［**応答待ち時間**］が［**OFF**］に設定されている場合、スリープモードに入りません。

❑移行時間を設定する

1 ＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**節電モード**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**スリープ移行時間**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して移行時間を選択し、OKを押します。

設定可能な移行時間

1 分 *、2 分、3 分、4 分、5 分 10 分、15 分、30 分、60 分、120 分

* は工場出荷時の設定

9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

参照

- スリープモードについてのより詳しい情報は、「スリープモード時の制限事項」P.105 を参照してください。

■ 待機状態への戻り方

パワーセーブモードまたはスリープモードから待機状態に戻るには、操作パネルの <**節電**> ボタンを押します。

メモ

- 本機は、コンピューターやそのほかの装置からデータを受信すると、自動的に待機状態に戻ります。

オートパワーオフ

本機は、一定時間使用しないと、オートパワーオフに移行し自動的に電源が切れます。再度使用する場合は、電源を入れてください。

オートパワーオフの振る舞いを決定するオートパワーオフ設定は、3 つの選択肢があります。

- [**有効**]
- [**自動設定**]
- [**無効**]

[**有効**]

一定時間本機を使用しないと、自動的に電源が切れます。

[**自動設定**]

以下の状態では、自動的に電源が切れません。

- イーサネットケーブルをネットワークインタフェースコネクターに接続している
- 電話線ケーブルを LINE コネクターに接続している

[**無効**]

オートパワーオフ機能が無効になります。自動的に電源は切れません。

注

- エラーが発生している場合、本機はオートパワーオフしません。
- 時刻指定送信が予約されている場合、本機はオートパワーオフしません。
- ファクス送信がリダイアル待ちとなっている場合、本機はオートパワーオフしません。

■ オートパワーオフを設定する

ネットワーク接続時、電話線ケーブル接続時にオートパワーオフを設定するには、以下設定を行ないます。

1. <**設定**> ボタンを押します。
2. ▼を押して [**管理者設定**] を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
   工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して [**運用初期設定**] を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して [**省電力設定**] を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して [**オートパワーオフ**] を選択し、OKを押します。
8. ▼を押して [**有効**] を選択し、OKを押します。
9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■ 移行時間を設定する

1. <**設定**> ボタンを押します。
2. ▼を押して [**管理者設定**] を選択し、OKを押します。
3. 管理者パスワードを入力します。
4. ［**決定**］を選択し、OKを押します。
5. ▼を押して [**機器管理**] を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して [**節電モード**] を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して [**オートパワーオフ移行時間**] を選択し、OKを押します。
8. ▼を押して移行時間を選択し、OKを押します。

設定可能な移行時間
1 時間、2 時間、3 時間、4 時間 * 8 時間、12 時間、18 時間、24 時間

   * は工場出荷時の設定

9. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

スリープモード時の制限事項

この節では、本機がスリープモードのときの制限事項について説明します。

本機がエラーを表示している状態では、スリープモードに移行しない場合があります。

プリンタードライバー・ユーティリティの制限事項

本機がスリープモードに移行すると、プリンタードライバー、ユーティリティの機能が以下のように制限されます。

本機がスリープモードに移行している場合は、操作パネルの<**節電**>ボタンを押し、表示画面にデフォルトモードのトップ画面が表示されることを確認してください。

トップ画面を表示していれば、以下の制限事項は発生しません。

OS	ソフトウェア名	スリープモード時の制限事項	<節電>ボタンを押す以外の対処法
Windows	Network Extension	本機に接続できません。	-
	NIC 設定ツール	本機の検索や設定ができません。	-
	Print Super Vision MultiPlatform Edition	消耗品の監視、印刷枚数の監視などができません。	-
	Web Driver Installer	● ドライバーインストール時、本機のオプション情報を自動で取得できません。 ● 本機を WDI サーバに手動で登録できません。	-
	ドライバーインストーラ	● ネットワーク接続の場合は、ドライバーインストール時、プリンターのオプション情報を自動で取得できません。	-
Mac OS X	プリンタードライバー	EtherTalk で接続している場合は、印刷できません。	TCP/IP で本機に接続します。

ネットワーク機能の制限事項

スリープモードでは、ネットワークの機能に以下のような制限があります。

スリープモードに移行しない

次の場合には、本機はスリープモードに移行しません。

- IPSec が有効になっている
- NetBEUI が有効になっている
- NetWare が有効になっている
- EtherTalk が有効になっている
- TCP のコネクションが確立している
  例：Telnet、FTP でコネクションを確立している場合など。
  パワーセーブ状態でスリープ移行時間経過後、コネクションが切断されるとスリープモードに入ります。
- E メール受信が有効になっている

メモ

- スリープモードを有効にしたい場合には、IPSec/NetBEUI/NetWare/EtherTalk/E メール受信を無効にしてください。

印刷できない

スリープモード中は、以下のプロトコルを使用した印刷はできません。

- NetBEUI
- NBT
- NetWare
- EtherTalk*
- Bonjour（Rendezvous）

* Mac OS X の場合、「IP プリント」で接続すると、スリープモード中の印刷が可能になります。

検索・設定できない

スリープモード中は、以下の機能 / プロトコルを使用した検索や設定はできません。

- PnP-X
- UPnP
- Bonjour（Rendezvous）
- LLTD
- FLDP
- ODNSP
- JCP
- MIB*

* スリープモード中にサポートする一部の MIB による参照（Get コマンド）は可能です。

クライアント機能を持つプロトコルが動作しない

スリープモード中は、クライアント機能を持つ以下のプロトコルが動作しません。

- E メールアラート
- SNMP Trap
- WINS*1
- SNTP*2

*1 スリープモード中の経過時間は、WINS の更新時間の間隔には含まれません。
スリープモード中は WINS の定期更新を行わないため、WINS サーバに登録された名前が削除されることがあります。

*2 スリープモード中の経過時間は、NTP サーバに対する更新時間の間隔に含まれません。

スリープモードを無効にして使用するプロトコル

以下のプロトコルを使用する場合は、スリープモードを無効にしてください。

- IPv6
- NetBEUI
- NetWare
- EtherTalk

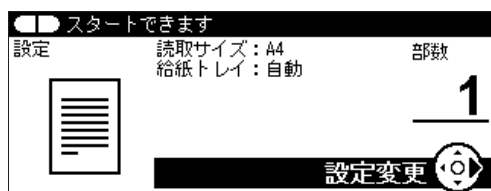
7 コピー機として使うとき

この章では、コピー機能の基本操作と設定について説明します。

● 基本操作

この節では、コピーの開始および中止方法について説明します。

コピーを始める

1 操作パネルの＜**コピー**＞ボタンを押して、スタート画面を開きます。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 必要に応じて、コピー設定を変更します。

4 テンキーで部数を入力します。

- 1 ～ 99 部まで入力できます。
- 間違えて入力したときは、＜**クリア**＞ボタンを押して入力しなおします。＜**クリア**＞ボタンを押すと、もとの設定値に戻ります。

5 モノクロ または カラー を押してコピーを始めます。

メモ

● 工場出荷時の設定では、以下の設定でコピーされます。

［**読取サイズ**］：A4	［**給紙トレイ**］：自動
［**原稿の画像向き**］：縦	［**拡大 / 縮小**］：100%
［**濃度**］：0	［**ドキュメントタイプ**］：文字 / 写真

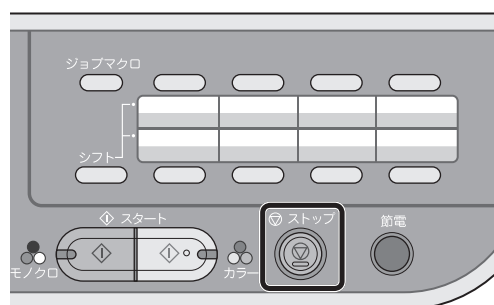
参照

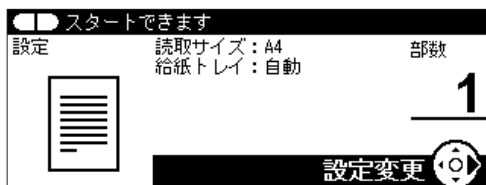
● 各コピー機能の設定方法については、「コピー設定を変更する」P.108 を参照してください。

● 自動原稿送り装置（ADF）置または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」P.42 を参照してください。

コピーを中止する

コピー完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、コピーを中止できます。

1 操作パネルの＜**ストップ**＞ボタンを押します。

● コピー設定を変更する

この節では、各コピー設定の変更方法を説明します。各設定は、スタート画面の［**設定変更**］から行います。

前述の「コピーを始める」P.107に示す手順 3 で、以下の操作を行います。

参照

● スタート画面の［**設定変更**］メニューで行う変更は一時的なものです。初期設定を変更するときは、＜**設定**＞ボタンを押して［**管理者設定**］から行います。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

読み取りサイズを変更する（読取サイズ）

原稿の適切な読み取りサイズを選択できます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ［**読取サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

3 ▼を押して読み取りサイズを選択し、OKを押します。

設定可能なサイズ

A4*　A5　A6　B5　レター　リーガル 13 リーガル 13.5　リーガル 14　エグゼクティブ

＊は工場出荷時の設定

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

用紙トレイを変更する（給紙トレイ）

コピー用紙をセットするトレイを選択できます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**給紙トレイ**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押してトレイを選択し、OKを押します。

設定可能なトレイ

自動＊　トレイ 1　トレイ 2　MP トレイ

＊は工場出荷時の設定

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

● ［**トレイ 2**］は、オプションのセカンドトレイユニットを取り付けているときに表示されます。
● ［**自動**］に設定しているときに、初期設定でマルチパーパストレイは選択されません。マルチパーパストレイを使用するには、＜**設定**＞ボタン＞［**用紙**］＞［**印刷トレイ指定**］＞［**コピー**］＞［**MP トレイ**］＞［**オン**］または［**オン（優先）**］を選択します。
● ［**自動**］に選択しているときに、A4、B5、A5、A6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ以外の用紙がセットされている用紙トレイは選択されません。ほかの用紙サイズを使用するには、［**給紙トレイ**］設定で用紙トレイを選択します。

■ マルチパーパストレイを使う

［**MP トレイ**］を選択すると、マルチパーパストレイにセットされている用紙にコピーできます。

1 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

2 マルチパーパストレイに用紙をセットします。

3 モノクロ または カラー を押します。

4 ポップアップメッセージが表示されたら、◀または▶を押して［**読取開始**］を選択し、OKを押します。

MPトレイの用紙にコピーします。 MPトレイに用紙をセットしてから 「読取開始」ボタンを押してください。 読取開始　中止

参照

● マルチパーパストレイに用紙をセットする方法については、「マルチパーパストレイに用紙をセットする」P.39を参照してください。

7　コピー機として使うとき

原稿の向きを変更する（原稿の画像向き）

原稿の向きは、［**縦**］または［**横**］を選択できます。適切な方向を指定して、希望どおりにコピーします。

参照

● 各方向に原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」P.42 を参照してください。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**原稿の画像向き**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して原稿の向きを選択し、OKを押します。

設定可能な向き

縦 *	横

* は工場出荷時の設定

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

拡大 / 縮小コピーをする（拡大 / 縮小）

拡大 / 縮小コピーをするには、［**拡大 / 縮小**］を設定します。倍率は、以下の 3 つの方法で設定できます。

● ［**自動**］を使用する

● 固定倍率を選択する

● テンキーで倍率を設定する

［自動］を使用する

［**自動**］を選択していると、倍率は、指定した読み取りサイズと用紙トレイに応じて自動的に設定されます。

注

● ［**自動**］は、A4、A5、A6、B5、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブの用紙にコピーするときにのみ使用できます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**拡大 / 縮小**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**自動**］を選択し、OKを押します。

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

● ［**給紙トレイ**］を［**自動**］に設定していると、［**拡大 / 縮小**］は、自動的に［**100%**］に設定されます。ほかの倍率を選択したいときは、最初に、［**給紙トレイ**］を設定し、次に、［**拡大 / 縮小**］を設定します。

固定倍率を選択する

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**拡大 / 縮小**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して倍率を選択し、OKを押します。

設定可能な倍率

100%*	A4->A5(70%)
Leg14->Let(78%)	Leg13.5->Let(81%)
Leg13->Let(84%)	A4->B5(86%)
A4->Let(94%)	Let->A4(97%)
Fit to page(98%)	B5->A4(115%)
A5->A4(141%)	

* は工場出荷時の設定

メモ

● ［**Fit to page(98%)**］を選択すると、原稿と用紙のサイズが同じ場合に、用紙に合わせて原稿が縮小されます。

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

● ［**給紙トレイ**］を［**自動**］に設定しているときは、選択できない値があります。選択できる値は、指定した読み取りサイズに応じて異なります。

● 使用する倍率によっては、原稿の一部がコピーされなかったり、余白が生じたりすることがあります。

メモ

● ［**給紙トレイ**］を［**自動**］に設定しているとき、用紙トレイは、指定した倍率に応じて自動的に選択されます。特定の用紙トレイを使用したいときは、［**給紙トレイ**］を設定しなおします。

● ［**給紙トレイ**］が［**自動**］に設定されていても、A4、B5、A5、A6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ以外の用紙がセットされている用紙トレイは選択されません。そのほかの用紙サイズを選択するには、［**給紙トレイ**］を設定しなおします。

テンキーで倍率を設定する

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**拡大 / 縮小**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**任意倍率 (25 ～ 400%)**］を選択し、OKを押します。

4 テンキーで 25 ～ 400% までの倍率を入力し、OKを押します。

- 倍率は 1% ずつ設定できます。
- 間違えて入力したときは、<**クリア**>ボタンを押して入力しなおします。

5 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

継続読取モードを有効にする（継続読取）

あらかじめ複数の原稿を読み取り、1 つのジョブとしてコピーしたいときは、継続読取モードを有効にします。［**ソート**］、［**集約**］、［**両面**］ 機能を使用するときに設定すると便利です。

メモ

- ファクス、インターネットファクス、およびスキャン機能にも継続読取モードがあります。ファクスは［**応用設定**］、インターネットファクス、およびスキャンは［**読込設定**］から設定できます。

参照

- ［**両面**］機能については、「**両面コピーをする（両面）**」を参照してください。
- ［**ソート**］および［**集約**］機能については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**継続読取**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

■継続読取モードでコピーする

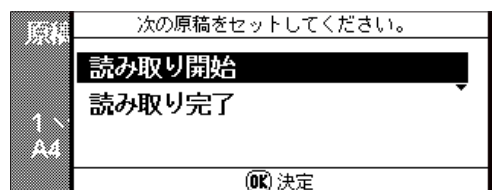
継続読取モードでは、自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスのいずれか、または両方を使用できます。

1 1 枚目の原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

2 継続読取モードを有効にします。
必要に応じて、そのほかのコピー設定を変更します。

3 テンキーで部数を入力します。

4 モノクロまたはカラーを押して、1 枚目の原稿の読み取りを始めます。

5 ［**次の原稿をセットしてください。**］画面が表示されたら、自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスに次の原稿をセットします。

注

- 次の原稿を別の場所にセットするときは、先に使用した場所から原稿を取り除きます。

6 ［**読み取り開始**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 すべての原稿の読み取りが終了したら、▼を押して［**読み取り完了**］を選択し、OKを押します。

メモ

- 原稿ガラスで、集約コピーや両面コピーするときは、［**継続読取**］が［**オフ**］に設定されていても、原稿の読み取りが終了すると、［**次の原稿をセットしてください。**］画面が表示されます。
- ファクス、インターネットファクス、およびスキャン機能では、1 枚目の原稿の読み取り開始後、手順 5 ～ 7 を行ってください。

両面コピーをする（両面）

片面原稿（片面）と両面原稿（両面）を、用紙の片面（片面）にコピーすることも、両面（両面）にコピーすることもできます。また、出力紙を長辺でとじるか、短辺でとじるかを選択することもできます。

希望どおりにコピーするには、［**原稿の画像向き**］で原稿の適切な方向を指定しておく必要があります。

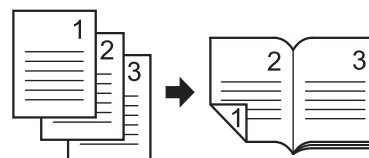
注

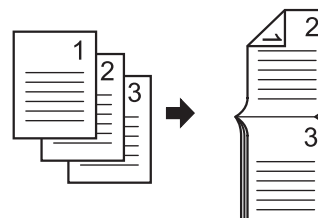
- 両面コピーには定形サイズの普通紙を使用します。定形サイズの普通紙以外の用紙を使用すると、紙づまりの原因となります。

参照

- 使用できる用紙については、「用紙のセットのしかた」P.37 を参照してください。
- ［**原稿の画像向き**］の設定方法については、「原稿の向きを変更する（原稿の画像向き）」P.109 を参照してください。

■長辺とじ

用紙の長辺をとじるように原稿をコピーします。

■短辺とじ

用紙の短辺をとじるように原稿をコピーします。

参照

- とじしろの設定方法については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

両面コピーを有効にする

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**両面**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して印刷方法を選択し、OKを押します。

設定可能な印刷方法

オフ（両面しない）＊ 片面原稿→両面長辺とじ 片面原稿→両面短辺とじ 両面原稿→両面印刷 両面長辺とじ→片面印刷 両面短辺とじ→片面印刷

＊は工場出荷時の設定

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- ［**両面原稿→両面印刷**］、［**両面長辺とじ→片面印刷**］、［**両面短辺とじ→片面印刷**］を行うには、自動原稿送り装置（ADF）へ原稿をセットしてください。

メモ

- 原稿ガラスで両面コピーするときは、継続読取モードが自動的に有効になります。表示画面の指示に従って操作します。

コピー濃度を調整する（濃度）

コピー濃度は 7 段階で調整できます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ［**濃度**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 ▲または▼を押して濃度を選択し、OKを押します。

設定可能な濃度

+3	+2	+1	0*	-1	-2	-3

＊は工場出荷時の設定

メモ

- ［**0**］は標準値です。コピーの濃度を濃くするには、［**+1**］、［**+2**］、［**+3**］を選択します。逆に、コピーの濃度を薄くするには、［**-1**］、［**-2**］、［**-3**］を選択します。

5 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

原稿の種類を変更する（ドキュメントタイプ）

原稿の種類を選択して、最適な画質でコピーできます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**ドキュメントタイプ**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して原稿の種類を選択し、OKを押します。

設定可能な種類

文字	文字 / 写真＊	写真	光沢写真

＊は工場出荷時の設定

メモ

- ［**文字**］：文字の多い原稿をコピーするときに設定します。
- ［**文字 / 写真**］：文字と写真が混在する原稿をコピーするときに設定します。
  文字と写真それぞれのバランスをとった画像で再現されます。
- ［**写真**］：印刷された写真・グラフィック原稿をコピーするときに設定します。
  階調性を重視した画像で再現されます。
- ［**光沢写真**］：光沢のある写真や光沢インクジェット紙に印刷された写真原稿をコピーするときに設定します。
  光沢を考慮して階調性を重視した画像で再現されます。

5 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- ［**文字**］を選択すると、原稿によっては階調性が少なくなる場合があります。
- ［**写真**］、［**光沢写真**］を選択すると、原稿によっては細かい文字や細線がぼやける場合があります。
- ［**光沢写真**］を選択すると、画像が明るくなる事があります。

背景除去を調整する（背景除去）

原稿の背景（下地）除去をオフ、または 6 段階で調整できます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**背景除去**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して設定値を選択し、OKを押します。

設定可能な値

オフ	1	2	3*	4	5	6

＊は工場出荷時の設定

メモ

- ［**3**］は標準値です。原稿の背景（下地）の除去を強くするには、［**4**］、［**5**］、［**6**］を選択します。逆に弱めるには、［**2**］、［**1**］、または［**オフ**］（除去しない）を選択します。

5 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- 背景除去の設定を強くすると、原稿によっては細線や細かい文字、薄い色が再現されなくなる場合があります。

読取解像度を変える（読取解像度（カラー））

原稿の読取解像度を変えることができます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**読取解像度（カラー）**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して解像度を選択し、OKを押します。

設定可能な解像度

普通＊　高精細

＊は工場出荷時の設定

メモ

- ［**普通**］は標準値です。［**高精細**］を選択することで、細線や細かい文字の再現性、階調性が向上できます。

5 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

- モノクロコピーの場合は、読取解像度は［**高精細**］固定となります。

設定をリセットする

自動リセット

一定時間何も操作をしないと、コピー機能の設定がすべて初期値に戻ります。工場出荷時は、3 分に設定されています。

参照

- 自動リセット時間の変更は、＜**設定**＞ボタンを押して［**管理者設定**］から行います。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

＜リセット / ログアウト＞ボタンを使用する

スタート画面または設定項目画面で＜**リセット / ログアウト**＞ボタンを押すと、コピー機能の設定が初期値に戻ります。

コピーが終了したら、次のユーザーのために、＜**リセット / ログアウト**＞ボタンを押して初期値に戻します。

7 コピー機として使うとき

8 ファクス・インターネットファクスとして使うとき

この章では、ファクス機能とインターネットファクス機能の基本設定と操作、電話帳の管理方法について説明します。

● ファクス機能の基本操作

この節では、ファクス送信の基本操作について説明します。ファクス機能を使用する前に、初期設定を行う必要があります。

メモ

- 自動原稿送り装置（ADF）にセットできる原稿のサイズは、A4/ レター / リーガル 13/13.5/14、原稿ガラスにセットできる原稿のサイズは、A4/ レターのみです。
- サイズが異なる原稿を一緒に使用することはできません。

参照

- ファクス機能の初期設定については、「ファクスの初期設定」P.66 を参照してください。

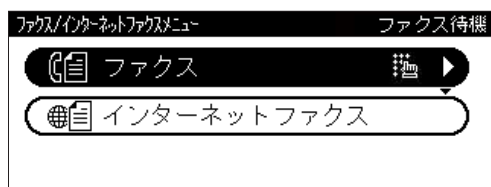
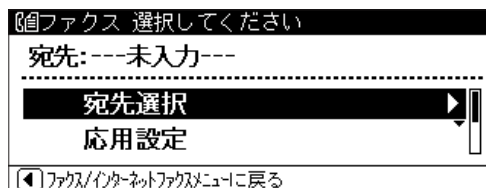
ファクスを送信する

メモ

- 原稿の読み取りには、自動原稿送り装置（ADF）が優先的に使用されます。原稿ガラスを使用するときは、原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットしないでください。

1 操作パネルの<**ファクス**>ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 [**ファクス**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 スタート画面で [**宛先選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 宛先を指定します。

宛先を指定するときは、テンキーによる直接入力、短縮ダイヤルリスト、宛先グループリスト、送信履歴、受信履歴、ワンタッチボタンを使用できます。

参照

- 「宛先を指定する」P.114

6 必要に応じて、応用設定を変更します。

参照

- 「応用設定を変更する」P.117

7 モノクロを押して、送信を始めます。

原稿ガラスを使用した 1 回のファクス操作で、複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

参照

- 「継続読取モードを有効にする（継続読取）」P.110

注

- カラー［**自動**］は、A4、A5、A6、B5、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブの用紙にコピーするときにのみ使用できます。

8 ファクス・インターネットファクスとして使うとき

メモ

- 工場出荷時の設定では、以下の設定で読み取ります。

  ［**読取サイズ**］：A4　［**解像度**］：標準
  ［**濃度**］：0

参照

- 自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」P.42を参照してください。
- 複数の宛先を指定したいときは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

宛先を指定する

宛先は、以下の 6 つの方法で指定できます。

- 直接入力する
- 短縮ダイヤルリストを使用する
- 宛先グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 受信履歴を使用する
- ワンタッチボタンを使用する

前述の「ファクスを送信する」P.113の手順 5 で、以下の操作を行います。

直接入力する

宛先のファクス番号をテンキーで直接入力できます。最大 40 桁まで入力できます。

1. ▼を押して［**直接入力**］を選択し、OKを押します。
2. 操作パネルのテンキーで、宛先のファクス番号を入力します。
3. ［**決定**］を選択し、OKを押します。

メモ

- <**ファクス**>ボタンを押したあとに表示される画面でも、テンキーで宛先を入力できます。この場合、宛先の入力後にスタート画面が表示され、応用設定を行うことができます。

■ダイヤル機能

宛先のファクス番号を入力するときは、以下の機能を使用できます。

「-」、「プレフィクス」、および「フラッシュ」は、ファクス番号入力画面に表示される各記号を選択し、を押して入力します。

- -（ハイフン）

入力するファクス番号にハイフンを挿入します。

- プレフィクス

あらかじめ登録しておいた局番を挿入します。入力時には「N」が入ります。

- フラッシュ

構内交換機に公衆回線への切り替えを通知します。入力時には「F」が入ります。

「ポーズ」と「#」はテンキーの< # >キーにより入力します。< # >キーを押すごとに、「P」と「#」が切り替わります。

- ポーズ

ダイヤル中に、2 秒間、間隔をあけます。何回でもポーズを入力できます。入力時には「P」が入ります。

- #（シャープ）

［**ダイヤル種別**］の設定で［**プッシュ**］が指定されているときに、「#」を回線に送出します。入力時は「#」が入ります。

「トーン」と「*」はテンキーの< * >キーにより入力します。< * >キーを押すごとに、「T」と「*」が切り替わります。

- トーン

［**ダイヤル種別**］の設定で［**ダイヤル 10**］または［**ダイヤル 20**］が指定されているときに、トーンダイヤルに切り替えます。入力時には「T」が入ります。

- *（アスタリスク）

［**ダイヤル種別**］の設定で［**プッシュ**］が指定されているときに、「*」を回線に送出します。入力時には「*」が入ります。

参照

- プレフィクスについては、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

短縮ダイヤルリストと宛先グループリストを使用する

短縮ダイヤルリストや宛先グループリストに登録している番号から宛先を選択できます。あらかじめ、番号を登録しておく必要があります。

参照

- 短縮ダイヤルリスト、宛先グループリストへの番号登録については、「ファクスの宛先を登録・編集する（電話帳の使い方）」P.122 を参照してください。

1 ▼を押して［**短縮ダイヤルリスト**］または［**宛先グループリスト**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して宛先またはグループを選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

メモ

- 宛先を相手先名でカナ検索する場合は、相手先名をローマ字に読み替え、テンキーからアルファベットを入力すると、該当する宛先を表示します。
- ソフトキーボードを使って相手先をカナ検索する場合は、「電話帳を検索する」P.124 を参照してください。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

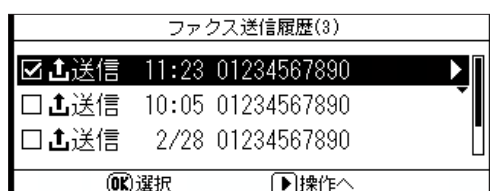
4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

送信 / 受信履歴を使用する

最近の 50 件の送信履歴または受信履歴から宛先を選択できます。

1 ▼を押して［**送信履歴**］または［**受信履歴**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して項目を選択し、OKを押します。

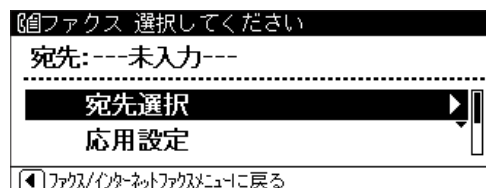
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

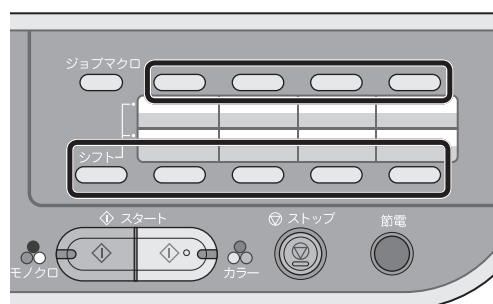
4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

ワンタッチボタンを使用する

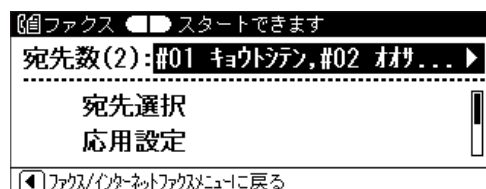
ワンタッチボタンで、短縮ダイヤルリストに登録しているファクス番号を選択できます。

ワンタッチボタンには、短縮ダイヤル番号 01 ～ 16 が自動的に登録されます。

1 スタート画面で、操作パネルのワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタンに割り当てられている短縮ダイヤル番号 09 ～ 16 を選択するときは、<**シフト**> ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

メモ

- <**ファクス**> ボタンを押したあとに表示されるトップ画面でも、ワンタッチボタンを使用できます。この場合、スタート画面は、ワンタッチボタンを押したあとに表示され、ほかの応用設定を変更できます。

指定した宛先を削除する

1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して削除する宛先を選択し、OKを押します。

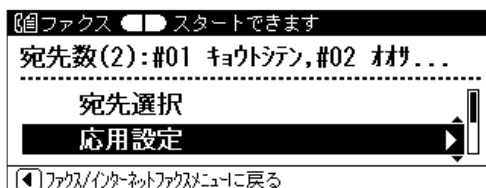
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 削除する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先から削除**］が選択されていることを確認し、(OK)を押します。

- すべての宛先を削除したときは、自動的にスタート画面に戻ります。
- 宛先をすべて削除しないときは、◀を押してスタート画面に戻ります。

応用設定を変更する

この節では、ファクスの応用設定を変更する方法について説明します。ファクスの応用設定を変更することで、原稿を希望どおりにスキャンできます。各設定は、スタート画面の［**応用設定**］メニューから行います。

前述の「ファクスを送信する」P.113 の手順 6 で、以下の操作を行います。

読み取りサイズを変更する（読取サイズ）

原稿の適切な読み取りサイズを選択できます。

1. ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
2. ［**読取サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
3. ▼を押して読み取りサイズを選択し、OKを押します。

設定可能なサイズ

A4*　レター　リーガル 13　リーガル 13.5 リーガル 14

* は工場出荷時の設定

4. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

解像度を変更する（解像度）

最適な画質になるように適切な解像度を選択できます。

1. ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
2. ▼を押して［**解像度**］を選択し、OKを押します。
3. ▼を押して解像度を選択し、OKを押します。

設定可能な解像度

標準 *　高画質　超高画質　写真

* は工場出荷時の設定

メモ

- ［**超高画質**］は、受信先の機械によっては使用できないことがあります。
- ［**高画質**］、［**超高画質**］、［**写真**］モードを使用すると、読み取り時間が長くなります。

4. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

濃度を調整する（濃度）

読み取り濃度は 7 段階で調整できます。

1. ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
2. ▼を押して［**濃度**］を選択し、OKを押します。
3. ▲または▼を押して解像度を選択し、OKを押します。

設定可能な濃度

+3　+2　+1　0*　-1　-2　-3

* は工場出荷時の設定

メモ

- ［**0**］は標準値です。原稿の濃度を濃くするには、［**+1**］、［**+2**］、［**+3**］を選択します。逆に、原稿の濃度を薄くするには、［**-1**］、［**-2**］、［**-3**］を選択します。

4. トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

発信元名を印刷する

送信するファクスに発信元名を印刷するように設定できます。工場出荷時の設定では、発信元名は有効になっており、［**送信者情報**］で指定した名前が印刷されます。

参照

- ［**送信者情報**］については、「手順 2-2 送信者情報を設定する」P.71 を参照してください。

1. ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。
2. ▼を押して［**発信元名**］を選択し、OKを押します。
3. ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

4 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

参照

- 発信元名の登録方法や、使用する発信元名の変更方法については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

ファクス送信を確認 / 中止する

この節では、ファクス送信の確認方法や中止方法について説明します。

ファクス送信を中止する

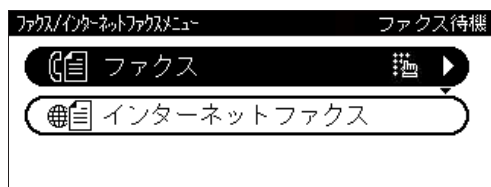
「原稿読み取り中」画面が表示されている間は、ファクス送信を中止できます。

1 操作パネルの＜**ストップ**＞ボタンを押します。

送信予約を取り消す

送信予約を取り消すことができます。

1 操作パネルの＜**ファクス**＞ボタンを押します。

2 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

3 ▼を押して［**ファクス確認 / 中止**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して中止するジョブを選択し、OKを押します。

5 ジョブ内容を確認し、▶を押します。

6 ▼を押して［**予約削除**］を選択し、OKを押します。

7 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

注

- 同報送信を選択すると、同報送信ジョブ自体が取り消されます。

メモ

- 送信中のファクスは、リストの一番上に表示されます。

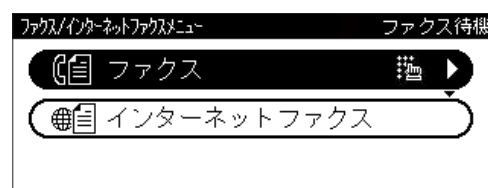
送信 / 受信履歴を確認する

送信・受信履歴と結果を確認できます。

メモ

- ファクスの送信中は、送信状況を［**ファクス確認 / 中止**］画面で確認できます。

1 操作パネルの＜**ファクス**＞ボタンを押します。

2 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

3 ▼を押して［**ファクス送受信履歴**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**送信履歴**］または［**受信履歴**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して確認する履歴を選択し、OKを押します。

6 履歴内容を確認し、OKを押します。

注

- パネルに表示される受信履歴は F コードポーリング受信したもののみです。

● ファクス受信時の動作について

この節では、受信モードの設定方法と、ファクスの受信時と印刷時の動作について説明します。

受信動作

受信動作は、指定した受信モードによって異なります。

工場出荷時の設定は、[**ファクス待機**] になっているので、ファクスを自動的に受信します。ファクス受信モードを変更したときは、以下の説明で受信動作を確認してください。

ファクスの受信中は、<**代行受信**> ランプが点灯し、表示画面に発信元情報が表示されます。受信が終了しても、データがメモリーに保存されている間は、ランプは点灯を続けます。

メモ

- データの受信中にメモリーがオーバーフローすると、受信は中止されます。このようなときは、発信元に、ファクスを再度送信するように依頼してください。

電話とファクスを受信するとき（電話 / ファクス待機）

[**電話 / ファクス待機**] に設定しているときは、電話とファクスを兼用できます。電話を受けるには、あらかじめ、電話機を接続しておく必要があります。

電話かファクスかを自動判別します。

参照

- 電話機の接続方法については、「手順 1 電話線に接続する」P.67 を参照してください。

■ ファクスを受信する

ファクスの受信は自動的に始まります。

■ 電話を受ける

電話を受けると、呼び出し音が鳴り始めます。

1 呼び出し音が鳴り始めたら、受話器を上げます。

相手と会話できます。

2 ファクスを受信したい場合は、(モノクロ) を押します。

受話器を上げたままにすると、ファクス受信完了後に相手と会話できます。

メモ

- 電話を受ける頻度が高い場合は、[**電話優先モード**] を有効にすることをおすすめします。[**電話優先モード**] については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- 離れた場所の電話機を接続している場合は、リモート切替番号をダイヤルすることでファクスを受信できます。リモート切替番号は 3 秒以内にダイヤルしてください。リモート切替番号については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- お使いの電話機の種類によっては呼び出し音が正常に鳴らない場合があります。
- 電話かファクスかの自動判別が開始される前に電話機の呼出し音が鳴る場合があります。自動判別開始前に電話機の呼出し音を鳴らしたくない場合は、[**応答待ち時間**] を OFF としてください。[**応答待ち時間**] については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

留守番電話を接続するとき（留守 / ファクス待機）

[**留守 / ファクス待機**] に設定しているときは、留守番電話とファクスを兼用できます。あらかじめ、留守番電話を接続してください。

メモ

- お使いの留守番電話や発信元の機械によっては、[**留守 / ファクス待機**] が正しく機能しないことがあります。

参照

- 留守番電話の接続方法については、「手順 1 電話線に接続する」P.67 を参照してください。

■ ファクスを受信する

留守番電話の呼び出し音が鳴り、応答メッセージが流れ、ファクスの受信が自動的に始まります。

■ 電話を受ける

留守番電話の呼び出し音が鳴り、応答メッセージが流れ、メッセージの録音が始まります。

通常は電話として使用するとき（電話待機）

本機に接続した電話機を使用することが多い場合は、[**電話待機**] をおすすめします。

■ 電話を受ける

電話を受けると、電話機の呼び出し音が鳴り始めます。

■ファクスを受信する

信号を受信すると、電話機の呼び出し音が鳴り始めます。

1 呼び出し音が鳴り始めたら、受話器を上げます。

2 モノクロ を押します。
ファクス受信後に通話を再開する場合は、受話器は上げたままにしてください。受信完了後に会話できます。

受信したファクスを印刷する

受信したファクスは自動的に印刷されます。また、使用する用紙トレイを指定できます。

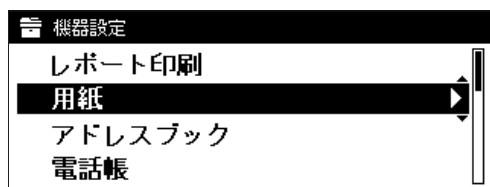
注
- 印刷中に用紙トレイを引き出さないでください。

メモ
- 普通紙または再生紙以外を使用しないでください。
- 使用できる用紙サイズは、A4、レター、リーガル 13/13.5/14 です。

参照
- 受信したファクスが指定した用紙サイズより大きいときは、受信側の印刷設定によって、縮小されたり、破棄されたり、複数の用紙に分けて印刷されたりします。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

使用するトレイを選択する

1 操作パネルの <**設定**> ボタンを押します。

2 ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**印刷トレイ指定**］を選択し、OKを押します。

4 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押して用紙トレイを選択し、OKを押します。

6 ▼を押して設定値を選択し、OKを押します。

設定可能な値

オン＊　オフ　オン（優先）

＊は工場出荷時の設定

- ［**オン（優先）**］を指定した用紙トレイは、同じサイズの用紙がセットされているほかのトレイより優先して使用されます。
- マルチパーパストレイは、工場出荷時に［**オフ**］に設定されています。

7 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

受信したファクスを印刷できないとき

用紙切れや紙づまりなどが原因で受信したファクスを印刷できないときは、受信できるデータ容量は最大200 枚までとなります。（ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって変化します。）問題が解決されると、印刷は自動的に始まります。

参照
- 用紙のセット方法については、「用紙のセットのしかた」P.37 を参照してください。
- 紙づまりの解消方法については、「ユーザーズマニュアル　困ったときにはと日々のメンテナンス編」を参照してください。
- 受信履歴の確認方法については、「送信 / 受信履歴を確認する」P.119 を参照してください。

● ファクスの宛先を登録・編集する（電話帳の使い方）

この節では、電話帳にファクス番号を登録する方法や、登録した番号を編集、削除する方法について説明します。電話帳では、頻繁に使用するファクス番号を短縮ダイヤルに設定したり、ファクスを同報送信するファクス番号のグループを作成することができます。

短縮ダイヤル

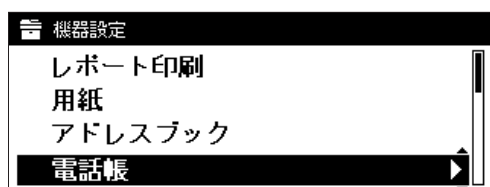
宛先を短縮ダイヤルに最大 100 件登録できます。

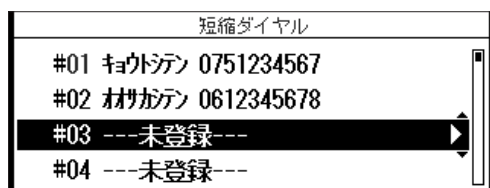
登録 / 編集する

参照

● テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.24 を参照してください。

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**電話帳**］を選択し、OKを押します。

3 ［**短縮ダイヤル**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 ▼を押して短縮ダイヤルを選択し、OKを押します。
送信予約、自動配信で使用されている短縮ダイヤルは選択できません。

5 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
登録済みの短縮ダイヤルを編集する場合は、［**編集**］を選択します。

6 必要に応じて、名前を指定します。

a ［**相手先名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

b 名前を入力します。
最大半角 24 文字まで入力できます。

c ［**決定**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**相手先番号**］を選択し、▶を押します。

8 ファクス番号を入力します。
最大 40 桁まで入力できます。

9 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

10 必要に応じて、グループ番号を指定します。

a ▼を押して［**グループ番号**］を選択し、▶を押します。

b ▼を押して、グループ番号（01 ～ 20）を選択します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

c グループをすべて選択したら、▶を押します。

d ［**グループ選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

11 OKを押します。

メモ

● ［**短縮ダイヤル**］機能からグループに登録した番号は、［**グループ番号**］機能を使用してグループに登録した番号と同期されます。

履歴から登録する

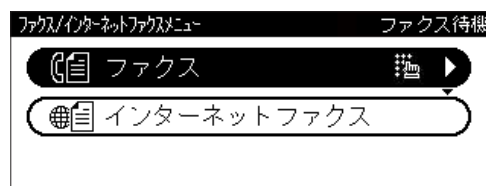
ファクスの送信履歴や受信履歴から、ファクス番号を短縮ダイヤル番号として登録できます。

1 操作パネルの＜**ファクス**＞ボタンを押します。

2 ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。

3 ▼を押して［**ファクス送受信履歴**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**送信履歴**］または［**受信履歴**］を選択し、OKを押します。

8 ファクス・インターネットファクスとして使うとき

5 ▼を押して項目を選択し、OKを押します。

6 項目の内容を確認したら、▶を押します。

7 ［**短縮ダイヤルリストへ登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

8 「登録 / 編集する」P.122 の手順 4 〜 11 を行います。

ファクス番号は自動的に入力されます。手動で入力する必要はありません。

削除する

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して［**電話帳**］を選択し、OKを押します。

3 ［**短縮ダイヤル**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 ▼を押して削除する番号を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

6 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

注

- 送信予約、自動配信で使用されている短縮番号は削除できません。

グループダイヤル（グループ番号）

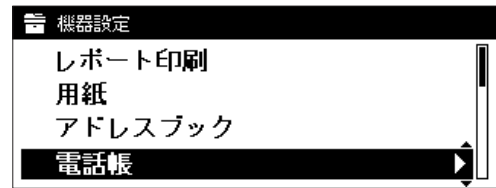
最大 20 個のグループを作成し、グループ全体を短縮ダイヤル番号として登録できます。

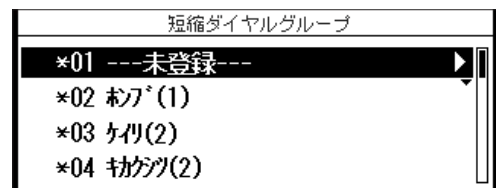
登録 / 編集する

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.24 を参照してください。

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して［**電話帳**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**グループ番号**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押してグループ番号を選択し、OKを押します。

5 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

登録済みのグループ番号を編集する場合は、［**編集**］を選択します。

6 ［**名称**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

7 名前を入力します。

最大半角 16 文字まで入力できます。

8 ［**決定**］を選択し、▶を押します。

9 ▼を押して［**短縮ダイヤル**］を選択し、▶を押します。

10 ▼を押して短縮ダイヤル番号（01 〜 100）を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

11 番号をすべて選択したら、▶を押します。

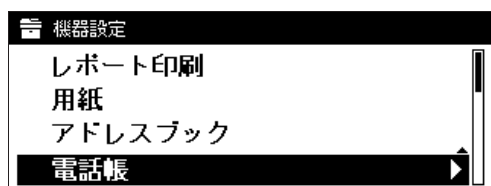
12 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

13 OKを押します。

メモ

- ［**短縮ダイヤル**］機能からグループに登録した番号は、［**グループ番号**］機能を使用してグループに登録した番号と同期されます。

削除する

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**電話帳**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**グループ番号**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押してグループ番号を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

6 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

メモ

- グループを削除しても、短縮ダイヤル番号として登録されている番号は削除されません。

電話帳を検索する

電話帳の検索には、テンキーを使う方法とソフトキーボードを使う場合があります。

テンキーを使ってカナ検索する

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**電話帳**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**短縮ダイヤル**］または［**グループ番号**］を選択し、OKを押します。

4 検索したい名前をテンキーからローマ字入力します。

メモ

- 「サ」と入力する場合、⑦キーを 4 回押し、続けて②キーを 1 回押します。テンキーの使用方法は「テンキーの使用」P.25 を参照してください。

該当するものを表示します。

ソフトキーボードを使ってカナ検索する

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

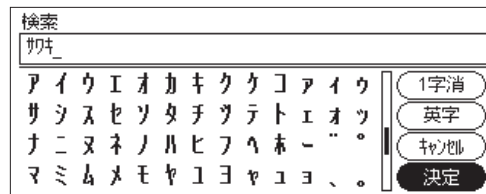
2 ▼を押して［**電話帳**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**短縮ダイヤル**］または［**グループ番号**］を選択し、OKを押します。

4 ▶を押します。

5 ▼を押して［**検索**］を選択し、OKを押します。

6 ソフトキーボードが表示されるので、▲、▼、◀、▶を使い、検索したい名前をカナ入力します。

該当するものを表示します。

ワンタッチボタンを使用する

ワンタッチボタンには短縮ダイヤル番号 01 ～ 16 が自動的に登録されます。

● インターネットファクス機能の基本操作

この節では、インターネットファクス送信の基本操作について説明します。

インターネットファクス機能を使用すると、ファクスデータは TIFF ファイルに変換され、E メールの添付ファイルとして送信されます。データは、読み取りが終了するとすぐに送信され、メモリーには保存されません。宛先には、E メールアドレスのみ、指定可能です。

メモ

- 自動原稿送り装置（ADF）にセットできる原稿のサイズは、A4/ レター / リーガル、原稿ガラスにセットできる原稿のサイズは、A4/ レターのみです。サイズが異なる原稿を一緒に使用することはできません。
- 相手先で使用している機械によっては、インターネットファクス機能で送信する原稿データが正しく印刷されないことがあります。
- インターネットファクス機能の詳細設定は、スキャン To メール機能の設定と同じです。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

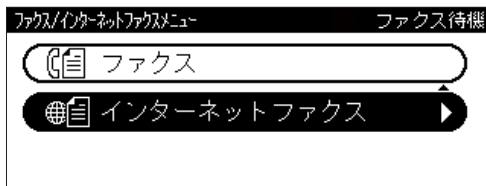
参照

- インターネットファクス機能を使用する前に、サーバの設定を行う必要があります。サーバの設定については、「スキャン To メールの初期設定」の「手順 2 本機の E メール設定を行う」P.78 を参照してください。

インターネットファクスを送信する

1 操作パネルの<**ファクス**>ボタンを押します。

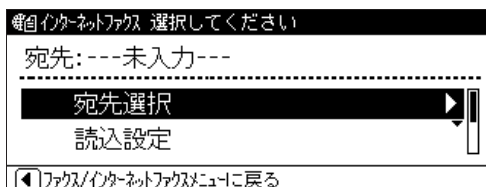
2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**インターネットファクス**］を選択し、OKを押します。

4 必要に応じて、読込設定を行います。

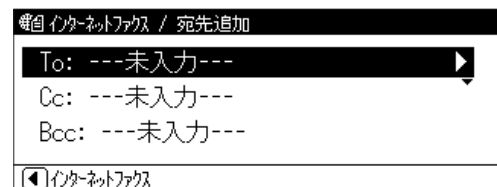
参照

- 「ユーザーズマニュアル　活用編」

5 ［**宛先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

メモ

- ここではワンタッチボタンを使って宛先を追加することができます。宛先は［To］に追加されます。続けてワンタッチボタンで複数宛先を追加できます。

6 ［To］が選択されていることを確認し、OKを押します。

［Cc］または［Bcc］を選択する場合は、▼を押し、OKを押してください。

7 宛先の E メールアドレスを指定します。

- 宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。

参照

- 「宛先を指定する」P.114

8 モノクロを押して、送信を始めます。

原稿ガラスを使用して複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

参照

- 「継続読取モードを有効にする（継続読取）」P.110

参照

- 自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」P.42 を参照してください。

宛先を指定する

宛先は、以下の 5 つの方法で指定できます。

- アドレスブックを使用する
- グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 直接入力する

● LDAP 検索を使用する

前述の「インターネットファクスを送信する」P.125の手順 7 で、以下のいずれかの操作を行います。

アドレスブックまたはグループリストを使用する

アドレスブックやグループリストから宛先を選択できます。あらかじめ、宛先をアドレスブックやグループリストに登録しておく必要があります。

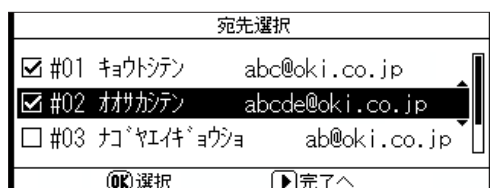
参照

- E メールアドレスをアドレスブックやグループリストに追加する方法については、「E メールアドレスを登録・編集する（アドレスブックの使い方）」P.142 を参照してください。

1 ▼を押して［**アドレスブック**］または［**グループリスト**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して、送信先の宛先またはグループを選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

メモ

- 宛先を相手先名でカナ検索する場合は、相手先名をローマ字に読み替え、テンキーからアルファベットを入力すると、該当する宛先を表示します。
- ソフトキーボードを使って相手先をカナ検索する場合は、「アドレスブックを検索する」P.143 を参照してください。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

送信履歴を使用する

送信履歴から宛先を選択できます。

注

- 送信履歴には、直接入力で送信した宛先のみ表示されます。

1 ▼を押して［**送信履歴**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して宛先を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

直接入力する

宛先は直接入力できます。

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.24 を参照してください。

1 ▼を押して［**直接入力**］を選択し、OKを押します。

2 E メールアドレスを入力します。

最大半角 80 文字まで入力できます。

3 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

4 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

LDAP 検索を使用する

LDAP サーバのリストから宛先を検索できます。

検索方法は、［**単純検索**］と［**詳細検索**］を選択できます。

［**単純検索**］は 1 つのキーワードのみ、ユーザー名として検索します。また、単純検索ではユーザー名に含まれる文字列のみを検索します。E メールアドレスに含まれる文字列は検索されません。

［**詳細検索**］では、検索条件を選択して、指定したキーワードをすべて含む項目のみを検索することもできます。ユーザー名としての検索キーワードと、E メールアドレスとしての検索キーワードを指定できます。

参照

- LDAP サーバの設定については、「ユーザーズマニュアル 活用編」を参照してください。

■ 単純検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、OKを押します。

2 ［**単純検索**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

3 LDAP サーバ内のユーザー名を検索するキーワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押して検索を開始します。

5 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、OKを押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数のアドレスを選択できます。

6 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

7 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

8 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

■ 詳細検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**詳細検索**］を選択し、OKを押します。

3 ［**検索方法**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

4 ［**OR**］または［**AND**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ユーザ名**］を選択し、▶を押します。

6 検索するキーワードを入力します。

7 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**E メールアドレス**］を選択し、▶を押します。

9 検索するキーワードを入力します。

10 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

11 OKを押して検索を開始します。

12 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、OKを押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数のアドレスを選択できます。

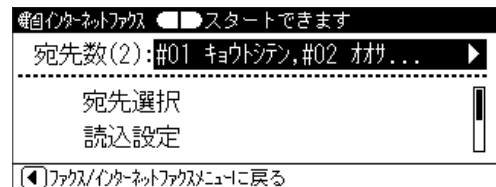
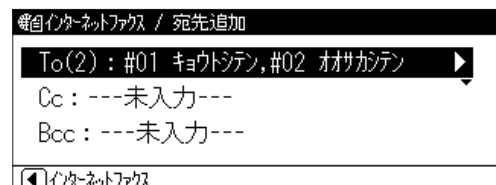
13 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

14 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

15 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

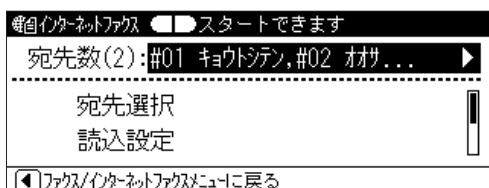
宛先を確認、削除、変更する

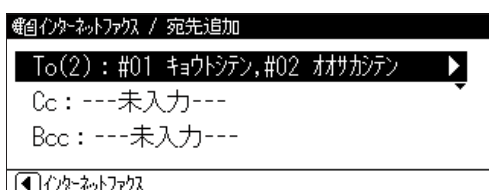
宛先を確認する

1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して確認する宛先タイプを選択し、OKを押します。
宛先タイプには、To、Cc、Bcc があります。

3 宛先を確認したら、▶を押します。

4 ［**一覧を閉じる**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

宛先を削除する

1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して削除する宛先が含まれる宛先タイプを選択し、OKを押します。

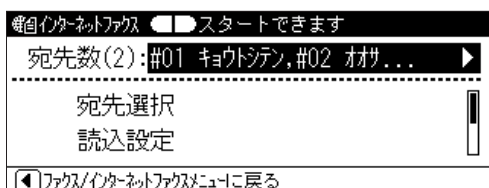
宛先タイプには、To、Cc、Bcc があります。

3 ▼を押して削除する宛先を選択し、OKを押します。

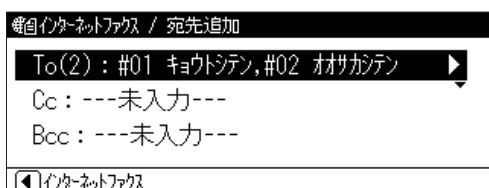
チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

4 削除する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

5 ▼を押して［**宛先から削除**］を選択し、OKを押します。

宛先タイプを変更する

1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して変更する宛先が含まれる宛先タイプを選択し、OKを押します。

宛先タイプには、To、Cc、Bcc があります。

3 ▼を押して変更する宛先を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

4 変更する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

5 ［**宛先種別を変更**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ▼を押して［**To**］、［**Cc**］、［**Bcc**］から宛先タイプを選択し、OKを押します。

送信を中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、送信を中止できます。

1 操作パネルの<**ストップ**>ボタンを押して、送信を中止します。

インターネットファクスを受信する

受信したインターネットファクスは自動的に印刷されます。原稿が A4 サイズより大きいときは、指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

参照

- インターネットファクスを受信するためには、あらかじめ E メールの受信設定をしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- インターネットファクスを転送したいときは、自動配信機能（MC562dn のみ）を使用できます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

9 スキャナーとして使うとき

この章では、スキャン機能の基本操作と設定について説明します。

● スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする

この節では、スキャナードライバーのインストール手順について説明します。スキャン機能を使用する前に、スキャナードライバーをインストールします。Windows の場合は、TWAIN ドライバーと WIA ドライバーを同時にインストールできます。Macintosh の場合は、TWAIN ドライバーと ICA ドライバーを同時にインストールできます。

ネットワークスキャン機能を使用する場合は、以下の手順でお使いのコンピューターの情報を登録してスキャナードライバーをインストールします。

メモ

- Windows でネットワークスキャン機能を使用する場合は、ActKey ユーティリティをインストールしてください。

参照

- 次の手順を行う前に、必ずネットワーク接続を設定してください。詳しくは、「ネットワーク接続」P.51 を参照してください。

注

- Windows でネットワーク接続でスキャナーを使用している場合、装置の IP アドレスが変わりましたら、Network Configuration で設定を変更してください。Mac OS X の場合は、ネットワークスキャナー設定ツールで設定を変更してください。詳しくは、「ユーザーズマニュアル 活用編」を参照してください。

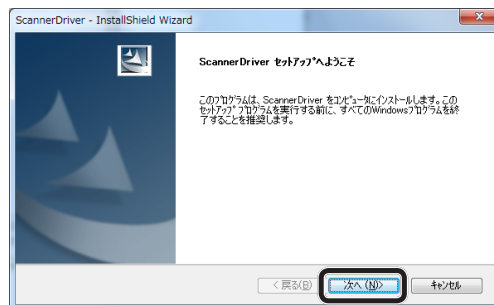
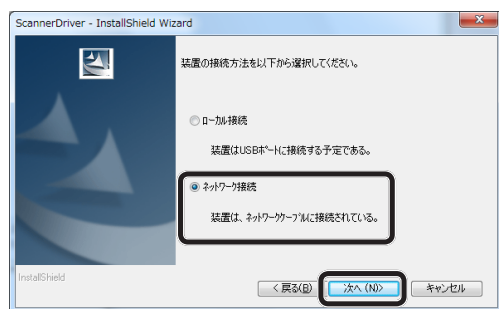
インストール手順

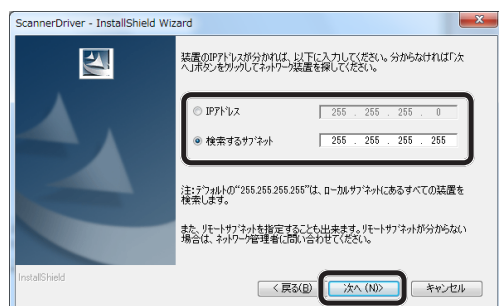
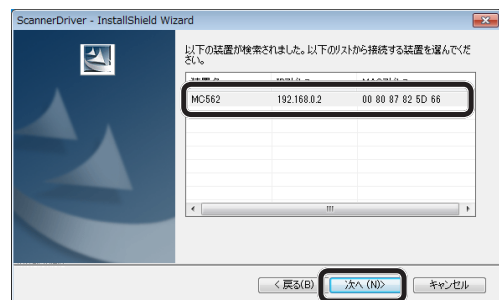
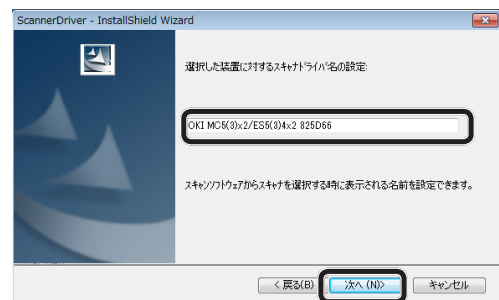
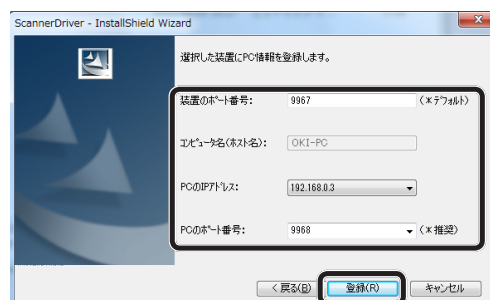
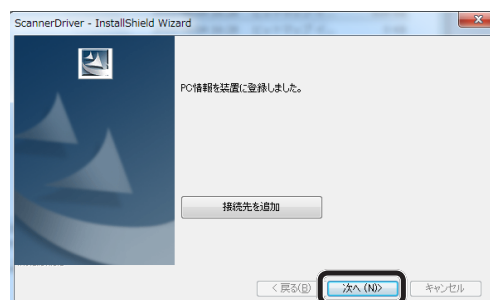
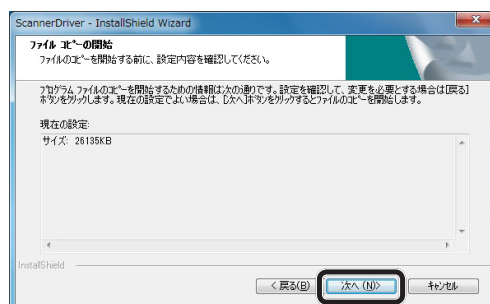
メモ

- Windows でネットワークスキャン機能を使用する場合は、ActKey をインストールしてください。Mac OS X の場合は、ネットワークスキャナー設定ツールが自動的にインストールされます。

Windows の場合

1. 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。
2. ［**自動再生**］が表示されたら、［**setup.exe の実行**］をクリックします。
   ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。
3. 「**言語選択**」画面で［**日本語**］が選択されていることを確認し、［**次へ**］をクリックします。
4. 装置を選択し、［**次へ**］をクリックします。
5. 使用許諾契約を読んで、［**同意する**］をクリックします。
6. ［**環境についてのアドバイス**］を読み、［**次へ**］をクリックします。
7. ［**ソフトウェア**］の下の［**スキャナドライバ**］の右の個別インストールボタンをクリックします。

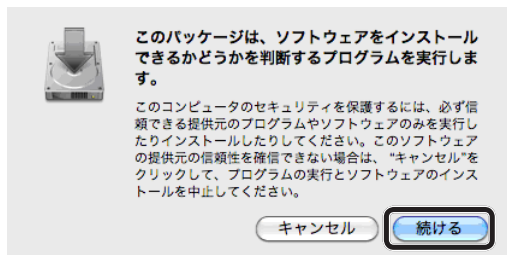
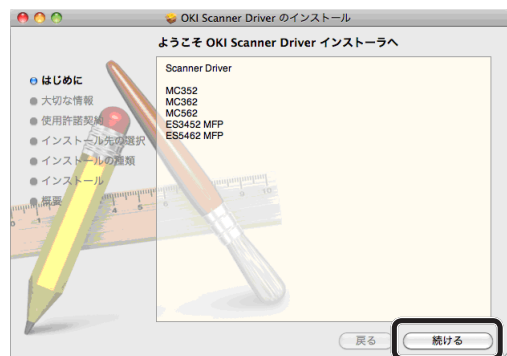
8. ［**次へ**］をクリックします。

9 ［**ネットワーク接続**］にチェックをつけ［**次へ**］をクリックします。

10 ［**IP アドレス**］にチェックをつけて本機のアドレスを入力するか、または［**検索するサブネット**］にチェックをつけ、［**次へ**］をクリックします。

［**IP アドレス**］を指定した場合は、手順 12 に進みます。

11 ［**検索するサブネット**］を選択した場合は、本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。

12 スキャナードライバー名を設定し、［**次へ**］をクリックします。

13 ホスト名、IP アドレス、ポート番号を確認し、［**登録**］をクリックします。

14 ［**次へ**］をクリックします。

15 ［**次へ**］をクリックします。

16 ［**完了**］をクリックします。

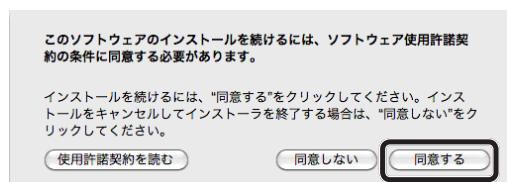
Mac OS X の場合

1 本機とコンピューターが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。

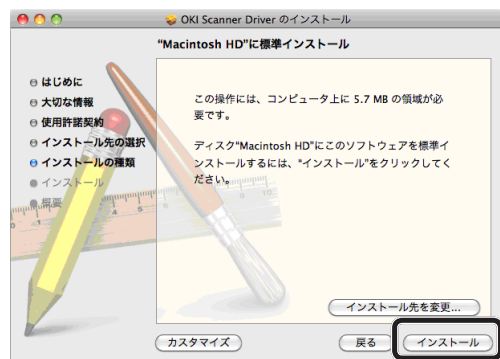
2 デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

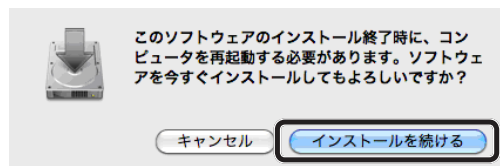
3 ［**Drivers**］>［**Scanner**］>［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

4 ［**続ける**］をクリックします。

5 ［**続ける**］をクリックします。

6 表示された内容を確認し、［**続ける**］をクリックします。

7 使用許諾契約を読み、［**続ける**］をクリックします。

8 ［**同意する**］をクリックします。

9 ［**インストール**］をクリックします。

ドライバーのインストール先を変更する場合は、［**インストール先を変更**］をクリックします。

10 管理者の名前とパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

11 ［**インストールを続ける**］をクリックします。

12 ［**再起動**］をクリックします。

13 再起動後、[**移動**] メニューから [**アプリケーション**] > [**OKIDATA**] > [**Scanner**] > [**ネットワークスキャナ設定ツール**] を選択します。

14 [**装置一覧**] から本機を選択し、[**登録**] をクリックします。

15 必要に応じて、本機の送信先として表示される [**名称**] を編集し、[**登録**] をクリックします。

16 確認メッセージで [**OK**] をクリックします。

17 [**OK**] をクリックしてネットワークスキャナー設定ツールを閉じます。

ActKey を使う

ActKey を使用すると、ボタンをクリックするだけで、指定した設定どおりに読み取りを始めることができます。

メモ

- ActKey は、Mac OS X には対応していません。
- ActKey をインストールすると、Network Configuration も同時にインストールされます。Network Configuration については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

参照

- 読み取りを始める方法については、「スキャンする」P.134 を参照してください。

ソフトウェアをインストールする

1. 「ソフトウェア DVD-ROM」をコンピューターに挿入します。
   ウィンドウが開きます。
2. [**ソフトウェア**] から [**ActKey**] を選択します。
3. 指示に従って、ソフトウェアをインストールします。
4. [**完了**] をクリックします。

ソフトウェアを起動する

1. [**スタート**] をクリックし、[**すべてのプログラム**] > [**沖データ**] > [**ActKey**] > [**ActKey**] を選択します。

WSD スキャンをセットアップする

この節では、WSD スキャン機能を使用するために PC をセットアップする方法について説明します。WSD スキャン機能を使用するには、本機をコンピューターにインストールしてください。

WSD スキャンは、ネットワークを経由してスキャン To ローカル PC とスキャン To リモート PC から使用できます。

WSD スキャンを使用するには、ネットワークを経由して Windows Vista/Windows 7/ Windows Server 2008/ Windows Server 2008 R2 がインストールされているコンピューターと本機が接続されている必要があります。

参照

- 次の手順を始める前に、必ずネットワーク接続を確認してください。詳しくは、「ネットワーク接続」P.51 を参照してください。

注

- WSD スキャンを経由してスキャナーが使用された場合および本機の IP アドレスが変更された場合は、インストール手順の手順 2 で [**Uninstall**] を選択し、スキャナーをアンインストールして、再度インストール手順を実行します。

インストール手順

メモ

- 下の手順を行うと、WIA がスキャナードライバーとして自動的にインストールされます。

注

- 本インストールを始める前に、コントロールパネルから [**Network and Sharing Center**] を選択し、ネットワーク検索が有効になっていることを確認します。

1 [**スタート**] メニューから [**Network**] を選択します。

ネットワークに接続したデバイスが表示されます。

2 [**Multifunction Devices**] 下の OKI MC ｘｘｘアイコンを右クリックし、[**Install**] を選択します。

[**ユーザー アカウント制御**] ダイアログボックスが表示されたら、[**はい**] をクリックします。

3 タスクバーにインストールが完了したことを示すバルーンメッセージが表示されたら、バルーンをクリックして詳細を確認し、[**Close**] をクリックします。

以下のように、本機のデバイスのインストールを確認してください。

4 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

5 ▼を押して [**ローカル PC**] を選択し、OKを押します。

6 [**接続先選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 ▼を押して [**WSD Scan 接続 PC リストから選択**] を選択し、OKを押します。

8 本機のインストール先のコンピューターが送信先のコンピューターとして表示されていることを確認してください。

メモ

- 最大 50 台までの PC が登録できます。

スキャンする

この節では、スキャン機能の基本操作について説明します。スキャンモードでは、スキャン To メール、スキャン To USB メモリー、スキャン To ネットワーク PC、スキャン To ローカル PC、スキャン To リモート PC の 5 つのスキャン機能を使用できます。各機能は、＜**スキャン**＞ボタンを押したあとで選択します。

参照

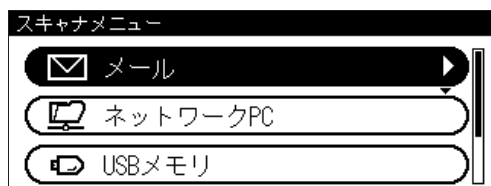
● スキャン機能では、継続読取モードを使用できます。［**継続読取**］機能については、「継続読取モードを有効にする（継続読取）」P.110 を参照してください。

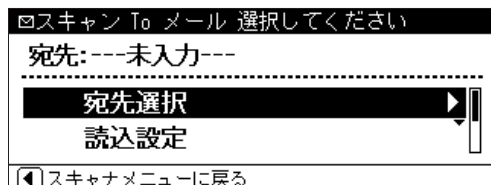
スキャン To メール

スキャンしたデータを E メールに添付できます。

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 [**メール**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

メモ

● ここではワンタッチボタンを使って宛先を追加することができます。宛先は［To］に追加されます。続けてワンタッチボタンで複数宛先を追加できます。

4 [**宛先選択**] が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 [To] が選択されていることを確認し、OKを押します。

［Cc］または［Bcc］を選択する場合は、▼を押し、OKを押してください。

6 宛先を指定します。

宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。

7 モノクロ または カラー を押します。

宛先を指定する

宛先は、以下の 5 つの方法で指定できます。

● アドレスブックを使用する
● グループリストを使用する
● 送信履歴を使用する
● 直接入力する
● LDAP 検索を使用する

前述の「スキャン To メール」の手順 6 で、以下のいずれかの操作を行います。

■ アドレスブックまたはグループリストを使用する

アドレスブックやグループリストから宛先を選択できます。あらかじめ、宛先をアドレスブックやグループリストに登録しておく必要があります。

参照

● アドレスブックやグループリストの宛先登録方法については「E メールアドレスを登録・編集する（アドレスブックの使い方）」P.142 を参照してください。

1 ▼を押して［**アドレスブック**］または［**グループリスト**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して、送信先の宛先またはグループを選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

メモ

● 宛先を相手先名で検索する場合は、相手先名をローマ字に読み替え、テンキーからアルファベットを入力すると、該当する宛先を表示します。
● ソフトキーボードを使って相手先を検索する場合は、「アドレスブックを検索する」P.143 を参照してください。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

■ 送信履歴を使用する

送信履歴から宛先を選択できます。

1 ▼を押して［**送信履歴**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して宛先を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

■直接入力する

宛先を操作パネルから直接入力します。

1 ▼を押して［**直接入力**］を選択し、OKを押します。

2 E メールアドレスを入力します。［**決定**］を選択し、OKを押します。

最大半角 80 文字まで入力できます。

参照

● テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.24 を参照してください。

3 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

4 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

■LDAP 検索を使用する

LDAP サーバのリストから宛先を検索して、指定します。

検索方法は、［**単純検索**］と［**詳細検索**］を選択できます。

［**単純検索**］は 1 つのキーワードのみ、ユーザー名として検索します。また、単純検索ではユーザー名に含まれる文字列のみを検索します。E メールアドレスに含まれる文字列は検索されません。

［**詳細検索**］では、検索条件を選択して、指定したキーワードをすべて含む項目のみを検索することもできます。ユーザー名としての検索キーワードと、E メールアドレスとしての検索キーワードを指定できます。

参照

● LDAP サーバの設定については、「ユーザーズマニュアル 活用編」を参照してください。

❑単純検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、OKを押します。

2 ［**単純検索**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

3 LDAP サーバ内のユーザー名を検索するキーワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押して検索を開始します。

5 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

6 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

7 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

8 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

❑詳細検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**詳細検索**］を選択し、OKを押します。

3 ［**検索方法**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

4 ［**OR**］または［**AND**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**ユーザ名**］を選択し、▶を押します。

6 検索するキーワードを入力します。

7 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**E メールアドレス**］を選択し、▶を押します。

9 検索するキーワードを入力します。

10 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

11 OKを押して検索を開始します。

12 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

13 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

14 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

15 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

スキャン To USB メモリー

スキャンしたデータを、USB メモリーに保存できます。

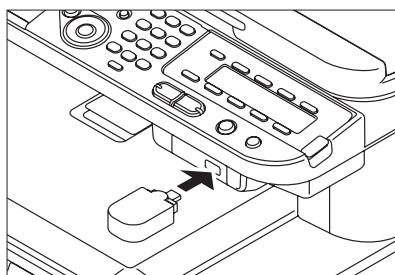
参照

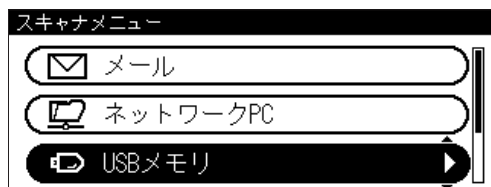
- 使用できる USB メモリーの仕様については、「ユーザーズマニュアル　困ったときにはと日々のメンテナンス編」を参照してください。

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 USB メモリーを、本機の USB ポートに差し込みます。

注

- USB メモリーは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

4 ▼を押して［**USB メモリ**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して必要に応じて読み取り設定をします。

6 モノクロまたはカラーを押します。

7 USB メモリーを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外します。

スキャン To ネットワーク PC

スキャンしたデータをネットワーク上のサーバに送信できます。

スキャンしたデータは、PDF、JPEG、TIFF、XPS ファイルに変換されます。工場出荷時の設定は PDF です。

注

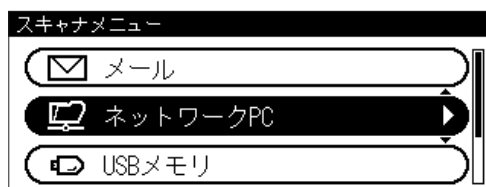
- 本機がネットワークに接続されていることを確認してください。
- あらかじめスキャン To ネットワーク PC のセットアップをしておく必要があります。

参照

- スキャン To ネットワーク PC のセットアップについては、「スキャン To ネットワーク PC の初期設定」の「手順 2 コンピューターと本機をスキャン To ネットワーク PC 用に設定する」P.83 を参照してください。

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**ネットワーク PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**プロファイル選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押してプロファイルを選択し、OKを押します。

6 モノクロまたはカラーを押します。

9 スキャナーとして使うとき

スキャン To ローカル PC

スキャンしたデータを、コンピューターに保存できます。

モノクロまたはカラーを押すと、読み取りジョブが始まり、ActKey ユーティリティと TWAIN ドライバーが自動的に起動します。読み取った原稿は、指定したアプリケーションに送信するか、指定したフォルダに保存するか、ファクスで送信できます。

WSD スキャン接続では､開始するアプリケーションや、各受信者への原稿を送信または保存する場所を設定できます。

本機とコンピューターは、USB またはネットワークで接続できますが、同時に接続できるのは、1 台のコンピューターです。

Mac OS X をお使いのときは、イメージキャプチャと ICA ドライバーが自動的に起動します。読み取った原稿は、指定したフォルダに保存できます。

注

- USB またはネットワークのどちらかを使用して、本機をコンピューターに接続します。
- ローカルコンピューターへの読み取りを行う前に、ActKey とスキャナードライバーをインストールします。
- 本機をネットワークに接続するときは、以下の設定をします。
  - 本機の［**TCP/IP**］設定を［**有効**］に設定します。
  - 本機の IP バージョンとコンピューターの IP バージョンを一致させます。
  - DNS サーバを設定します。
  - Network TWAIN 機能を有効にします。
- Mac OS X をお使いの場合、フラットベッドスキャナーに設定された原稿を A4 サイズ固定でのみ読み取ることができます。
- Mac OS X 10.7 をお使いのときに、ネットワーク接続でスキャンをする場合、最初にイメージキャプチャを起動する必要があります。イメージキャプチャスクリーンの左側に表示される一覧から装置を選択してください。
- 本機を WSD スキャン接続で利用するときは、以下の設定をします。
  - 本機の［**TCP/IP**］設定を［**有効**］に設定します。
  - 本機の IP バージョンとコンピューターの IP バージョンを一致させます。
  - WSD スキャン機能を有効にします。
  - PC 上で本機をインストールします。

参照

- Network TWAIN 機能を有効にする方法については､「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- ActKey ユーティリティのインストール方法については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- WSD スキャン機能を有効にする方法については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- PC 上で本機をインストールする方法については、｢WSD スキャンをセットアップする｣ P.133 を参照してください。

■ USB 接続の場合

1. 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。
2. 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。
3. ▼を押して［**ローカル PC**］を選択し、OKを押します。

   Network TWAIN 機能を［**オフ**］に設定している場合は、手順 6 に進みます。

4. ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
5. ▼を押して［**USB 接続 PC**］を選択し、OKを押します。
6. ▼を押して［**起動アプリ**］を選択し、OKを押します。
7. ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、OKを押します。

   選択可能な送信先

アプリケーション	フォルダ	PC-FAX

   注

   - Mac OS X をお使いのときはフォルダのみ選択可能です。

8. モノクロまたはカラーを押します。

メモ

- ［**アプリケーション**］を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- ［**フォルダ**］を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダに保存されます。
- ［**PC-FAX**］を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと､お使いのコンピューターのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ ネットワーク接続の場合

1. 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。
2. 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。
3. ▼を押して［**ローカル PC**］を選択し、OKを押します。
4. ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ［**ネットワーク接続 PC リストから選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ▼を押して、接続先のコンピューターを選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**起動アプリ**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、OKを押します。

9 モノクロまたはカラーを押します。

メモ

- ［**アプリケーション**］を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- ［**フォルダ**］を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダに保存されます。
- ［**PC-FAX**］を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと、お使いのコンピューターのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

WSD スキャン接続

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**ローカル PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押して［**WSD Scan 接続 PC リストから選択**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して送信先の PC を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**両面読取**］を選択し、OKを押します。

8 ▲または▼を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択し、OKを押します。

9 < **モノクロスタート** >ボタンまたは< **カラースタート** >ボタンを押します。

メモ

- 両面スキャンを開始するには、設定をオンにして自動原稿送り装置 (ADF) に原本をセットします。原稿をスキャナーガラスにセットした場合は、両面スキャンをオンにしても、原稿の両面をスキャンできません。
- PC でスキャナーアプリケーションを使用すると、原稿がセットされている場所や [**両面読取**] の設定にかかわらず、PC のスキャンプロファイル設定のスキャナーの種類でスキャンされます。

スキャン To リモート PC

コンピューターにインストールされているユーティリティ（ActKey、PaperPort、イメージキャプチャ、Adobe Photoshop CS3 など）を使って TWAIN ドライバーを起動して、読み取りを行います。

本機とコンピューターは、USB またはネットワークで接続されてる必要があります。

スキャン To リモート PC には、シンプルスキャンモードとセキュアスキャンモード、および WSD スキャンの 3 つのモードがあります。シンプルモードの場合、読み取りジョブを始めるのは簡単です。セキュアスキャンモードの場合、指定したコンピューター以外からの操作は実行できません。一度に 1 台のコンピューターしか接続できません。

WSD スキャンでは、ネットワークを経由して、本機にすでに登録されているコンピューターからのみスキャンを開始できます。

メモ

- 次の手順では、Windows では ActKey、Mac OS X では Adobe Photoshop CS3 を例にしています。お使いのアプリケーションによっては、本書の記載と異なる場合があります。

注

- USB またはネットワークのどちらかを使用して、本機をコンピューターに接続します。
- 読み取りジョブを始める前に、アプリケーション（ActKey、PaperPort など）とスキャナードライバーをインストールします。
- 本機をネットワークに接続するときは、以下の設定をします。
  - ［**TCP/IP**］設定を［**有効**］に設定します。
  - 本機の IP バージョンとコンピューターの IP バージョンを一致させます。
  - DNS サーバを設定します。
  - Network TWAIN 機能を有効にします。
- セキュアスキャンモードの場合は、管理者があらかじめ操作パネル、または Web ページから、セキュアスキャンを実行するコンピューターの情報登録をしておく必要があります。
- Mac OS X では、初めてネットワークスキャンを行うときはドライバーを使用するときに接続先の設定が必要です。初回ドライバー使用時に接続先選択用のツールが起動します。
- 2 回目以降は接続先の設定は不要になります。
- WSD スキャン接続で本機を操作するときは、以下の設定をします。
  - [**TCP/IP**] 設定を [**有効**] に設定します。
  - 本機の IP バージョンとコンピューターの IP バージョンを一致させます。
  - WSD スキャン機能を有効に設定します。
  - PC 上で本機をインストールします。

参照

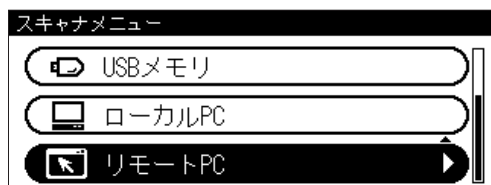
- スキャナードライバーのインストール方法については、「スキャナードライバー（TWAIN/WIA/ICA ドライバー）をインストールする」P.129 を参照してください。

シンプルスキャンモード

■ Windows の場合

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**TWAIN**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 コンピューター上で ActKey を起動します。

スキャナー選択画面が表示された場合、USB 接続では［**OKI MC5(3)x2/ES5(3)4x2 USB**］を、ネットワーク接続では［**OKI MC5(3)x2/ES5(3)4x2 (MAC アドレスの下 6 桁)**］を選択して、［**OK**］をクリックします。

6 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

スキャンボタン名

アプリケーション -1	アプリケーション -2
フォルダに保存	PC-Fax 送信

メモ

- ［**アプリケーション -1**］または［**アプリケーション -2**］を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- ［**フォルダに保存**］を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダに保存されます。
- ［**PC-Fax 送信**］を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに送信されます。お使いのコンピューターのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

■ Mac OS X の場合

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**TWAIN**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 コンピューター上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

6 ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC5(3)x2_ES5(3)4x2 USB**］または［**OKI MC5(3)x2_ES5(3)4x2 Network**］を選択します。

- ［**OKI MC5(3)x2_ES5(3)4x2 USB**］を選択した場合は、手順 10 に進みます。
- ［**OKI MC5(3)x2_ES5(3)4x2 Network**］を選択し、ネットワークスキャンを行うのが 2 回目以降の場合は、手順 10 に進みます。

7 初めてネットワークスキャンを行うときは、接続先選択用のツールが起動することを知らせるダイアログが表示されるので［**OK**］をクリックします。

8 ［**スキャン設定**］ダイアログで、接続先を選択し、必要に応じてホスト情報を登録し［**OK**］をクリックします。

9 Adobe Photoshop CS3 の［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択して［**OKI MC5(3)x2_ES5(3)4x2 Network**］を選択します。

ウィンドウが表示されます。

10 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

11 ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

セキュアスキャンモード（ネットワーク接続）

■ Windows の場合

1 操作パネルの<**スキャン**>ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**TWAIN**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

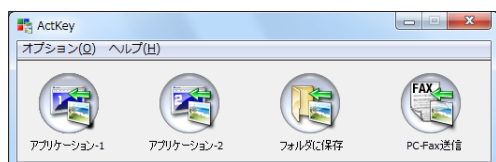
6 ［**ネットワーク接続 PC リストから選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 ▼を押して、接続先のコンピューターを選択し、OKを押します。

8 モノクロまたはカラーを押します。

9 コンピューター上で ActKey を起動します。

スキャナー選択画面が表示された場合［OKI MC5(3) x2/ES5(3)4x2（MAC アドレスの下 6 桁）］を選択して、［OK］をクリックします。

10 スキャンボタンをクリックします。

■ Mac OS X の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**TWAIN**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ［**ネットワーク接続 PC リストから選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 ▼を押して、接続先のコンピューターを選択し、OKを押します。

8 モノクロまたはカラーを押します。

9 コンピューター上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

10 ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC5(3)x2_ES5(3)4x2 Network**］を選択します。

ネットワークスキャンを行うのが 2 回目以降の場合は、手順 14 に進みます。

11 初めてネットワークスキャンを行うときは、接続先選択用のツールが起動することを知らせるダイアログが表示されるので［**OK**］をクリックします。

12 ［**スキャン設定**］ダイアログで、接続先を選択し、必要に応じてホスト情報を登録し［**OK**］をクリックします。

13 Adobe Photoshop CS3 の［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択して［**OKI MC5(3) x2_ES5(3)4x2 Network**］を選択します。

ウィンドウが表示されます。

14 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

15 ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

セキュアスキャンモード（USB 接続）

■ Windows の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**TWAIN**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

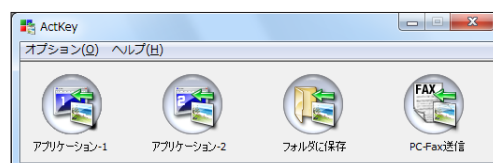
5 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ▼を押して［**USB 接続 PC**］を選択し、OKを押します。

7 モノクロまたはカラーを押します。

8 コンピューター上で ActKey を起動します。

スキャナー選択画面が表示された場合、［**OKI MC5(3) x2/ES5(3)4x2 USB**］を選択して、［**OK**］をクリックします。

9 スキャンボタンをクリックします。

■ Mac OS X の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**TWAIN**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ▼を押して［**USB 接続 PC**］を選択し、OKを押します。

7 モノクロ または カラー を押します。

8 コンピューター上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

9 ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC5(3)x2_ES5(3)4x2 USB**］を選択します。

10 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

11 ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

WSD スキャン（ネットワーク接続）

■ Windows の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞ボタンを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置（ADF）または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**WSD Scan**］を選択し、OKを押します。

5 PC で任意のスキャンプログラムを開始します。

6 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

メモ

- 自動原稿送り装置（ADF）でスキャンした場合、フォーマットによっては、2 ページ以降がスキャンされないことがあります。
例として、Windows FAX およびスキャンでは、次の組み合わせで原稿送り装置でスキャンした場合、2 ページ以降がスキャンされないことがあります。
カラーフォーマット：カラー / グレイスケール＋ファイルの種類：BMP/PNG
カラーフォーマット：黒および白＋ファイルの種類：BMP/PNG/JPG

スキャンを中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、スキャンを中止できます。

1 操作パネルの＜**ストップ**＞ボタンを押します。

注

- スキャン To ローカル PC とスキャン To リモート PC ではキャンセルできません。

● E メールアドレスを登録・編集する（アドレスブックの使い方）

この節では、アドレスブック、グループリストの登録 / 削除方法について説明します。

E メールをアドレスブックに登録して､メッセージを同報送信するグループを作成できます。アドレスブックとグループリストは、スキャン To メール機能とインターネットファクス機能で宛先を指定するときに使用します。

アドレスブック

E メールアドレスをアドレスブックに最大 100 件登録できます。

登録 / 編集する

参照

● テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.24 を参照してください。

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ［**E メールアドレス**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 ▼を押して番号を選択し、OKを押します。
自動配信機能で指定されている番号は選択できません。

5 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
登録済みのアドレスを編集する場合は「編集」を選択します。

6 必要に応じて、名前を指定します。

a ［**名前**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

b 名前を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。

c ［**決定**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**E メールアドレス**］を選択し、▶を押します。

8 E メールアドレスを入力し、OKを押します。
最大半角 80 文字まで入力できます。

9 OKを押します。

送信履歴から登録する

送信履歴からアドレスブックに、E メールアドレスを追加できます。

注

● 送信履歴には、直接入力で送信した宛先のみ表示されます。

1 操作パネルの <**スキャン**> ボタンを押します。

2 ［**メール**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

3 ▼を押して［**送信履歴**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して E メールアドレスを選択し、OKを押します。

5 内容を確認し、▶を押します。

6 ［**アドレスブックへ登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

7 「**登録 / 編集する**」の手順 4 ～ 9 を繰り返します。
E メールアドレスは自動的に入力されます。手動で入力する必要はありません。

削除する

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ［**E メールアドレス**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 ▼を押して削除する E メールアドレスを選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

6 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

注

● 自動配信機能で指定されている E メールアドレスは削除できません。

グループリスト

E メールアドレスのグループを最大 20 個作成できます。

登録 / 編集する

参照

● テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.24 を参照してください。

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**E メールグループ**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押してグループ番号を選択し、OKを押します。

5 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

登録済みのグループ番号を編集する場合は「編集」を選択します。

6 ［**名称**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

7 名前を入力します。

最大半角 16 文字まで入力できます。

8 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

9 ▼を押して［**アドレス番号**］を選択し、▶を押します。

10 ▼を押して、アドレスブックから E メールアドレスを選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の E メールアドレスを選択できます。

11 E メールアドレスをすべて選択し、▶を押します。

12 ［**宛先選択を完了**］を選択し、OKを押します。

13 OKを押します。

メモ

● また、［**E メールアドレス**］の［**グループ番号**］から E メールグループを登録することもできます。

削除する

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**E メールグループ**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押してグループ番号を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

6 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

ワンタッチボタンを使用する

ワンタッチボタンにはアドレスブック番号 01 ～ 16 が自動的に登録されます。このワンタッチボタンはスキャン To メール、インターネットファクスでご利用いただけます。

アドレスブックを検索する

アドレスブックの検索には、テンキーを使う方法とソフトキーボードを使う場合があります。

テンキーを使ってカナ検索する

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**E メールアドレス**］または［**E メールグループ**］を選択し、OKを押します。

4 検索したい名前をテンキーからローマ字入力します。

メモ

● 「サ」と入力する場合、⑦キーを 4 回押し、続けて②キーを 1 回押します。テンキーの使用方法は「テンキーの使用」P.25 を参照してください。

該当するものを表示します。

ソフトキーボードを使ってカナ検索する

1 操作パネルの＜**設定**＞ボタンを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**E メールアドレス**］または［**E メールグループ**］を選択し、OKを押します。

4 ▶を押します。

5 ▼を押して［**検索**］を選択し、OKを押します。

6 ソフトキーボードが表示されるので、▲、▼、◀、▶を使い、検索したい名前をカナ入力します。

該当するものを表示します。

● ネットワーク接続 PC を登録する

この節では、ネットワーク接続 PC を登録する方法について説明します。

ネットワーク上の場所を原稿の送信先として登録できます。

メモ

- ActKeyのNetwork Configurationでネットワーク接続PCも登録できます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。

登録 / 編集する

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」P.24 を参照してください。

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して［**ネットワーク接続 PC**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して番号を選択し、OKを押します。

4 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

登録済みのグループ番号を編集する場合は「編集」を選択します。

5 ［**送信先名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

6 宛先を入力します。

最大半角 16 文字まで入力できます。

7 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**送信先アドレス**］を選択し、▶を押します。

9 IP アドレス、ホスト名またはコンピューター名を入力します。

最大半角 64 文字まで入力できます。

10 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

11 ▼を押して［**ポート番号**］を選択し、▶を押します。

12 ポート番号を入力し、OKを押します。

13 OKを押します。

14 トップ画面が表示されるまで◀を押します。

削除する

1 操作パネルの < **設定** > ボタンを押します。

2 ▼を押して［**ネットワーク接続 PC**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して番号を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

5 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

6 トップ画面が表示されるまで◀を押します。

10 プリンターとして使うとき

この章では、コンピューターまたは USB メモリーから文書を印刷する方法について説明します。

● コンピューターから印刷する

この節では、コンピューターから印刷する方法について説明します。

メモ

- ここでは、Windows ではメモ帳、Mac OS X ではテキストエディットを例に説明します。お使いのアプリケーションやプリンタードライバーのバージョンによって、記載と異なることがあります。
- プリンタードライバーの各設定項目の詳しい説明は、ドライバーのオンラインヘルプを参照してください。

印刷する

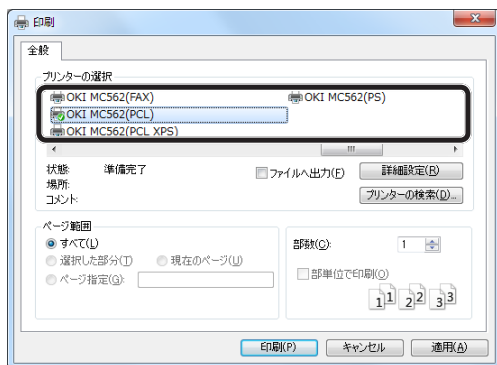
1 アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

2 プリンタードライバーの画面で印刷設定を行い、印刷します。

ここでは、プリンタードライバーで用紙サイズ、用紙トレイ、用紙厚を設定する方法について説明します。プリンタードライバーごとの設定方法は、以下を参照してください。

Windows PCL/PCL XPS プリンタードライバーの場合

1 アプリケーションの［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 プリンタードライバーを選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**設定**］タブの［**サイズ**］から用紙サイズを選択します。

5 ［**給紙方法**］から用紙トレイを選択します。

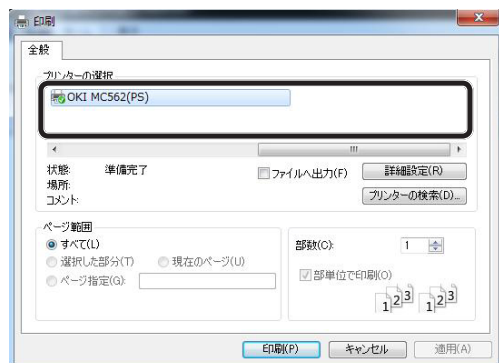
6 ［**用紙厚**］から用紙厚を選択します。

7 ［OK］をクリックします。

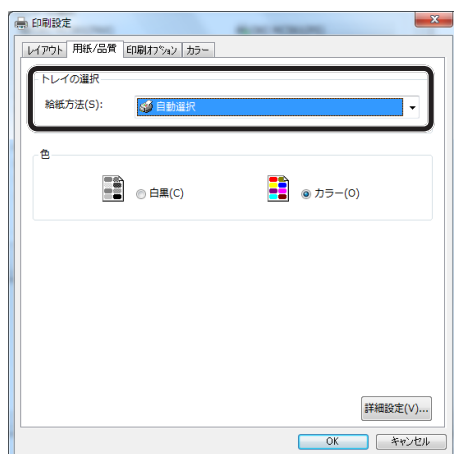
8 ［**印刷**］をクリックします。

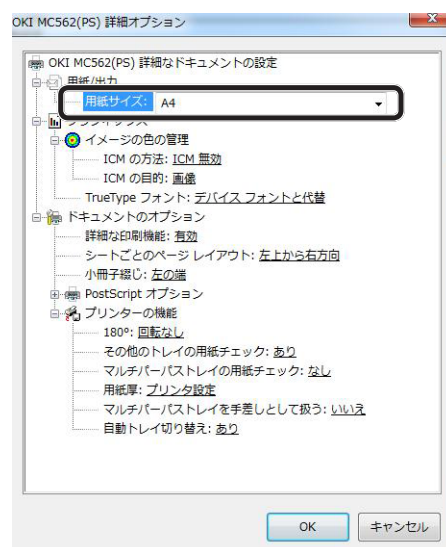
Windows PS プリンタードライバーの場合

1 アプリケーションの［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

2 プリンタードライバーを選択します。

3 ［**詳細設定**］をクリックします。

4 ［**用紙 / 品質**］タブを選択します。

5 ［**給紙方法**］から用紙トレイを選択します。

6 ［**詳細設定**］をクリックします。

7 ［**用紙サイズ**］をクリックし、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

8 ［**用紙厚**］をクリックし、ドロップダウンリストから用紙厚を選択します。

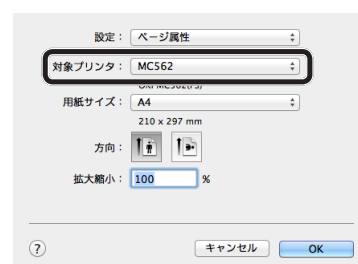
9 ［**OK**］をクリックします。

10 ［**OK**］をクリックします。

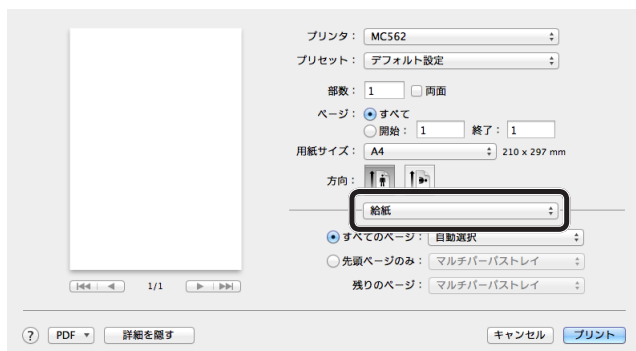
11 ［**印刷**］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタードライバーの場合

1 アプリケーションの［**ファイル**］メニューから［**ページ設定**］を選択します。

2 ［**対象プリンタ**］からプリンターを選択します。

3 ［**用紙サイズ**］から用紙サイズを選択し、［**OK**］をクリックします。

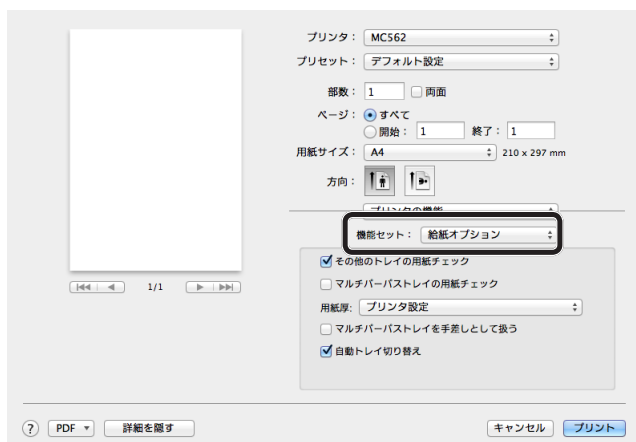
4 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

5 パネルメニューから［**給紙**］を選択します。

メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログに印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。
- Mac OS X 10.7 で、プリンターダイアログに詳細設定が表示されないときには、プリンターダイアログ下部の［**詳細を表示**］をクリックしてください。

6 ［**給紙**］パネルで用紙トレイを選択します。

7 パネルメニューから［**プリンタの機能**］を選択します。

8 ［**機能セット**］から［**給紙オプション**］を選択します。

9 ［**用紙厚**］から用紙厚を選択します。

10 ［**プリント**］をクリックします。

メモ

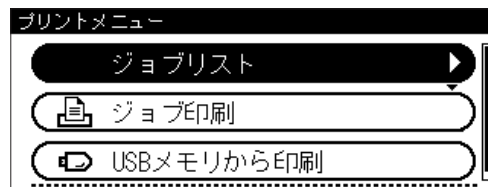
- 用紙厚には通常［**プリンタ設定**］を選択します。［**プリンタ設定**］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値が適用されます。

参照

- 給紙方法で［**自動選択**］を選択しているときは、指定した用紙に応じてトレイが自動的に選択されます。トレイの自動選択については、「ユーザーズマニュアル　活用編」を参照してください。
- 給紙方法でマルチパーパストレイを選択しているときは、マルチパーパストレイに用紙をセットする必要があります。マルチパーパストレイに用紙をセットする方法については、「マルチパーパストレイに用紙をセットする」P.39 を参照してください。

印刷を中止する

操作パネルでジョブリストから印刷ジョブを削除すると、コンピューターからの印刷を中止できます。

1 操作パネルの<**プリント**>ボタンを押します。

2 ［**ジョブリスト**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

3 ▼を押して中止するジョブを選択し、OKを押します。

4 ［**中止**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 確認画面で◀または▶を押して「**はい**」を選択し、OKを押します。

注

- 本機で印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- 操作パネルの画面に印刷中であることを示す表示が長く続く場合は、コンピューターで印刷ジョブを削除してください。

● USB メモリーから印刷する

この節では、USB メモリーから印刷する方法について説明します。USB メモリーを本機に差し込み、USB メモリーに保存しているファイルを直接印刷できます。

! 注

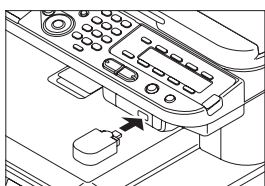
- すべての USB メモリー製品の使用保証をするものではありません。（セキュリティ機能付き USB メモリーは未対応です。）
- USB ハブと外付け USB-HDD はサポートしません。
- 暗号化 PDF はサポートしません。

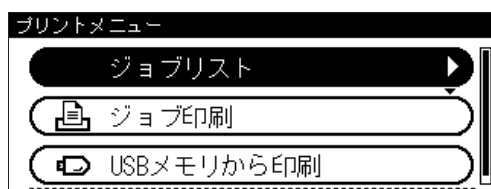
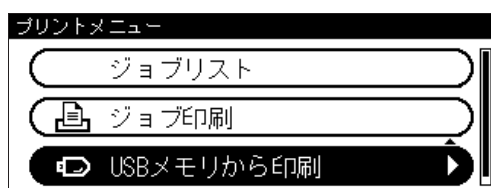
メモ

- ファイルシステムは、FAT12、FAT16、FAT32 をサポートします。
- ファイル形式は、JPEG、PDF（v1.7）、M-TIFF（v6 ベースライン）、PRN（PCL、PS）をサポートします。
- USB メモリーは 32 GB までの容量をサポートします。
- サポートするファイル形式で USB メモリーに保存されているファイルのうち、最大 100 個までのファイルがファイルリストに表示されます。
  - USB メモリーに 100 個以上のファイルが保存されていると、ファイルリストは正しく表示されません。
  - 20 階層以上のディレクトリ構造をもつ USB メモリーは正しくファイルを読めないことがあります。
  - パスの長さが 240 文字を超えるようなファイルは正しく読めないことがあります。
- 一度に印刷できる USB メモリー内のファイルは 1 つです。

印刷する

1 USB メモリーを本機の USB ポートに差し込みます。

! 注

- USB メモリーは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

2 操作パネルの <**プリント**> ボタンを押してプリントメニューを開きます。

3 ▼を押して［**USB メモリから印刷**］を選択し、OKを押します。

4 ［**ファイル選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

印刷するファイルがフォルダに保存されていないときは、手順 7 へ進みます。

5 ▼を押して印刷するファイルを含むフォルダを選択し、OKを押します。

6 ［**フォルダを開く**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

印刷するファイルが表示されるまで、手順 5 〜 6 を繰り返します。

メモ

- ［**フォルダ情報を見る**］を選択すると、フォルダ情報を確認できます。

7 ▼を押して印刷するファイルを選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**ファイルを選択**］を選択し、OKを押します。

メモ

- ［**ファイル情報を見る**］を選択すると、ファイル情報を確認できます。

9 必要に応じて印刷設定を行います。

参照

- 「印刷設定をする」P.150

10 モノクロまたはカラーを押して、印刷します。

11 USB メモリーを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外します。

印刷設定をする

USB メモリーから印刷するときの印刷設定は、［**印刷設定**］メニューから行います。

以下の操作は、「USB メモリーから印刷する」P.149 の「印刷する」に示す手順 9 で行います。

用紙トレイを変更する（給紙トレイ）

用紙トレイを選択できます。

注

- PRN ファイルを印刷する場合、用紙トレイの指定はファイル作成時のドライバーの設定に従います。

1 ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OKを押します。

2 ［**給紙トレイ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

3 ▼を押して用紙トレイを選択し、OKを押します。

選択可能な用紙トレイ

トレイ 1*	トレイ 2	MP トレイ

＊は工場出荷時の設定

4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

メモ

- ［**トレイ 2**］は、オプションでセカンドトレイユニットを取り付けているときに表示されます。

印刷部数を変更する（コピー枚数）

印刷する部数を設定できます。

1 ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**コピー枚数**］を選択し、OKを押します。

3 印刷部数を入力し、OKを押します。
最大 999 まで入力できます。

4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

両面印刷する（両面印刷）

片面印刷または両面印刷を選択できます。

注

- PRN ファイルを印刷する場合、両面印刷の設定はファイル作成時のドライバーの設定に従います。

1 ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**両面印刷**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して両面印刷をするときは［**オン**］を、片面印刷するときは［**オフ**］を選択し、OKを押します。

4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

とじ位置を設定する（とじ方）

両面印刷のとじ位置を設定できます。

1 ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**とじ方**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**長辺とじ**］または［**短辺とじ**］を選択し、OKを押します。

4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

参照

- 長辺とじと短辺とじについては、「両面コピーをする（両面）」P.110 を参照してください。

ページサイズを用紙サイズに合わせる（フィッティング）

ファイルのページサイズを用紙サイズに合わせて印刷できます。

印刷するファイルのページサイズが有効な印刷領域より大きかったり、小さかったりするときに、ページサイズが用紙サイズに合うように自動で調整（フィッティング）します。

注

- PRN ファイルを印刷する場合、この設定は働きません。

メモ

- この機能は、工場出荷時の設定で［**オン**］に設定されています。

1 ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**フィッティング**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押してフィッティングするときは［**オン**］を、フィッティングしないときは［**オフ**］を選択し、OKを押します。

4 ◀を押してスタート画面に戻ります。

印刷を中止する

操作パネルの<**ストップ**>ボタンを押すと、USB メモリーからの印刷を中止できます。

印刷完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、印刷を中止できます。

1 操作パネルの<**ストップ**>ボタンを押します。

! 注

- 本機で印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。

索引

【た行】

【な行】

【は行】

【ま行】

【や行】

【ら行】

カラー複合機
MC362dn/MC562dn

ユーザーズマニュアル
（セットアップと使い方編）

発行日　2012年　3月　第 1 版
発行者　株式会社 沖データ

45002301EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

（携帯電話からは 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00〜20:00 月曜日〜金曜日
9:00〜17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

45002301EE Rev1